

**第2次三次市総合計画に係る
アンケート調査**

報告書

平成 30 年3月

三次市

目 次

I 中高生アンケート調査結果

1	調査概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
(4)	本調査報告書の留意点	1
2	回答者の属性	2
(1)	性別	2
(2)	中高生別	2
3	三次市のイメージ	3
(1)	イメージ評価	3
(2)	点数化による分析	6
4	愛着度・定住意向について	11
(1)	まちへの愛着度について	11
(2)	今後の定住意向について	13
(3)	住み続けたい理由	15
(4)	住みたくない理由	17
(5)	三次市で自慢できるもの	19
5	今後のまちづくりについて	22
(1)	今後のまちづくりについて	22
(2)	まちづくりに関する行政への要望や意見	26
(3)	まちづくりを進めていくうえで自分や市民ができること	27

II 市民アンケート調査結果

1	調査概要	31
(1)	調査目的	31
(2)	調査方法	31
(3)	配布数及び回収結果	31
(4)	本調査報告書の留意点	31
2	回答者の属性	32
(1)	性別	32
(2)	年齢	32
(3)	職業	33
(4)	就学先・勤務先	33
(5)	居住地	34
(6)	居住年数	34
3	「市民の幸せ」について	35

(1) 市民の幸せ度 -----	35
(2) 幸福感を判断する際に満足度が高い事項・低い事項 -----	38
4 愛着度・定住意向について-----	43
(1) まちへの愛着度について-----	43
(2) 今後の定住意向について-----	46
(3) 住み続けたい理由-----	49
(4) 住みたくない理由-----	51
5 まちの現状評価について -----	54
(1) 現在の暮らしの満足度 -----	54
(2) 今後の暮らしの重要度 -----	59
(3) 点数化による分析-----	62
(4) 今後のまちづくりの方向性-----	71
6 協働のまちづくりについて-----	75
(1) 共助の重要性・関わり方について-----	75
(2) まちづくりを推進する上で重要なこと -----	81
(3) まちづくり活動への参加状況と今後の参加意向 -----	83
(4) 地域が主体となって取り組む活動-----	87
(5) 地域の活動を活発にするために必要なこと -----	90
(6) まちづくりを進めていく上での要望・意見 -----	91
7 全体のまとめについて -----	92
(1) 中高生アンケートのまとめ-----	92
(2) 市民アンケートのまとめ-----	92
(3) むすびにあたって-----	93

I 中高生アンケート調査結果

1 調査概要

(1) 調査目的

三次市総合計画の検証・見直しを行うにあたり、市民の意識を調査するために、市内の中学校の3年生全員と市内高等学校の2年生全員を対象に、三次市のイメージや今後のまちづくりの方向性を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査方法

調査の対象	市内の中学生・高校生
標本数	873 (中学3年生 513, 高校2年生 360)
調査方法	各学校を通じての配布・回収
調査時期	平成29年10月～平成29年11月

(3) 配布数及び回収結果

配布数	873 (中学3年生 513, 高校2年生 360)
有効回収数	784 (中学3年生 442, 高校2年生 342)
有効回収率	89.8% (中学3年生 86.2%, 高校2年生 95.0%)

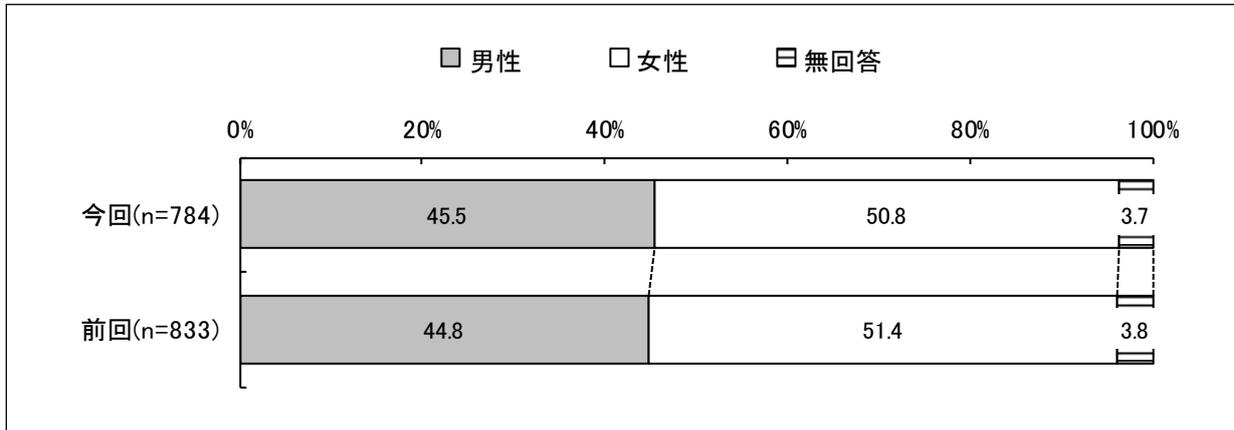
(4) 本調査報告書の留意点

- (1) 比率は百分率で表し、小数点以下第2位(設問によっては第3位)を四捨五入して算出しました。
そのために、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- (2) 複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は調査数を上回ることがあります。
- (3) 図中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。

2 回答者の属性

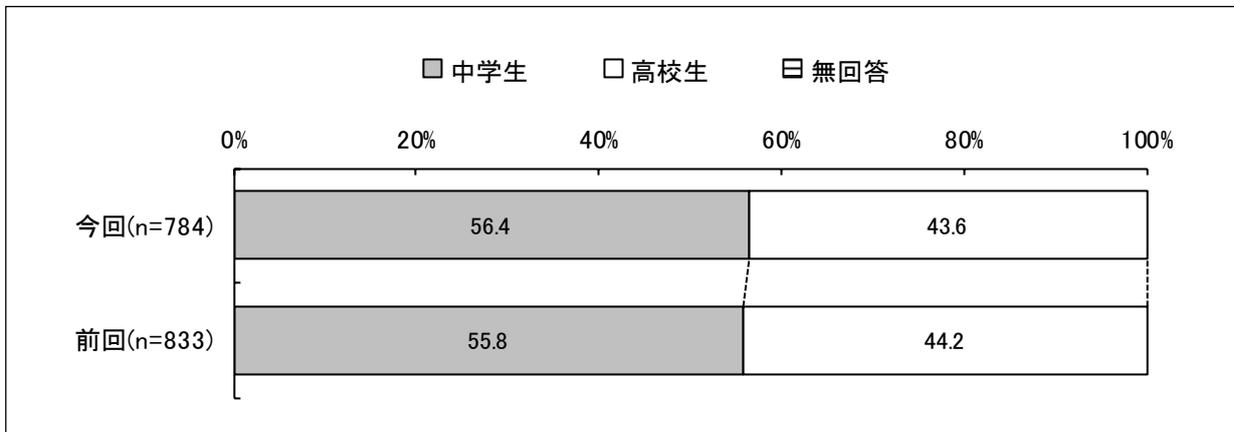
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が45.5%、「女性」が50.8%となっています。



(2) 中高生別

中高生別は、「中学生」が56.4%、「高校生」が43.6%となっています。



3 三次市のイメージ

(1) イメージ評価

問2 今の三次市のイメージについて、あなたはどのように思いますか。(項目ごとに1つに○印)

【全体の傾向】

●「祭りや地域の伝統が大切にされている」と「自然が豊か」が高評価

今の三次市のイメージをたずねたところ、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた“そう思う”では、「21 美しい山、川、風景があり自然が豊かである」と「13 昔からあるお祭りなど地域の伝統が大切にされている」が同率で83.3%と最も高く、次いで、「12 美術館やホールなど文化施設が整っている」(78.5%)、「25 三次駅周辺の整備や花火大会など都市の賑わいがある」(76.1%)の順となっています。

前回調査と比較すると、概ね上位に変動はありませんが、「12 美術館やホールなど文化施設が整っている」が前回の64.8%から13.7ポイント上昇し、第3位となっています。

図表 1-① 今の三次市のイメージ（全体・今回）

n=784



図表 1-② 今の三次市のイメージ（全体・前回）

n=833



(2) 点数化による分析

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「そう思う」の回答数} \times 10 \text{ 点} \\ \text{「ややそう思う」の回答数} \times 5 \text{ 点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答数} \times 0 \text{ 点} \\ \text{「あまりそう思わない」の回答数} \times -5 \text{ 点} \\ \text{「そう思わない」の回答数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「そう思う」, 「ややそう思う」,} \\ \text{「どちらともいえない」, 「あまり} \\ \text{そう思わない」, 「そう思わな} \\ \text{い」の回答数の合計} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高くなり、逆に-10点に近くなるほど評価が低くなる。

【全体の傾向】

●「観光する所が多い」「交通の便利がいい」「店が多く買い物がしやすい」が低評価

上記の方法で各選択肢を点数化して平均点を算出したところ、「21 美しい山、川、風景があり自然が豊かである」が6.52点と最も高く、次いで、「13 昔からあるお祭りなど地域の伝統が大切にされている」(6.33点)、「4 心も体も健康で暮らすことができる」(5.35点)の順となっています。

一方、「17 観光する所が多く観光客が多い」が0.76点と最も低く、次いで、「23 バスやJR、高速道路が整っていて交通の便利がいい」(1.17点)、「19 お店が多く買い物がしやすい」(1.29点)の順となっています。

前回調査と比較すると、概ね上位に変動はなく、また全体的に点数が高くなっており、前回では3つあったマイナス評価が今回ではなくなっています。

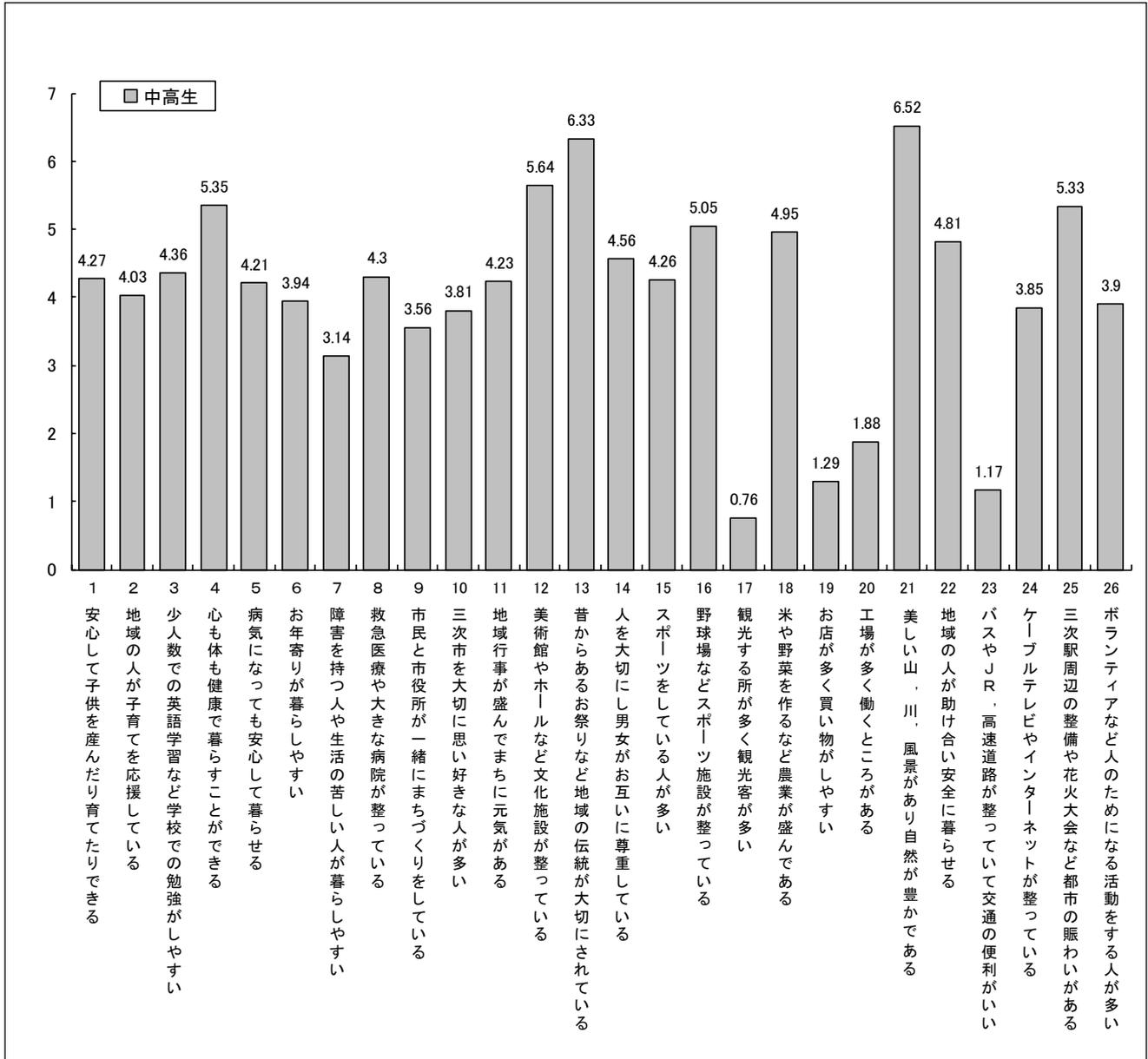
【属性別の傾向】

●すべての項目で高校生より中学生の点数が高い

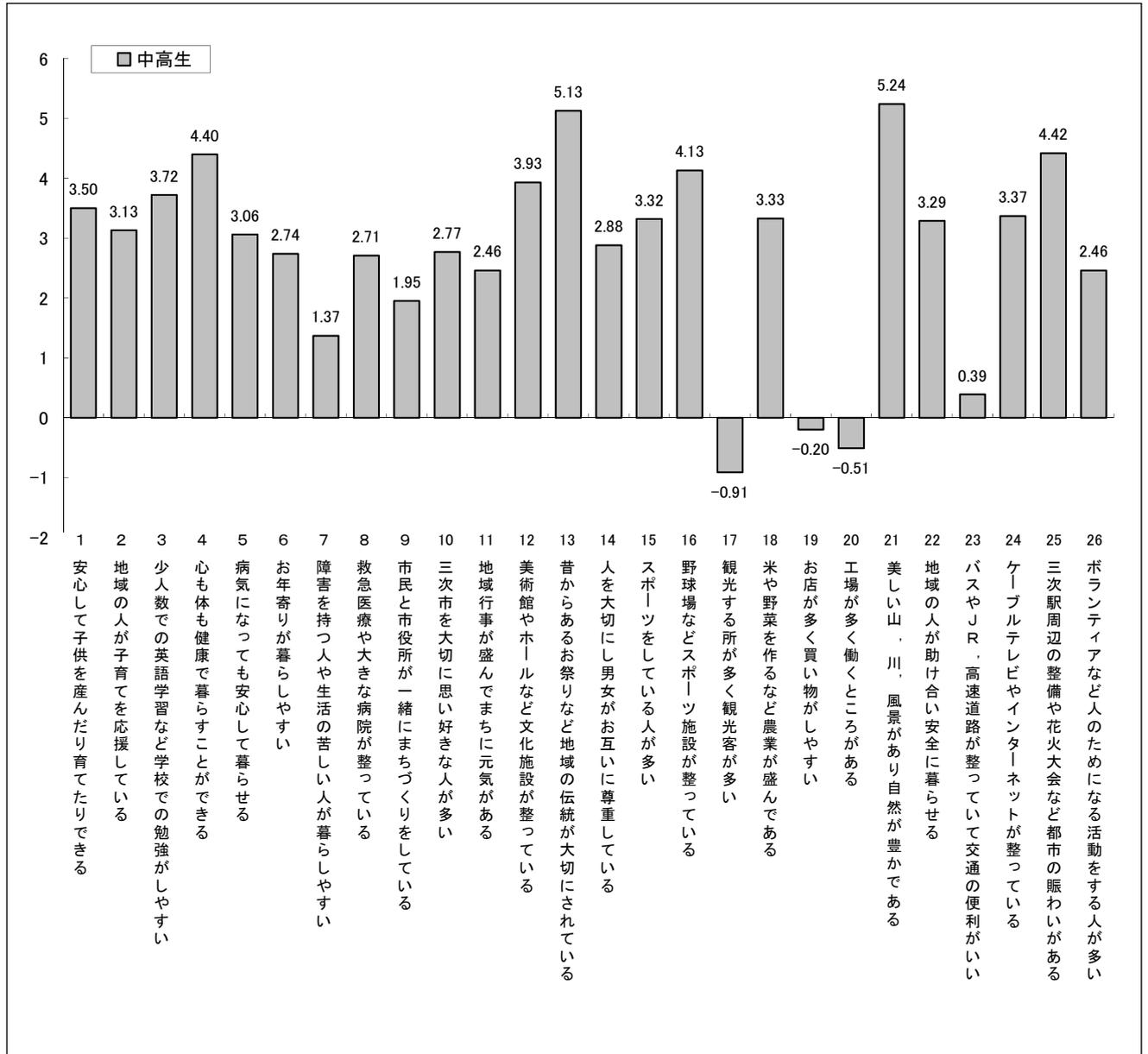
中高生別にみると、中学生と高校生で回答の傾向は近いですが、すべての項目で高校生より中学生の点数が高くなっています。

中学生と高校生で点数差の大きい項目は、「23 バスやJR、高速道路が整っていて交通の便利がいい」が2.88点差で最も大きく、次いで、「3 少人数での英語学習など学校での勉強がしやすい」(2.14点差)、「24 ケーブルテレビやインターネットが整っている」(1.74点差)の順となっています。

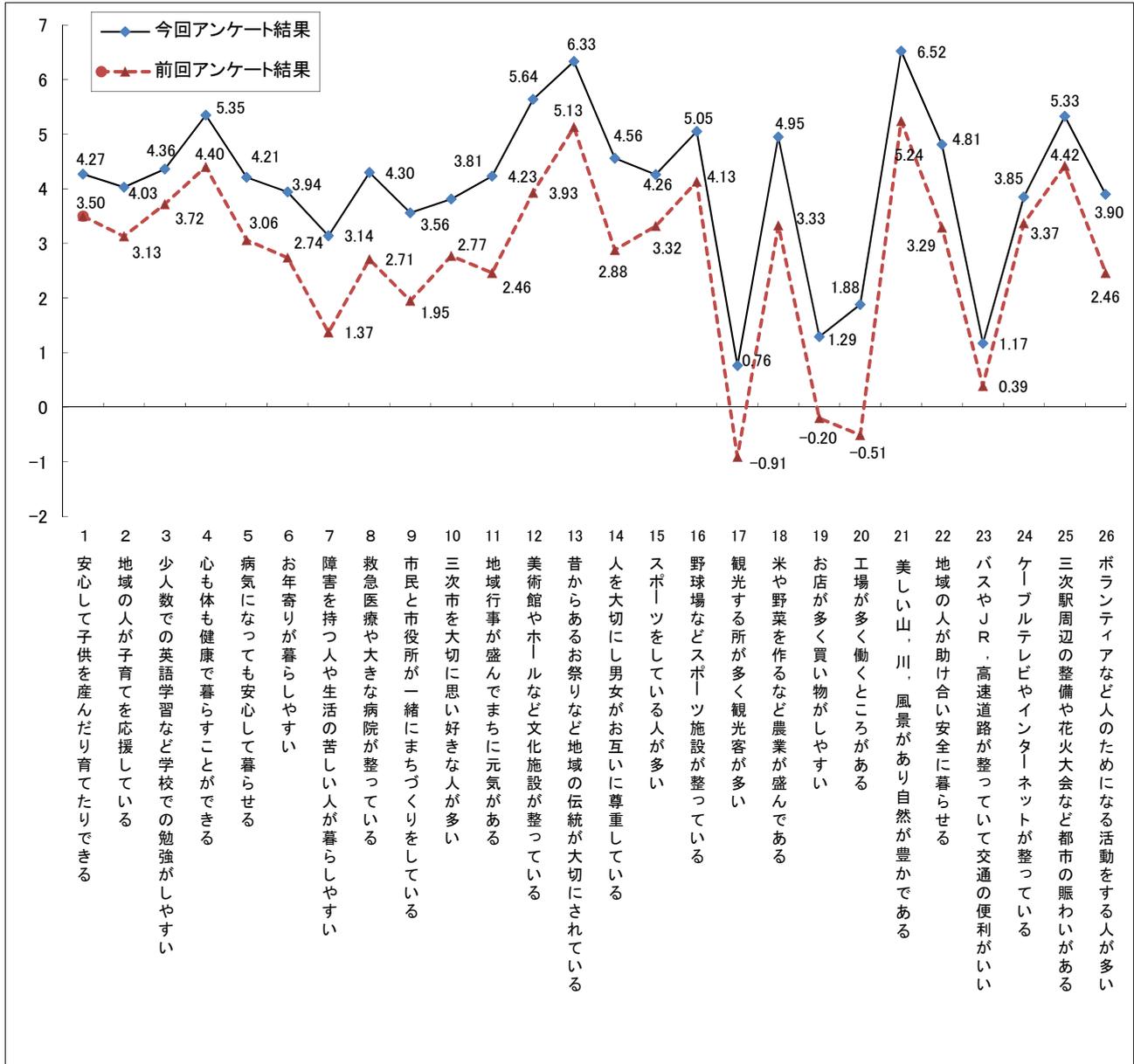
図表2-① 今の三次市のイメージ（全体・今回／点数化）



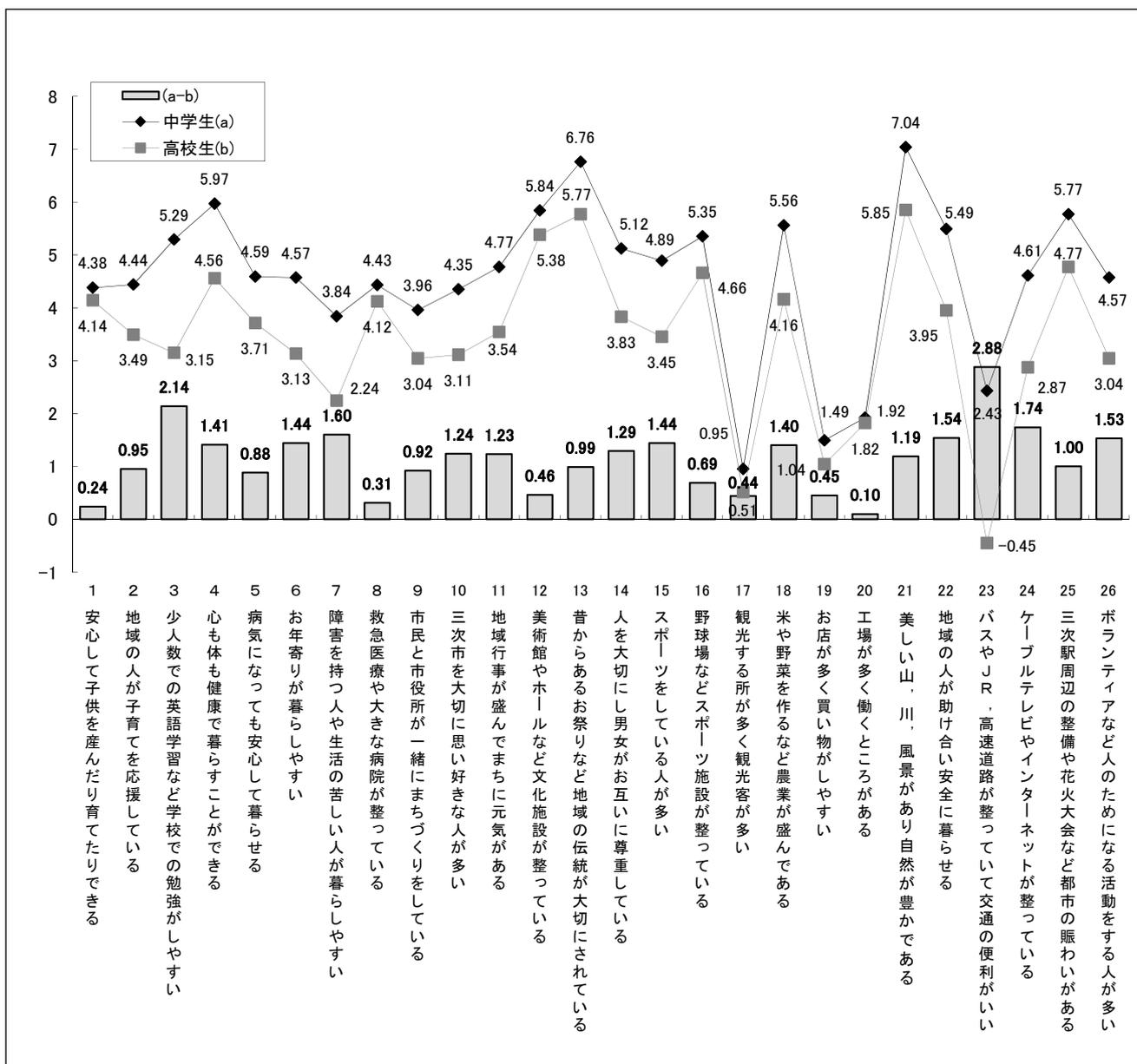
図表2-② 今の三次市のイメージ（全体・前回／点数化）



図表 2-③ 今の三次市のイメージ（今回／点数化・前回／点数化）



図表3 今の三次市のイメージ（中高生別／点数化）



4 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問3 あなたは、三次市にどの程度、愛着を感じていますか。(1つに○印)

【全体の傾向】

● “愛着がある” 生徒が約8割で、前回より増加

三次市への愛着度をたずねたところ、「愛着を感じている」(26.8%)と「愛着をやや感じている」(52.9%)を合わせた“愛着がある”は79.7%と約8割となっています。一方、「愛着を感じていない」(3.4%)、「愛着をあまり感じていない」(16.6%)を合わせた“愛着がない”は20.0%となっています。前回調査と比較すると、“愛着がある”が1.9ポイント増加し、“愛着がない”が1.5ポイント減少しています。

【属性別の傾向】

● 高校生より中学生の愛着度が高い

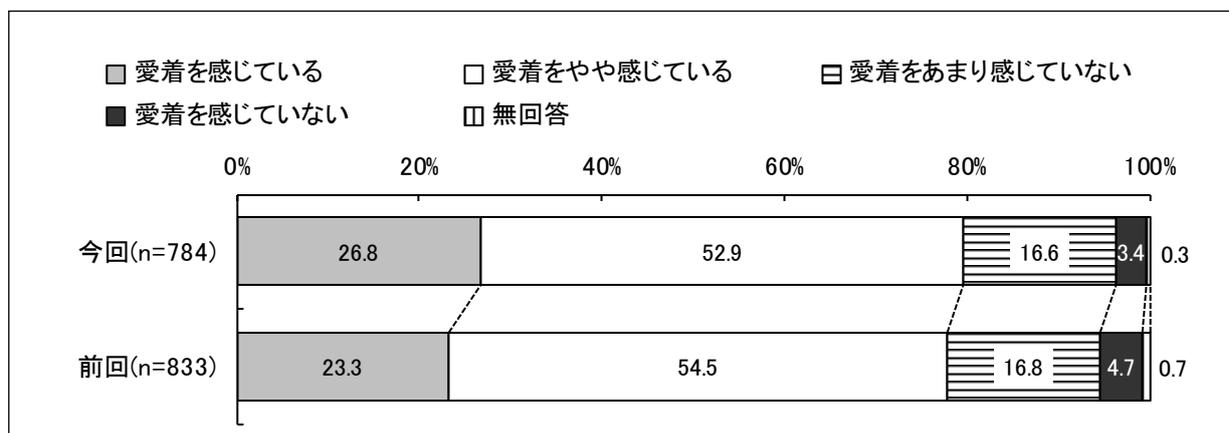
中高生別にみると、“愛着がある”は中学生で84.2%、高校生では74.0%となっています。

【『市民アンケート調査結果』との比較】

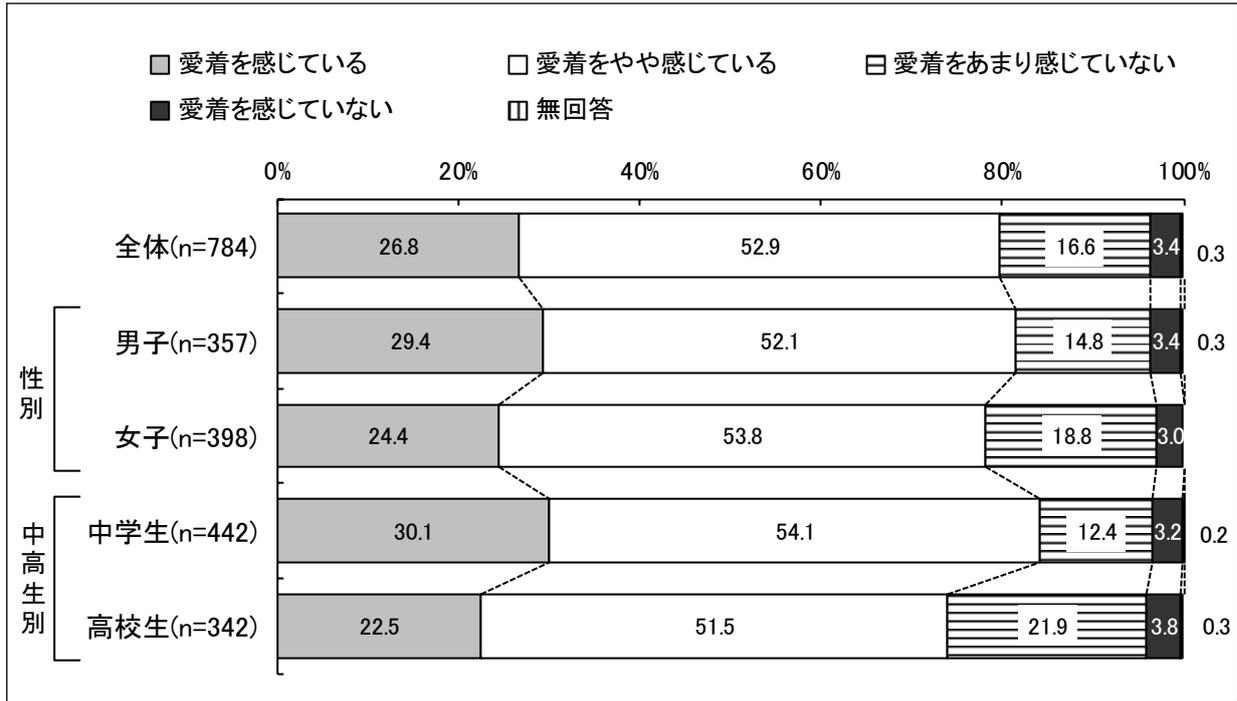
● 中高生の方が「愛着を感じている」割合が7.3ポイント低い

同様の設問を設定した『市民アンケート調査結果』と比較すると、“愛着がある”は中高生79.7%、市民72.9%と中高生が6.8ポイント上回っていますが、「愛着を感じている」の割合は中高生26.8%、市民34.1%と中高生が7.3ポイント下回っています。

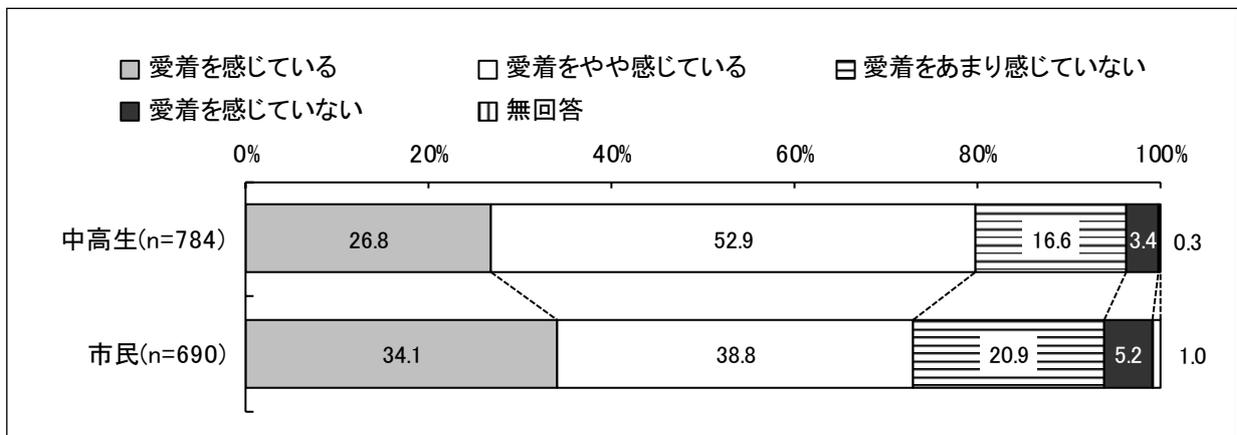
図表4 まちへの愛着度について（全体、前回との比較）



図表5 まちへの愛着度について（全体，性別，中高生別）



図表6 まちへの愛着度について（市民アンケートとの比較）



(2) 今後の定住意向について

問4 あなたは、将来も三次市に住みたい（住み続けたい）ですか。（1つに○印）

【全体の傾向】

●「住み続けたい」は微増しているが、「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた“定住希望がある”は減少

将来の定住意向をたずねたところ、「住み続けたい」（9.3%）と「どちらかといえば住み続けたい」（30.4%）を合わせた“定住希望がある”は39.7%となっています。

一方、「住みたくない」（10.5%）、「どちらかといえば住みたくない」（23.9%）を合わせた“定住希望がない”は34.4%となっています。

前回調査と比較すると、愛着度は増加していますが“定住希望がある”は減少という、相反する結果となっています。

【属性別の傾向】

●男子より女子、中学生より高校生の定住意向が少ない

性別にみると、“定住希望がある”では、男子が47.3%、女子が32.9%と、女子の方がかなり少なくなっています。

中高生別にみると、“定住希望がある”は中学生で44.4%、高校生では33.6%と、愛着度と同じく、高校生の方が少なくなっています。

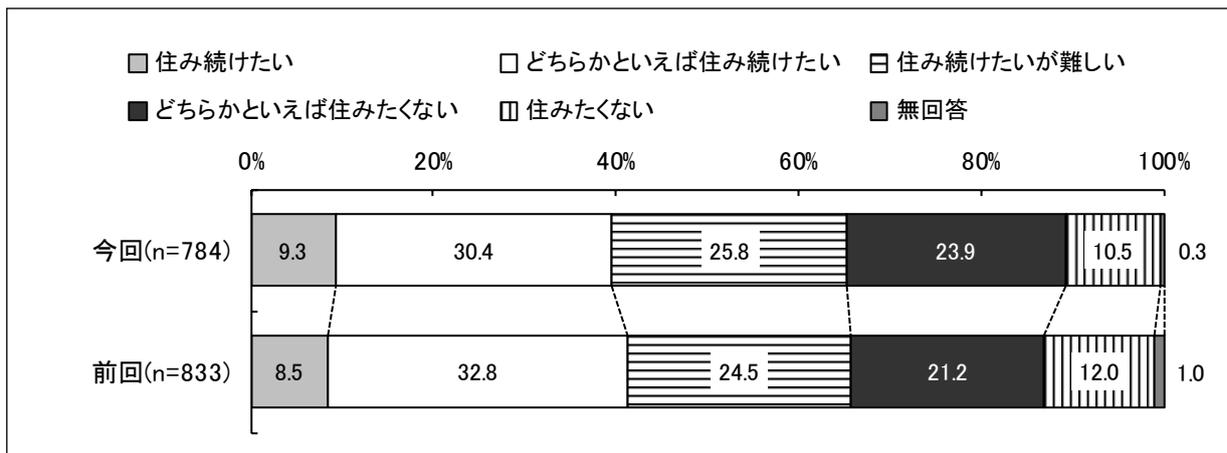
【『市民アンケート調査結果』との比較】

●市民と比べて、中高生の「住み続けたい」が少ない

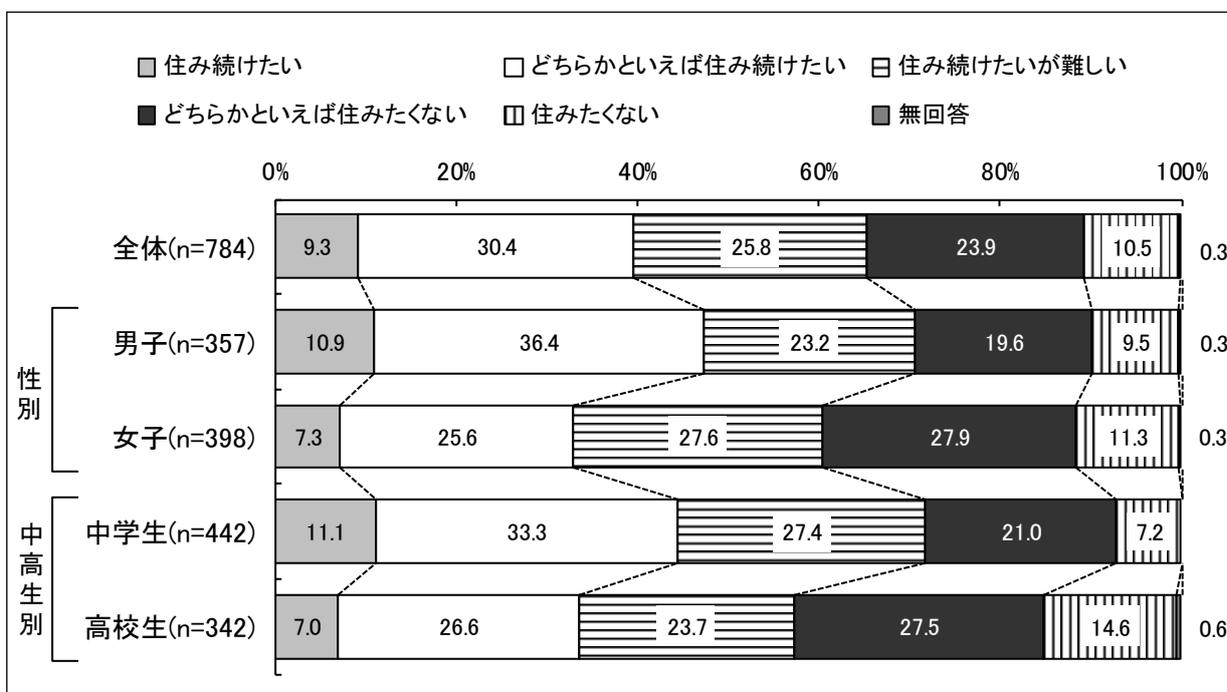
同様の設問を設定した『市民アンケート調査結果』と比較すると、「住み続けたいが難しい」の選択肢が市民にはないものの、「住み続けたい」では、中高生9.3%、市民41.0%と市民が大幅に上回っています。

これから進学や就職を控える中高生と、既に三次市で生活を定着させている市民では、結果に大きな違いがみられます。

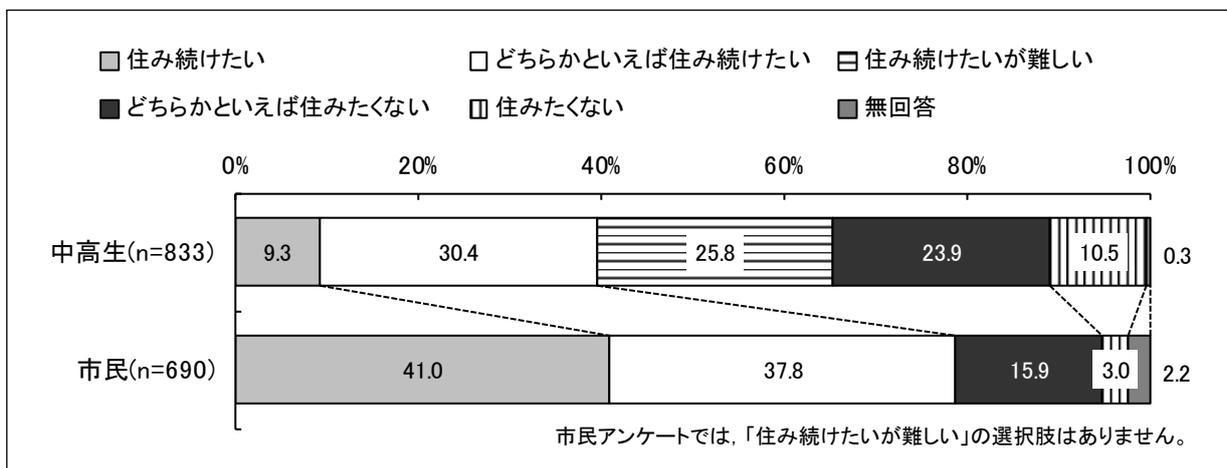
図表7 今後の定住意向について（全体，前回との比較）



図表8 今後の定住意向について（全体，性別，中高生別）



図表9 今後の定住意向について（市民アンケートとの比較）



(3) 住みたい（住み続けたい）理由

問4-1 あなたが住みたい（住み続けたい）と思う理由は何ですか。（2つまで○印）

【全体の傾向】

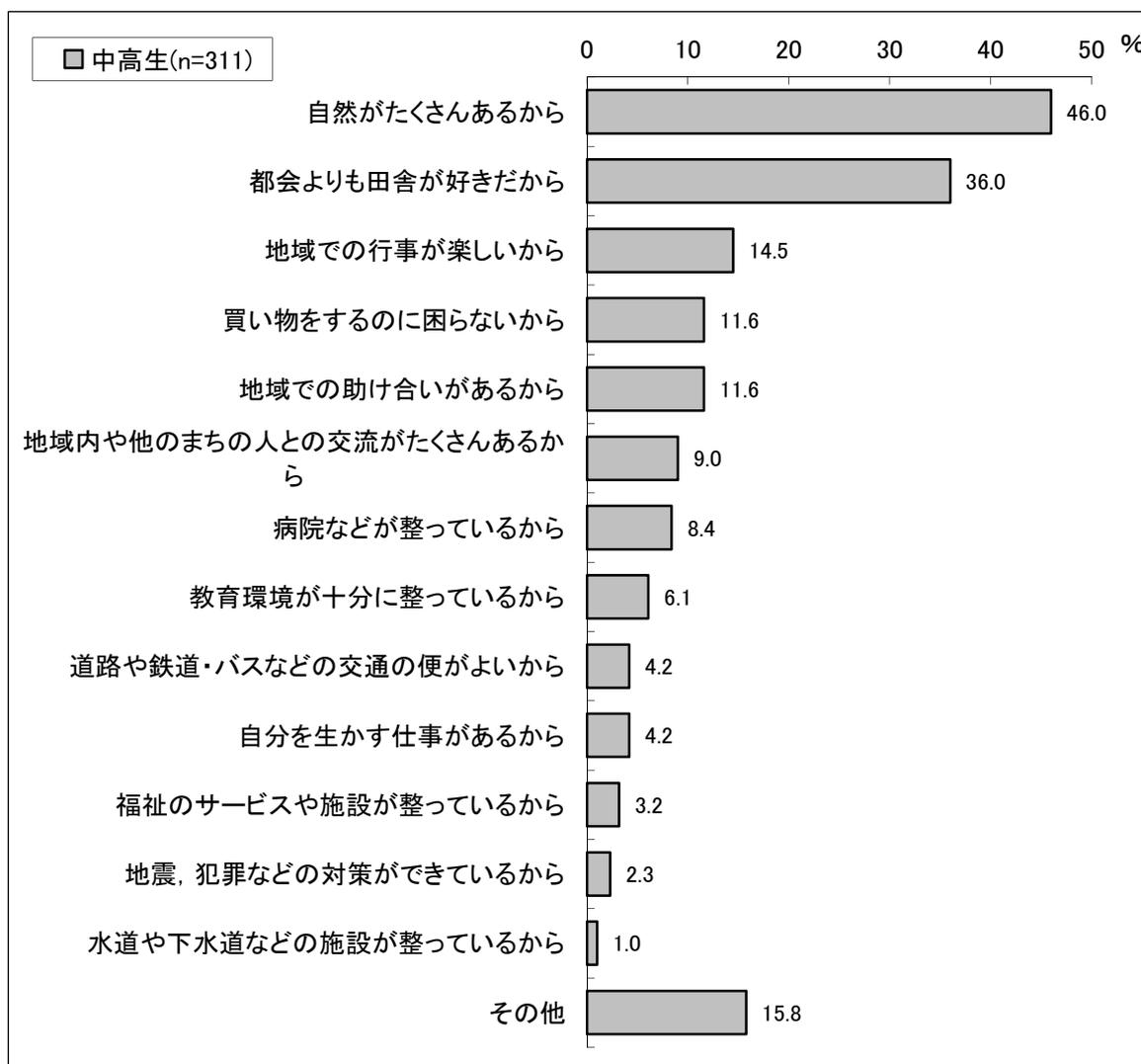
●住みたい（住み続けたい）理由は「自然」、「都会より田舎が好き」、「地域行事が楽しい」

「住みたい（住み続けたい）」、「どちらかといえば住みたい（住み続けたい）」と回答した人にその理由をたずねたところ、「自然がたくさんあるから」が46.0%と最も多く、次いで、「都会よりも田舎が好きだから」(36.0%)、「地域での行事が楽しいから」(14.5%)となっています。

性別でみると、男性と比べて、女性では「都会よりも田舎が好きだから」が多く、「自然がたくさんあるから」が少なくなっています。

図表 10-① 住みたい（住み続けたい）理由

（「住みたい（住み続けたい）」「どちらかといえば住みたい（住み続けたい）」と回答した人のみ・全体・今回／複数回答）



図表 10-② 住み続けたい理由

(「住みたい(住み続けたい)」「どちらかといえば住みたい(住み続けたい)」と回答した人のみ・全体・性別・中高生別/複数回答)

〈上位3位〉

		第1位	第2位	第3位
全体		自然がたくさんあるから 46.0%	都会よりも田舎好きだから 36.0%	地域での行事が楽しいから 14.5%
性別	男性	自然がたくさんあるから 52.7%	都会よりも田舎好きだから 31.4%	買い物をするのに困らないから 15.4%
	女性	都会よりも田舎好きだから 42.7%	自然がたくさんあるから 35.9%	地域での行事が楽しいから 13.7%
中高生別	中学生	自然がたくさんあるから 49.5%	都会よりも田舎好きだから 36.7%	地域での行事が楽しいから 13.8%
	高校生	自然がたくさんあるから 40.0%	都会よりも田舎好きだから 34.8%	地域での行事が楽しいから 15.7%

(4) 住みたくない理由

問4-2 あなたが住みたくないと思う理由は何ですか。(2つまで○印)

【全体の傾向】

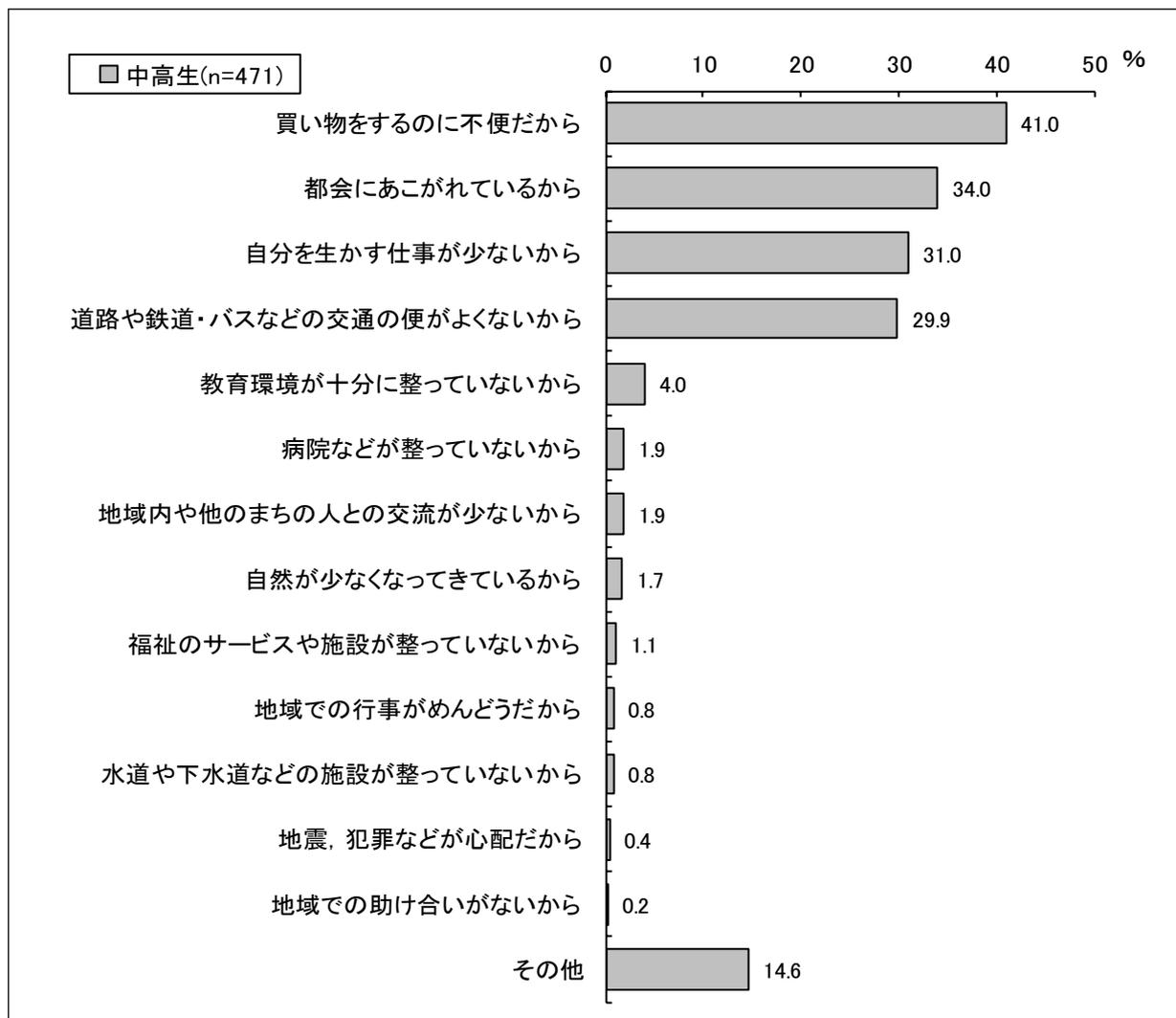
●住みたくない理由は「買い物」、「都会へのあこがれ」、「仕事」

「住み続けたいが難しい」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「買い物をするのに不便だから」が41.0%と最も多く、次いで、「都会にあこがれているから」(34.0%)、「自分を生かす仕事が少ないから」(31.0%)、「道路や鉄道・バスなどの交通の便がよくないから」(29.9%)となっており、この4項目で理由の大半を占めています。

前回調査と比較すると、概ね上位に変動はありませんが、前は第3位だった「都会にあこがれているから」が今回は第2位となっています。

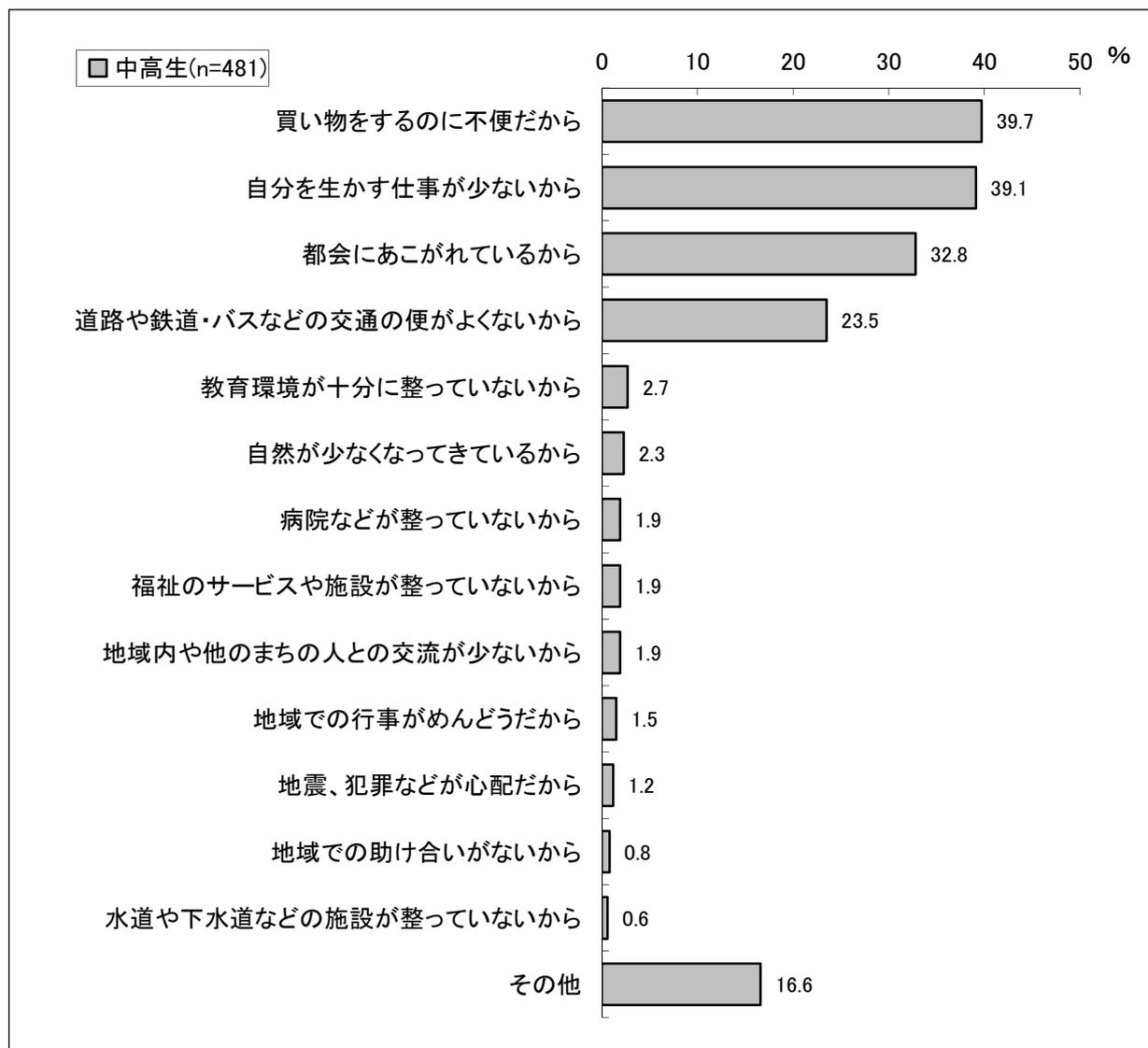
図表 11-① 住みたくない理由

(「住み続けたいが難しい」「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」と回答した人のみ・全体・今回/複数回答)



図表 11-② 住みたくない理由

(「住み続けたいが難しい」「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」と回答した人のみ・全体・前回／複数回答)



(5) 三次市で自慢できるもの

問5 三次市であなたが自慢できるものは何ですか。物でも人でも場所でも何でもかまいません。2つ以内で具体的に書いてください。

三次市で自慢できることについて自由記入方式でたずねたところ、「自然」に関することが405件と最も多く、次いで、「特産品・食べ物」に関すること(188件)、「施設・観光スポット」に関すること(138件)、「祭り・イベント」に関すること(107件)、「伝統芸能・歴史・文化」に関すること(84件)、「人情味・地域のつながり」に関すること(74件)、「市出身者」に関すること(39件)、「学校」に関すること(13件)となっています。

図表12 三次市で自慢できるもの

意見	件数
〈自然〉に関すること	
自然が豊か	203
霧の海	179
川がきれい	11
山がきれい	8
空気がきれい	4
〈特産品・食べ物〉に関すること	
ピオーネ	126
ワイン	15
美味しい食べ物	13
唐麺・唐麺焼き	11
特産品	9
農作物	7
わに料理	4

意見	件数
鮎	3
〈施設・観光スポット〉に関すること	
みよしきんさいスタジアム（みよし運動公園野球場）	39
広島三次ワイナリー	21
君田温泉	9
尾関山	6
桜の名所	6
みよし運動公園	4
三次市民ホール きりり	4
美術館	4
巴橋	3
その他施設（老人施設、医療施設、図書館など）	17
その他観光スポット（名所、紅葉スポット、常清滝など）	14
その他スポーツ施設（テニスコートなど）	11
〈祭り・イベント〉に関すること	
祭り（三次きんさい祭など）	57
花火大会	40
各種イベント，地域行事	10
〈伝統芸能・歴史・文化〉に関すること	
鶉飼	45
もののけ	10
その他伝統芸能・歴史（神楽など）	29

意見	件数
〈人情味・地域のつながり〉に関すること	
人が優しく親切	49
地域の人との交流・助け合い	25
〈市出身者〉に関すること	
金藤理絵選手	10
梵英心選手	9
その他市出身者（中村憲吉，佐々木リョウさんなど）	20
〈学校〉に関すること	
三次高等学校	10
日彰館高等学校	2
その他学校に関すること	1
〈その他〉	
安全で住みよいまち	22
きりこちゃん（三次観光イメージキャラクター）	18
ほどよい田舎（都会すぎない）	13
子どもの医療費が安い	13
買い物がしやすい	6
医療の充実	6
その他（交通の便，田んぼ，アメリカス市との交流，スポーツが盛んなど）	69
計	1,195

5 今後のまちづくりについて

(1) 今後のまちづくりについて

問6 あなたは、今後、三次市をどのようなまちにしたいと思いますか。(2つまで○印)

【全体の傾向】

●「だれもが住みやすいまち」「活気のあるまち」「元気に暮らせるまち」の回答が多い

今後のまちづくりについてたずねたところ、「高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち」が25.3%と最も多く、次いで、「商業・サービス業で活気にあふれるまち」(21.3%)、「スポーツが盛んでみんなが元気に暮らせるまち」(19.4%)の順となっています。

前回調査と比較すると、第1位の「高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち」と第2位の「商業・サービス業で活気にあふれるまち」に変動はありませんが、前は第6位であった「スポーツが盛んでみんなが元気に暮らせるまち」が第3位となっています。

【属性別の傾向】

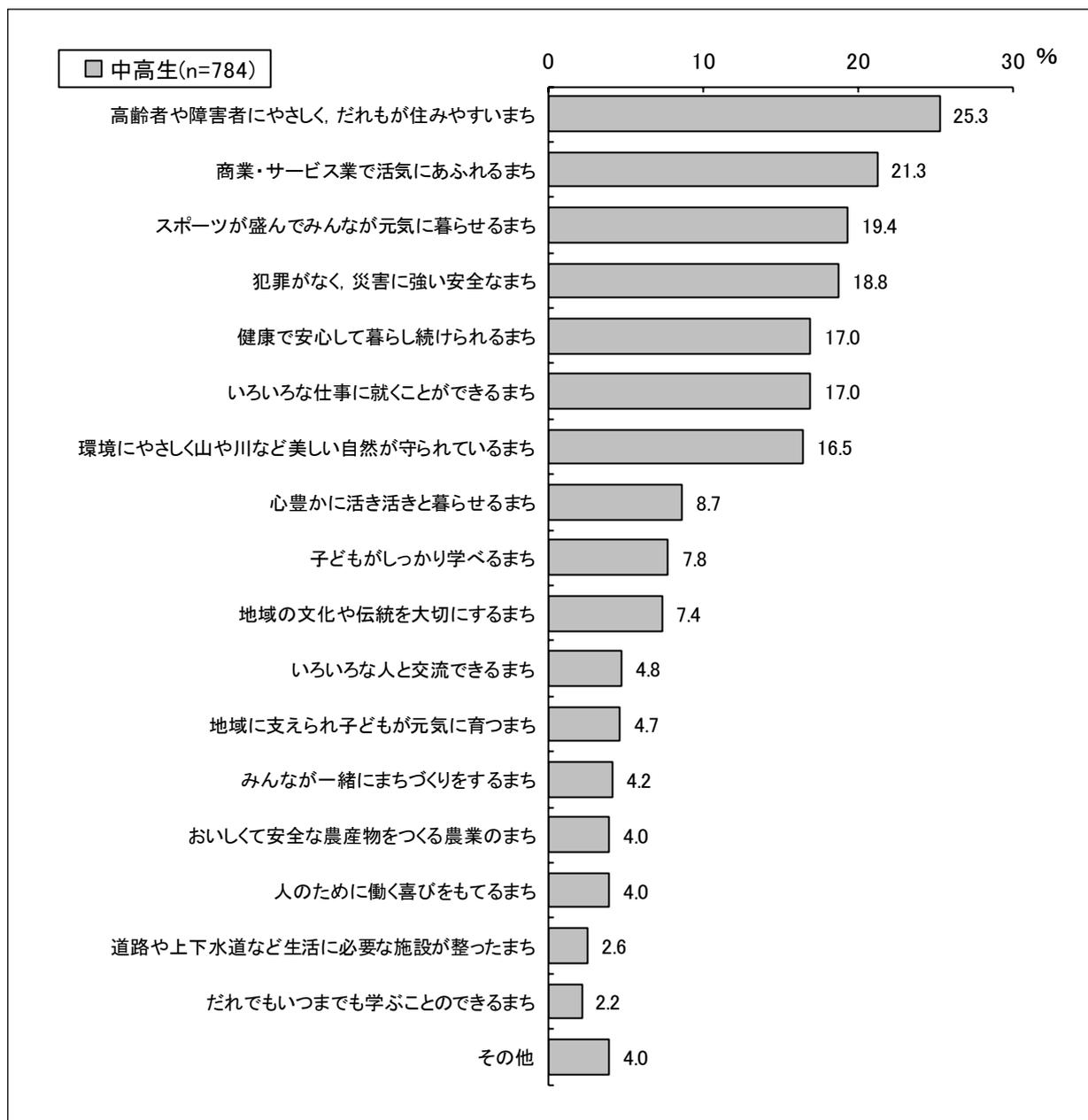
●「住み続けたいが難しい」と“定住希望がない”の人は、「商業の活気」と「働く場」への回答が多い

性別にみると、男子では「スポーツが盛んでみんなが元気に暮らせるまち」が最も多く、女子では「高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち」が最も多くなっています。

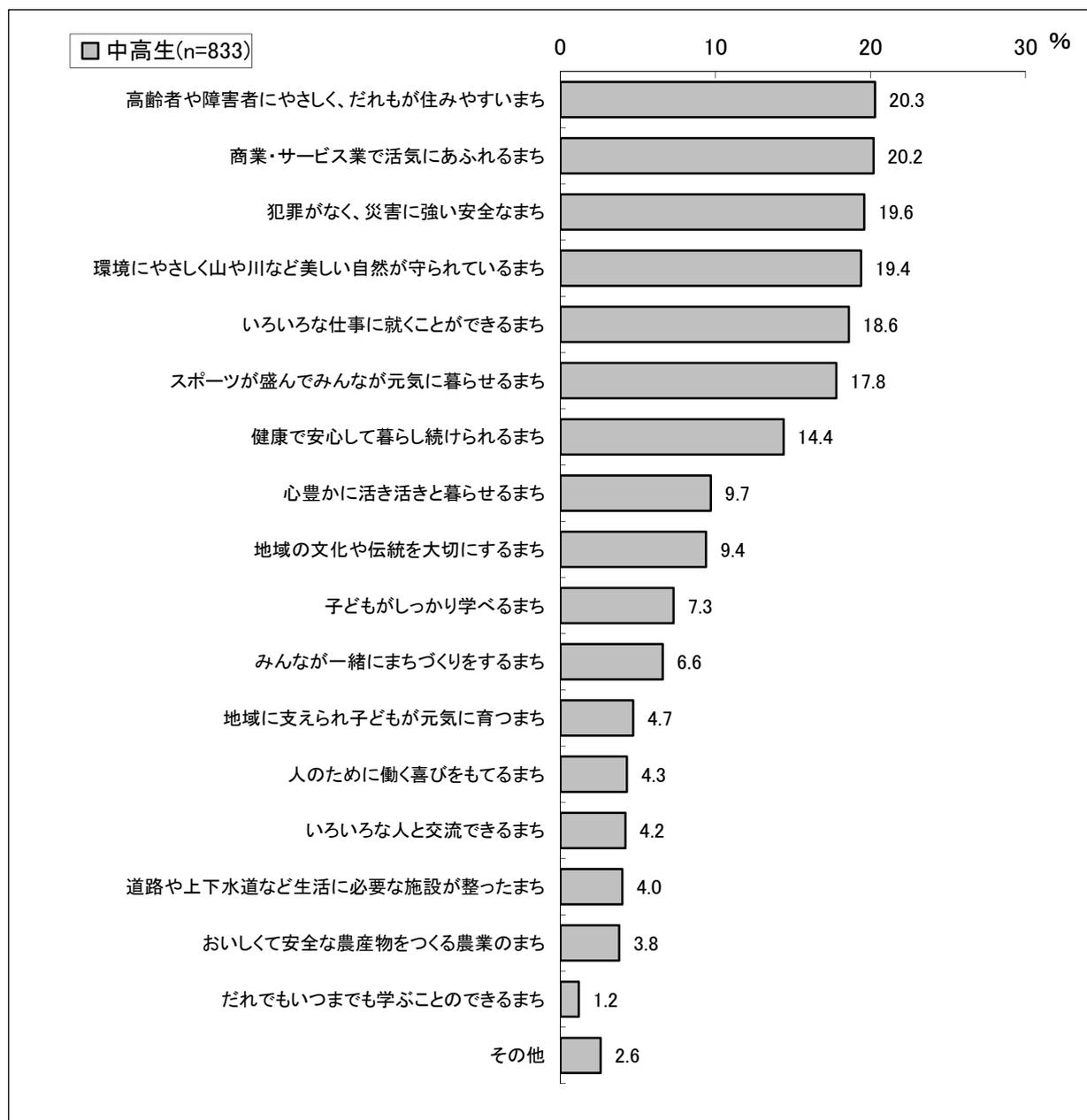
中高生別にみると、中学生では「高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち」が最も多く、高校生では「商業・サービス業で活気にあふれるまち」が最も多くなっています。

居住意向別にみると、住み続けたい層と比べて、「住み続けたいが難しい」・“定住希望がない”人では、「商業・サービス業で活気にあふれるまち」と「いろいろな仕事に就くことができるまち」への回答が多くなっています。

図表 13-① 今後のまちづくりについて（全体・今回／複数回答）



図表 13-② 今後のまちづくりについて（全体・前回／複数回答）



図表 14 今後のまちづくりについて（全体、性別、中高生別、居留意向別／複数回答）

〈上位3位〉

		第1位	第2位	第3位
全体		高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 25.3%	商業・サービス業で活気にあふれるまち 21.3%	スポーツが盛んでみんなが元気に暮らせるまち 19.4%
性別	男子	スポーツが盛んでみんなが元気に暮らせるまち 30.0%	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 22.7%	商業・サービス業で活気にあふれるまち 20.4%
	女子	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 27.4%	商業・サービス業で活気にあふれるまち 21.9%	いろいろな仕事に就くことができるまち 20.6%
中高生別	中学生	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 24.7%	商業・サービス業で活気にあふれるまち 17.4%	環境にやさしく山や川など美しい自然が守られているまち 17.0%
	高校生	商業・サービス業で活気にあふれるまち 26.3%	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 26.0%	スポーツが盛んでみんなが元気に暮らせるまち 18.1%
居留意向別	(どちらかといえば) 住み続けたい	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 28.0%	犯罪がなく、災害に強い安全なまち 25.1%	環境にやさしく山や川など美しい自然が守られているまち 19.9%
	住み続けたいが難しい	商業・サービス業で活気にあふれるまち 24.8%	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 23.3%	いろいろな仕事に就くことができるまち 20.8%
	(どちらかといえば) 住みたくない	商業・サービス業で活気にあふれるまち 26.4%	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 23.8%	いろいろな仕事に就くことができるまち 21.6%

(2) まちづくりに関する行政への要望や意見

問8 これからあなたやみんなのためのまちづくりを進めていくうえで、三次市に対する要望や意見などを書いてください。

市に望むことや意見などについて自由記入方式でたずねたところ、546件の意見が寄せられました。「商業・にぎわい」に関することが194件と最も多く、次いで、「交通の便」に関すること（100件）、「行政」に関すること（81件）、「施設」に関すること（41件）、「道路」に関すること（30件）の順となっています。

図表 15 まちづくりを進めていくうえでの要望・意見

意見	件数
〈商業・にぎわい〉に関すること 大型ショッピングモールがほしい。映画館などの娯楽施設をつくってほしい。等	194
〈交通の便〉に関すること 電車の便を増やしてほしい。バスの本数を増やしてほしい。等	100
〈行政〉に関すること 税金の使い道を考えてほしい。無駄な施設はつくらないでほしい。等	81
〈施設〉に関すること 誰もが楽しめる施設がほしい。子ども向けの娯楽施設がほしい。公園の整備。等	41
〈道路〉に関すること 外灯を増やしてほしい。舗装を直してほしい。通学路の整備。等	30
〈観光〉に関すること 観光客を集客できる観光施設や観光地の充実。等	14
〈働く場〉に関すること いろいろな就職先を増やしてほしい。等	11
〈暮らし〉に関すること 若い人が住みたいと思えるまちづくり。子どもが住みやすいまち。誰もが住みやすいまちづくり。等	11
〈教育〉に関すること 学校の校舎や設備の充実。大学の誘致。等	10
〈イベント〉に関すること 伝統的な祭を続けてほしい。人が集まるイベントを増やしてほしい。等	10
〈自然〉に関すること 自然は壊さないでほしい。等	7
〈医療〉に関すること 医療機関を充実させてほしい。等	7
〈福祉〉に関すること 高齢者向け施設を増やしてほしい。高齢者が住みやすくしてほしい。等	6
〈その他〉 Wi-Fiの充実。もっと発展してほしい。人口を増やす。等	24
計	546

(3) まちづくりを進めていくうえで自分や市民ができること

問9 これからあなたやみんなのためのまちづくりを進めていくうえで、自分や市民ができると思うことを書いてください。

まちづくりを進めていく上で自分や市民にできることについて自由記入方式でたずねたところ、429件の意見が寄せられました。「清掃美化」に関することが116件と最も多く、次いで、「ボランティア」に関すること（92件）、「地域の行事・交流、まちのイベント」に関すること（55件）、「思いやり・助け合い」に関すること（30件）の順となっています。

図表 16 まちづくりを進めていくうえで自分や市民ができること

意 見	件 数
〈清掃美化〉に関すること 例：ゴミ拾い。ポイ捨てをしない。まちをきれいに保つ。	116
〈ボランティア〉に関すること 例：ボランティアに参加する。	92
〈地域の行事・交流、まちのイベント〉に関すること 例：行事に積極的に参加する。地域の人との交流を深める。人が集まるイベントを増やす。	55
〈思いやり・助け合い〉に関すること 例：お互いに協力し合う。相手のことを思いやる。人に優しく接する。高齢者や障害者を助ける。	30
〈情報発信〉に関すること 例：三次の良さをアピールする。三次をPRする。	23
〈自然の保護〉に関すること 例：自然を大切にする。自然環境を守る。	21
〈市政参加・行政〉に関すること 例：市政に意見を伝える。意見を提案する。無駄遣いをさせない。	16
〈募金〉に関すること 例：募金をする。	14
〈あいさつ・声かけ〉に関すること 例：あいさつをする。笑顔であいさつをする。高齢者に声をかける。	13
〈歴史・伝統・文化〉に関すること 例：伝統行事を大切にする。伝統の継承。	8
〈その他〉 例：働いて納税をする。定住する。子どもを増やす。	41
計	429

Ⅱ 市民アンケート調査結果

1 調査概要

(1) 調査目的

三次市総合計画を検証・見直しするにあたり、市民の意識を調査するために、18歳以上の市民を対象に、まちづくりの満足度・重要度や三次市の将来像のイメージを把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査方法

調査の対象	三次市に居住する18歳以上の男女
標本数	2,000
抽出母体	住民基本台帳 (平成29年10月1日現在)
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法(郵送による配布・回収)
調査時期	平成29年10月～11月

(3) 配布数及び回収結果

配布数	2,000
有効回収数	690
有効回収率	34.5%

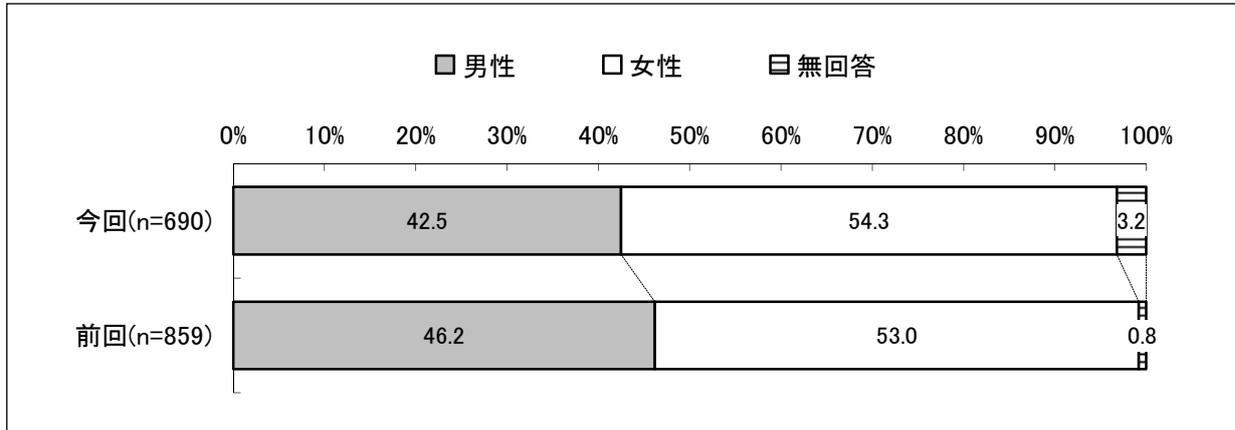
(4) 本調査報告書の留意点

- (1) 比率は百分率で表し、小数点以下第2位(設問によっては第3位)を四捨五入して算出しました。
そのために、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- (2) 複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は調査数を上回ることがあります。
- (3) 図中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (4) 属性別の地区別等のクロス集計については、標本数が少ないため、統計的有意性が低いものがあります。従って、その部分は参考数値としてご理解ください。

2 回答者の属性

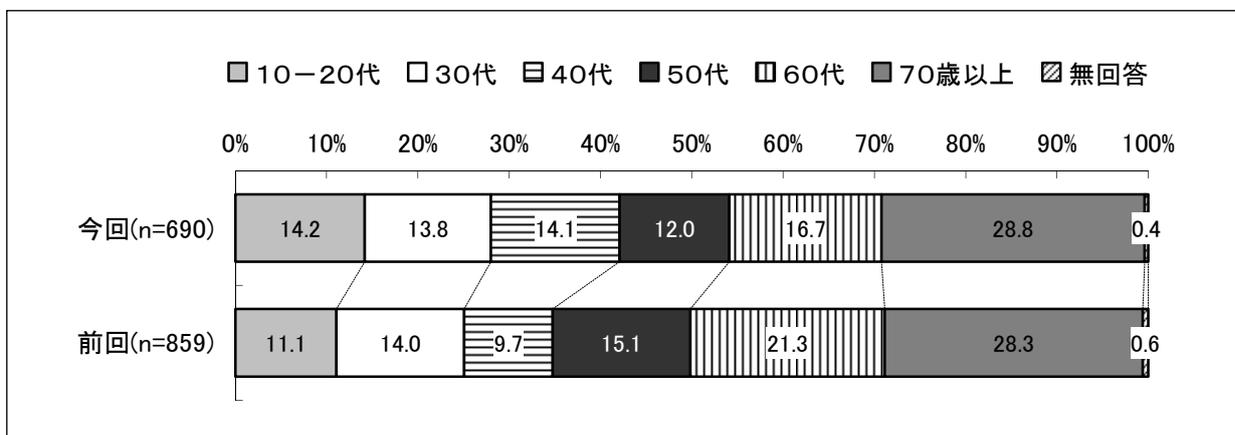
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が42.5%、「女性」が54.3%となっています。



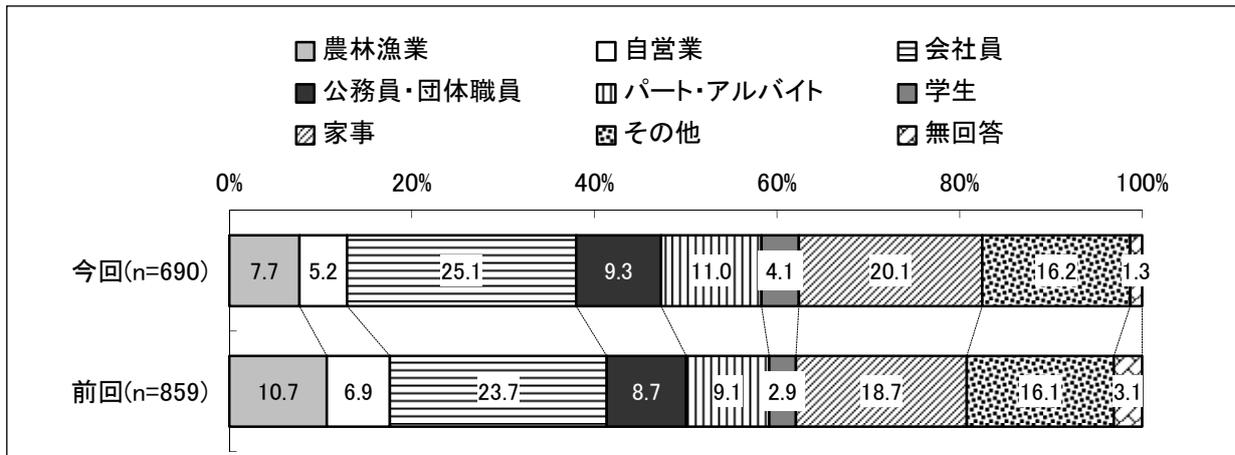
(2) 年齢

回答者の年齢は、「70歳以上」が28.8%と最も多く、次いで、「60代」(16.7%)、「10-20代」(14.2%)の順となっています。



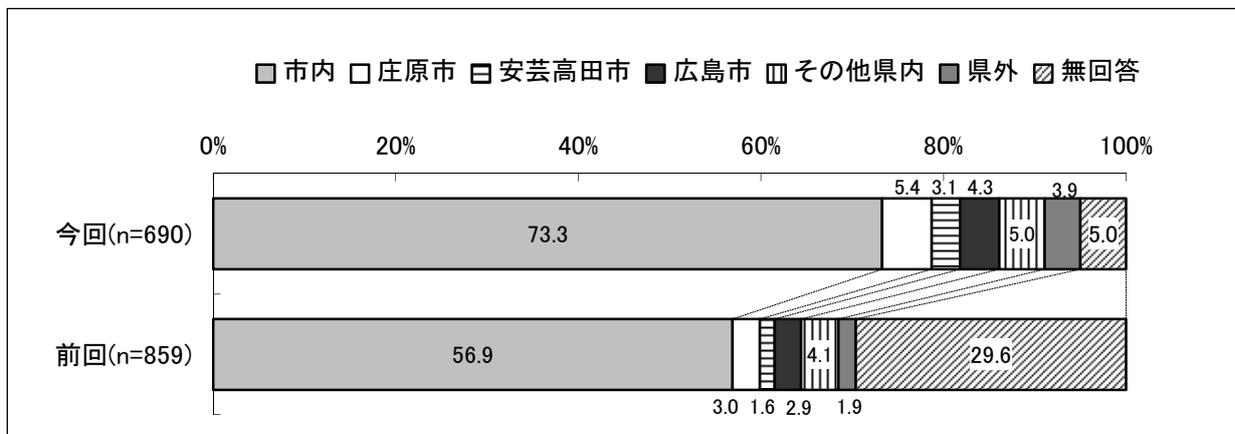
(3) 職業

回答者の職業は、「会社員」が25.1%と最も多く、次いで、「家事」(20.1%)、「その他」(16.2%)の順となっています。



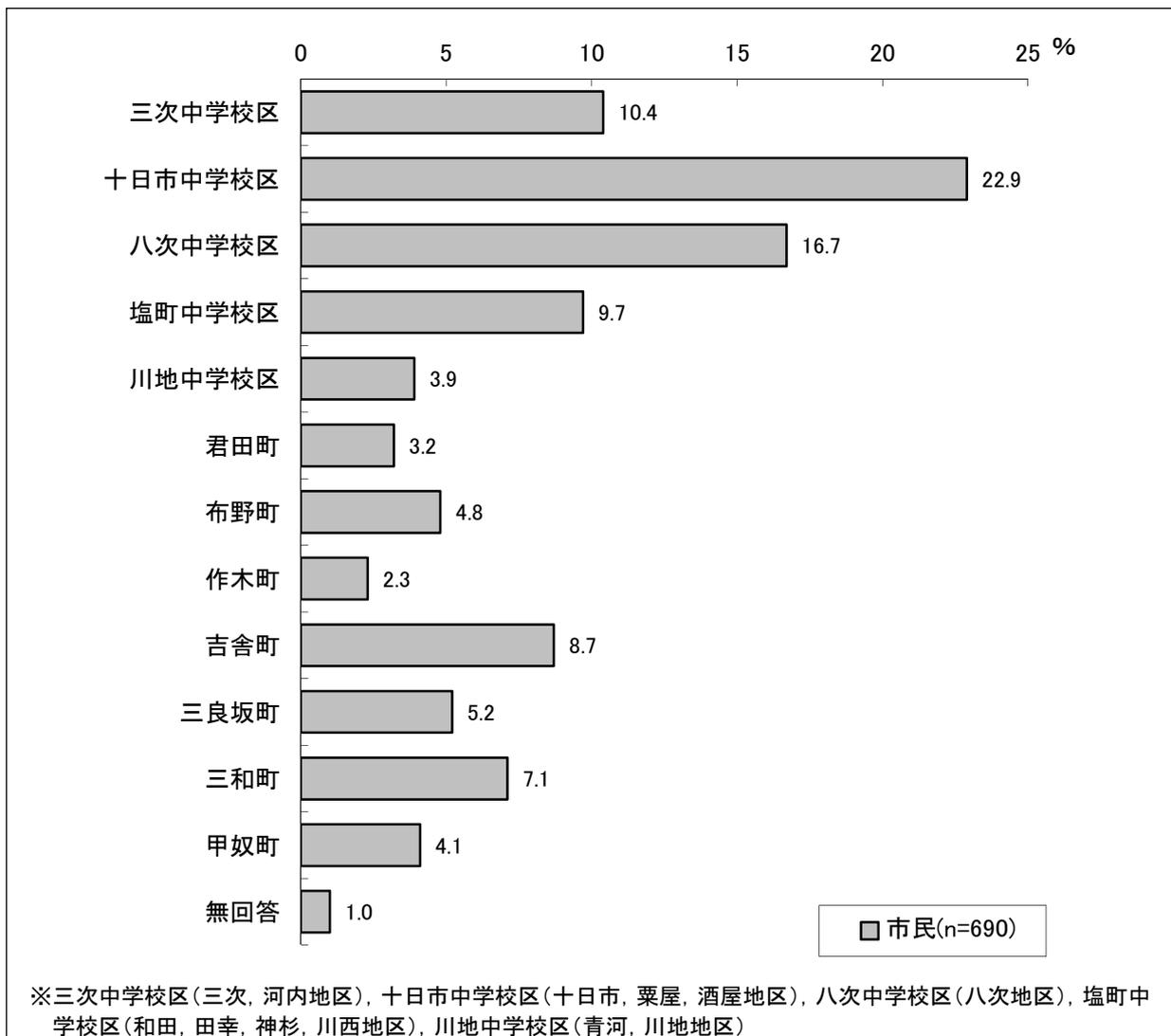
(4) 就学先・勤務先

回答者の就学先・勤務先は、「市内」が73.3%と最も多く、次いで、「庄原市」(5.4%)、「その他県内」(5.0%)の順となっています。



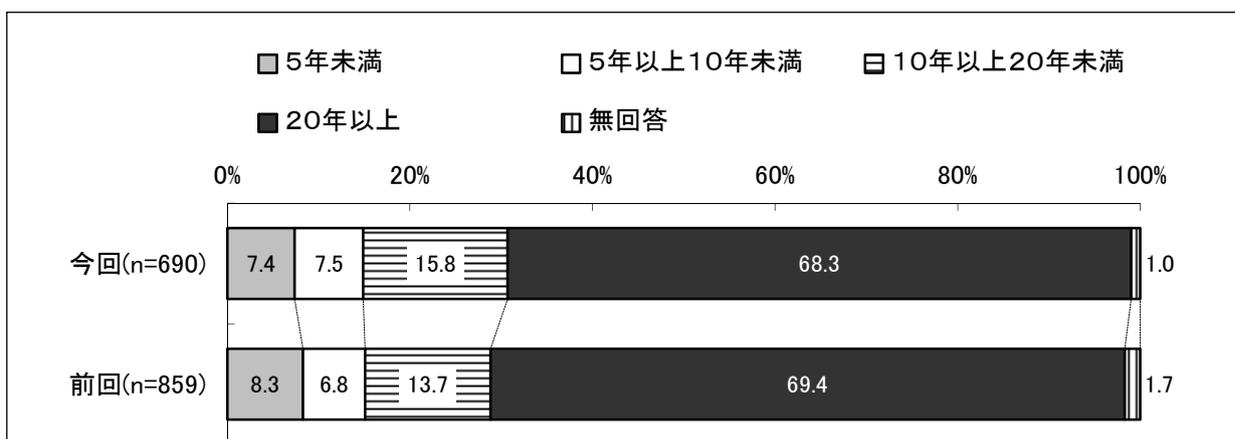
(5) 居住地

居住地は、「十日市中学校区」が 22.9%と最も多く、次いで、「八次中学校区」(16.7%)、「三次中学校区」(10.4%)の順となっています。



(6) 居住年数

居住年数は、「20年以上」が 68.3%と最も多く、次いで、「10年以上20年未満」(15.8%)、「5年以上10年未満」(7.5%)の順となっています。



3 「市民の幸せ」について

(1) 市民の幸せ度

問2 現在、あなたは実感としてどの程度、幸せですか。「とても幸せ」を5点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(1つに○印)

※加重平均値の算出方法

6段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「とても幸せ 5点」の回答数} \times 5 \text{点} \\ \text{「4点」の回答数} \times 4 \text{点} \\ \text{「3点」の回答数} \times 3 \text{点} \\ \text{「2点」の回答数} \times 2 \text{点} \\ \text{「1点」の回答数} \times 1 \text{点} \\ \text{「とても不幸 0点」の回答数} \times 0 \text{点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「5点」, 「4点」, 「3点」, 「2点」,} \\ \text{「1点」, 「0点」の回答数} \\ \text{の合計} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点は5点～0点の間に分布し、5点に近くなるほど評価は高くなり、逆に0点に近くなるほど評価が低くなる。

【全体の傾向】

●今回の調査の平均は3.41点で、前回調査（平均3.30点）より若干高い

市民の実感としての幸せ度を点数（5点から0点）で評価したところ、「（とても幸せ）5点」（15.5%）、「4点」（32.5%）、「3点」（35.8%）、「2点」（10.9%）、「1点」（4.0%）、「（とても不幸）0点」（1.3%）で、平均3.41点となっています。

前回調査（平成24年）と比較すると、今回調査の方が平均点は若干高くなっています。

【属性別の傾向】

●男性より女性の方が幸せ度は高い

性別で見ると、男性平均3.33点、女性平均3.47点で、女性の方が若干高くなっています。

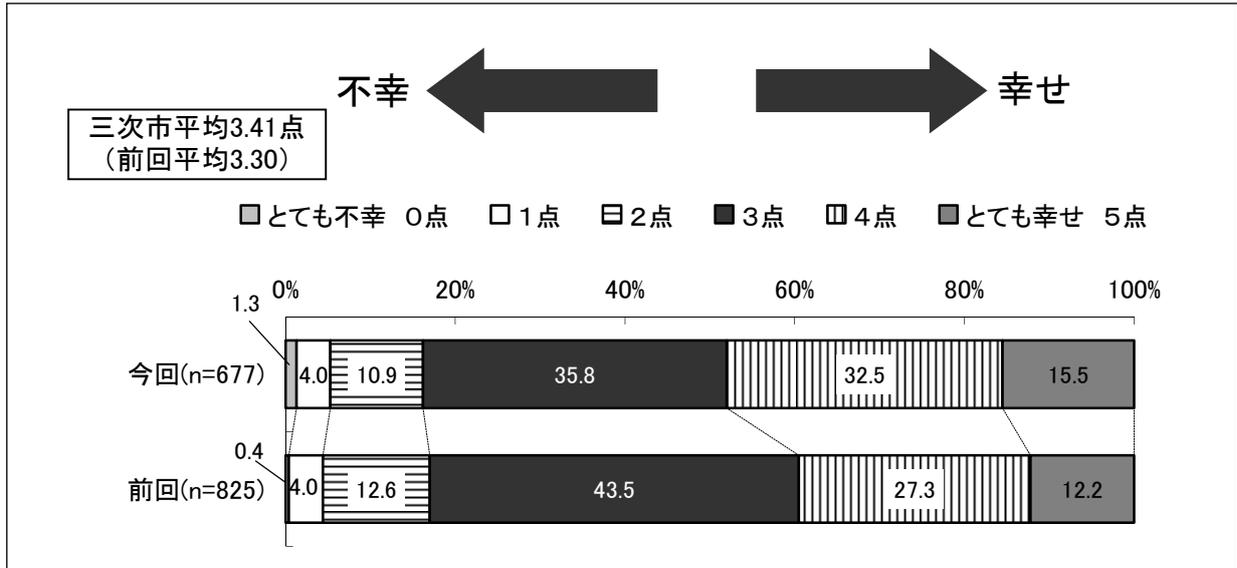
●70歳以上の高齢者で幸せ度が高い

年齢別にみると、70歳以上の平均は3.54点と、他の年齢と比べて高くなっています。

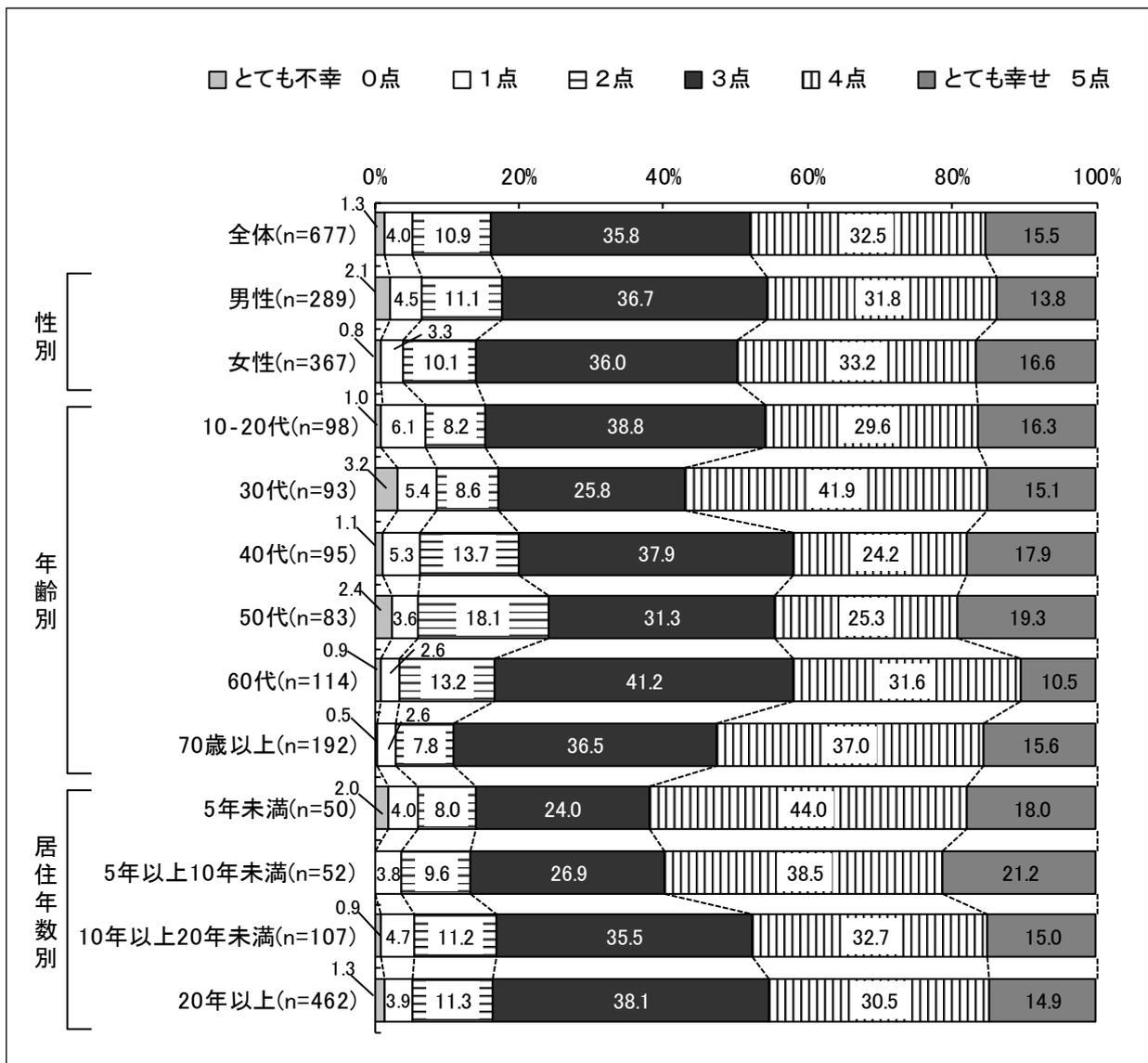
●居住年数10年未満で幸せ度が高い

居住年数別にみると、10年未満でしあわせ度が高くなっています。

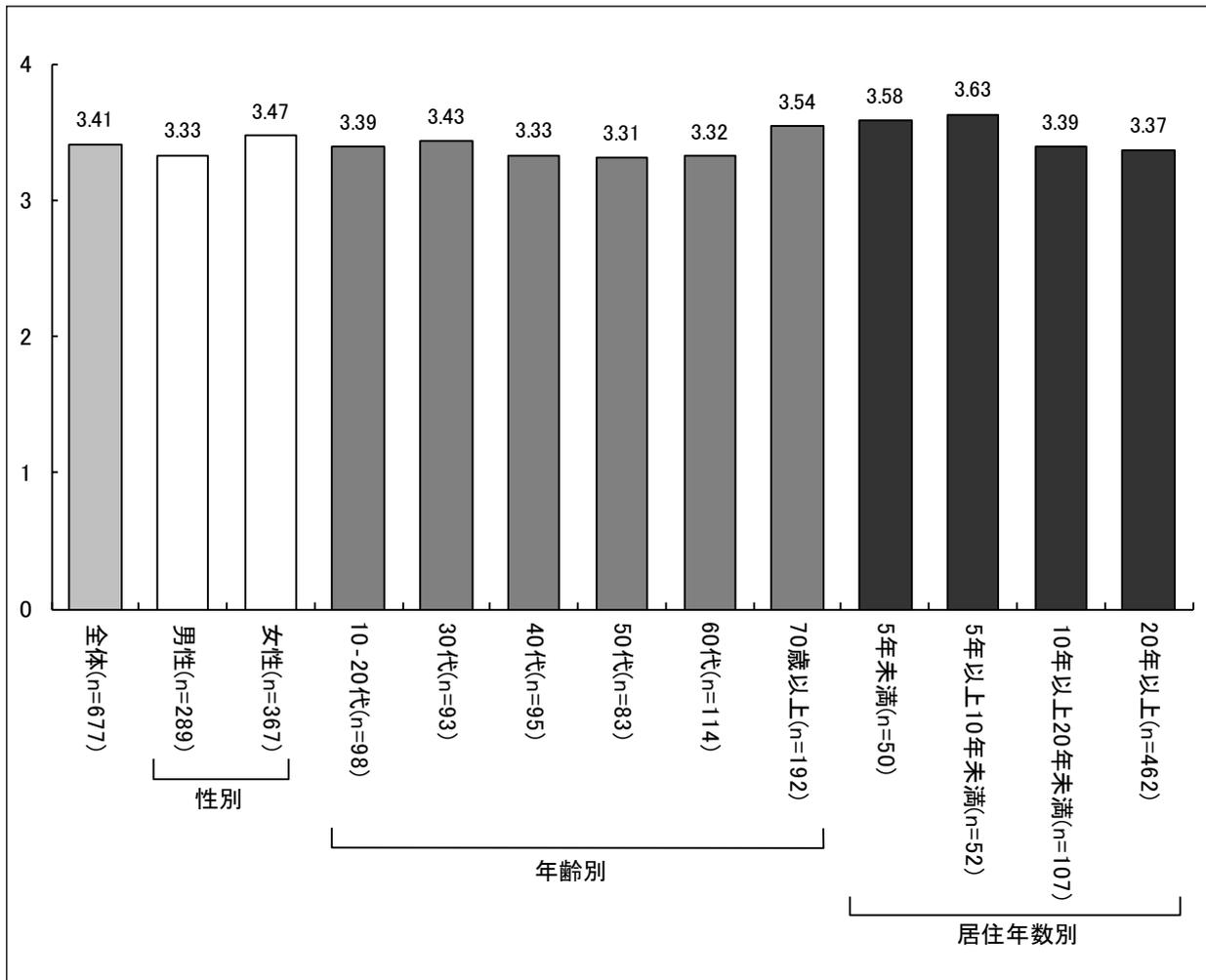
図表 17 市民の幸せ度（全体，前回との比較）



図表 18 市民の幸せ度（全体，性別，年齢別，居住年数別）



図表 19 市民の幸せ度（全体，性別，年齢別，居住年数別／点数化）



(2) 幸福感を判断する際に満足度が高い事項・低い事項

問3 幸福感を判断する際に、満足度が高い事項は何ですか。(該当するすべてに○印)

問4 幸福感を判断する際に、満足度が低い事項は何ですか。(該当するすべてに○印)

【全体の傾向】

満足度が高い事項

幸福感を判断する際に満足度が高い項目は、「家族関係」が72.5%と最も多く、次いで、「健康状態」(56.7%)、「友人関係」(42.0%)の順となっています。

前回調査と比較すると、上位3項目に変動はありませんが、第1位の「家族関係」は前回の68.6%から72.5%へ満足度が上昇しています。

満足度が低い事項

幸福感を判断する際に満足度が低い項目は、「所得・収入」が41.0%と最も多く、次いで、「精神的なゆとり」(25.7%)、「健康状態」(25.2%)の順となっています。

前回調査と比較すると、上位3項目に変動はありませんが、前は第3位であった「精神的なゆとり」が今回は第2位となっています。

【属性別の傾向】

満足度が高い事項

性別にみると、男女とも第1位は「家族関係」、第2位は「健康状態」ですが、第3位は男性では「自由な時間」、女性では「友人関係」となっています。

年齢別にみると、他の年齢と比べて、10～20代では「友人関係」が「健康状態」より多くなっています。

居住年数別でみると、他の居住年数と比べて、5年未満では「精神的なゆとり」と「自由な時間」が同率で「友人関係」より多くなっています。

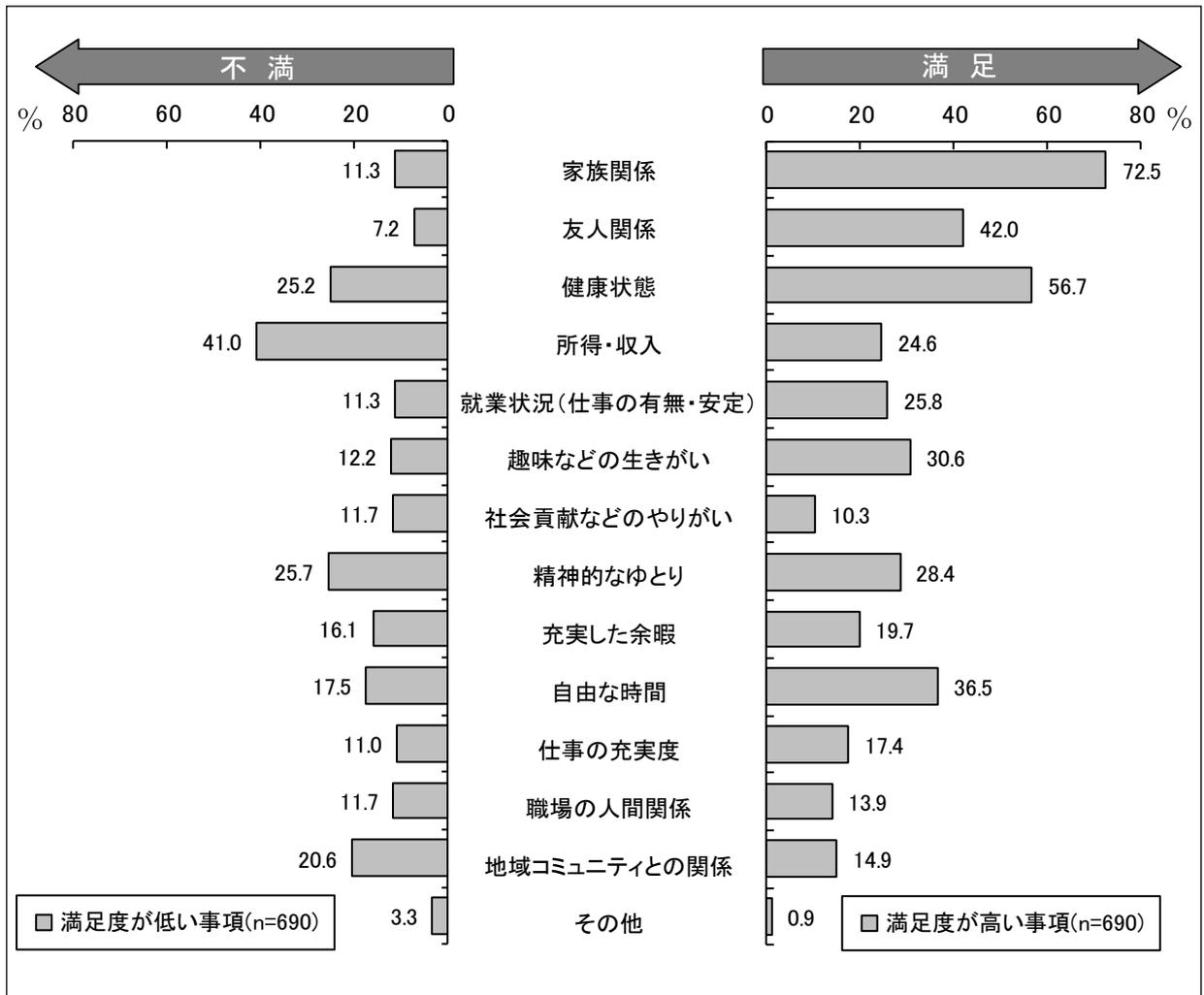
満足度が低い事項

性別にみると、男女とも第1位は「所得・収入」ですが、男性では第2位は「健康状態」、第3位は「地域コミュニティとの関係」であるのに対し、女性では第2位は「精神的なゆとり」、第3位は「健康状態」となっています。

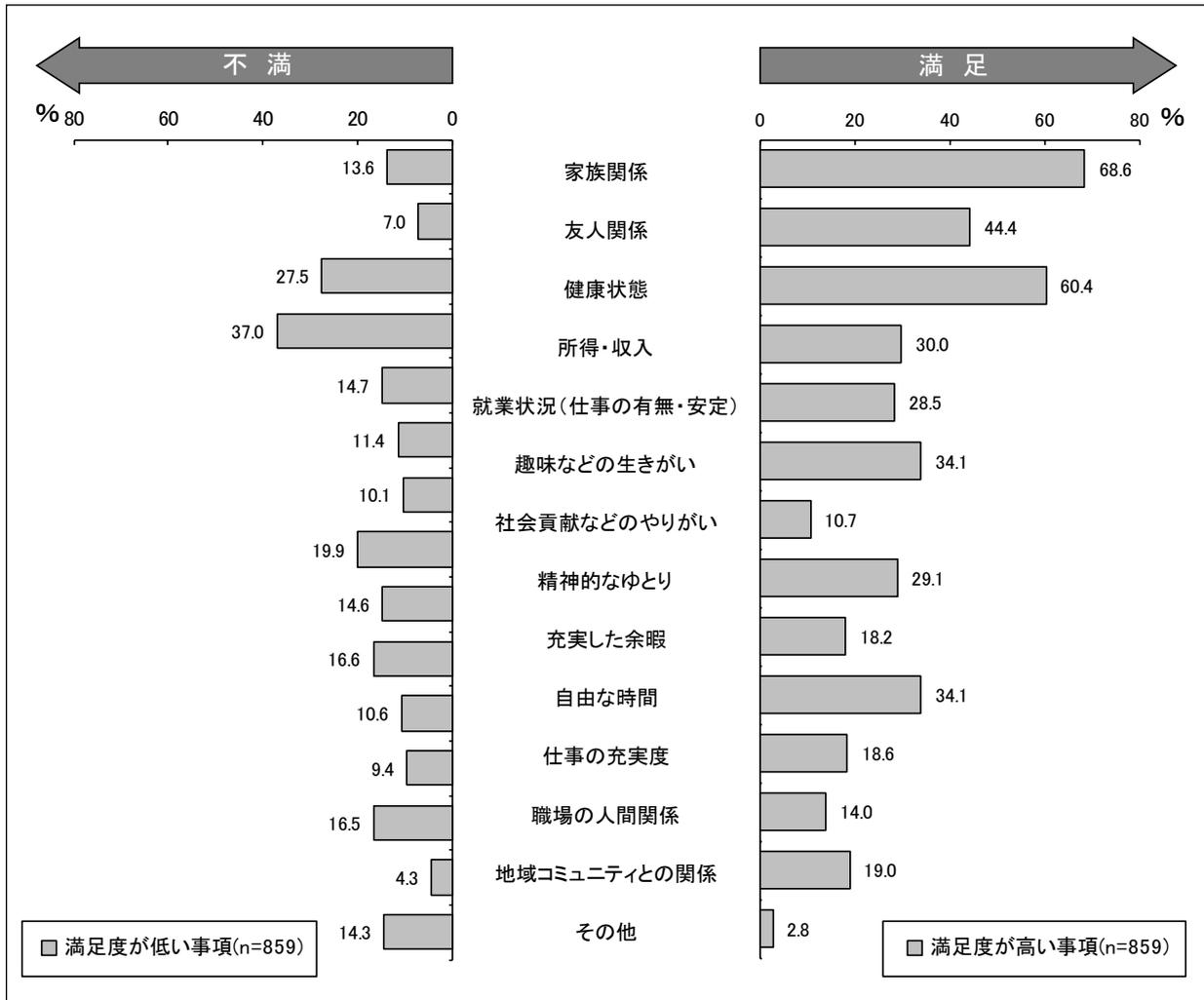
年齢別にみると、10～60代までは「所得・収入」が第1位ですが、70歳以上では「健康状態」が第1位となっています。

居住年数別にみると、10年以上と比べて、10年未満では「地域コミュニティとの関係」が多くなっています。

図表 20-① 幸福感を判断する際に満足度が高い事項・低い事項（全体・今回／複数回答）



図表 20-② 幸福感を判断する際に満足度が高い事項・低い事項（全体・前回／複数回答）



図表 21 幸福感を判断する際に満足度が高い事項（全体、性別、年齢別、居住年数別／複数回答）

〈上位3位〉

		第1位	第2位	第3位
全体		家族関係 72.5%	健康状態 56.7%	友人関係 42.0%
性別	男性	家族関係 69.6%	健康状態 53.9%	自由な時間 35.5%
	女性	家族関係 74.9%	健康状態 58.7%	友人関係 49.9%
年齢別	10 - 20代	家族関係 70.4%	友人関係 49.0%	健康状態 46.9%
	30代	家族関係 78.9%	健康状態 56.8%	友人関係 42.1%
	40代	家族関係 82.5%	健康状態 62.9%	就業状況（仕事の有無・安定） 40.2%
	50代	家族関係 78.3%	健康状態 66.3%	友人関係 42.2%
	60代	家族関係 73.9%	健康状態 61.7%	精神的なゆとり 40.9%
	70歳以上	家族関係 62.8%	健康状態 51.3%	自由な時間 45.2%
居住年数別	5年未満	家族関係 84.3%	健康状態 43.1%	精神的なゆとり／自由な時間 33.3%
	5年以上10年未満	家族関係 80.8%	健康状態 53.8%	友人関係 46.2%
	10年以上20年未満	家族関係 75.2%	健康状態 59.6%	友人関係 43.1%
	20年以上	家族関係 69.9%	健康状態 58.2%	友人関係 43.1%

図表 22 幸福感を判断する際に満足度が低い事項（全体、性別、年齢別、居住年数別／複数回答）

〈上位3位〉

		第1位	第2位	第3位
全体		所得・収入 41.0%	精神的なゆとり 25.7%	健康状態 25.2%
性別	男性	所得・収入 40.3%	健康状態 25.3%	地域コミュニティとの関係 23.2%
	女性	所得・収入 41.6%	精神的なゆとり 28.8%	健康状態 24.8%
年齢別	10 - 20代	所得・収入 36.7%	精神的なゆとり 24.5%	地域コミュニティとの関係 23.5%
	30代	所得・収入 43.2%	地域コミュニティとの関係 24.2%	精神的なゆとり 22.1%
	40代	所得・収入 43.3%	精神的なゆとり 27.8%	地域コミュニティとの関係 26.8%
	50代	所得・収入 50.6%	精神的なゆとり 36.1%	自由な時間 32.5%
	60代	所得・収入 47.8%	健康状態 33.9%	精神的なゆとり 23.5%
	70歳以上	健康状態 41.2%	所得・収入 29.2%	精神的なゆとり 31.3%
居住年数別	5年未満	所得・収入 39.2%	地域コミュニティとの関係 23.5%	精神的なゆとり 21.6%
	5年以上10年未満	所得・収入 38.5%	地域コミュニティとの関係 26.9%	趣味などの生きがい／自由な時間／仕事の充実度／職場の人間関係 19.2%
	10年以上20年未満	所得・収入 37.6%	精神的なゆとり 28.4%	健康状態／自由な時間 20.2%
	20年以上	所得・収入 42.7%	健康状態 28.9%	精神的なゆとり 26.8%

4 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問5 あなたは、三次市に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。
(1つに○印)

【全体の傾向】

● “愛着がある” 人が7割を超えるものの、地域によって差

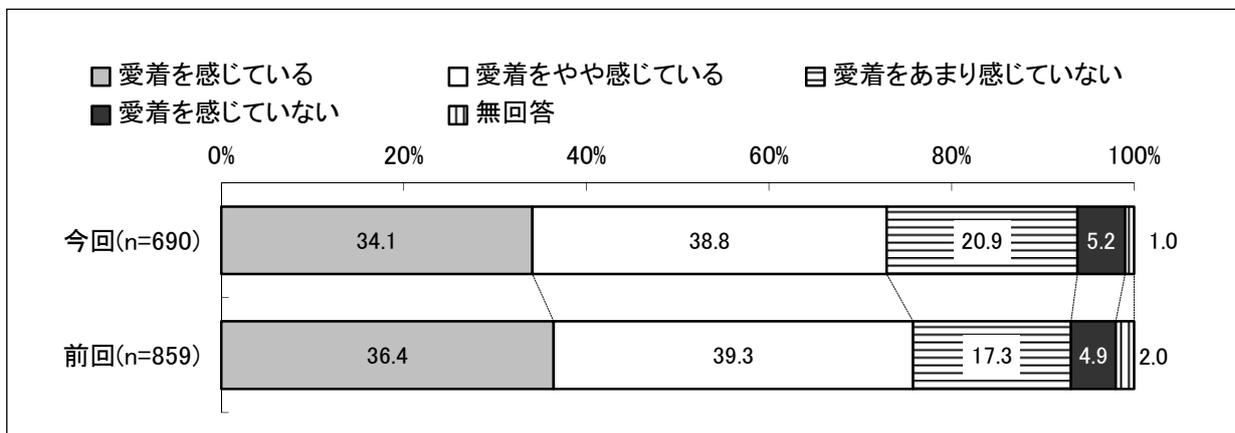
「愛着を感じている」(34.1%)と「愛着をやや感じている」(38.8%)を合わせた“愛着がある”は72.9%と7割を超えています。一方、「愛着をあまり感じていない」(20.9%)と「愛着を感じていない」(5.2%)を合わせた“愛着がない”は26.1%となっています。地域別にみると、「愛着を感じている」と答えた割合が多い地域は、作木町92.8%、続いて、川地中学校区81.5%、三良坂町80.6%、塩町中学校区79.1%となっています。

【属性別の傾向】

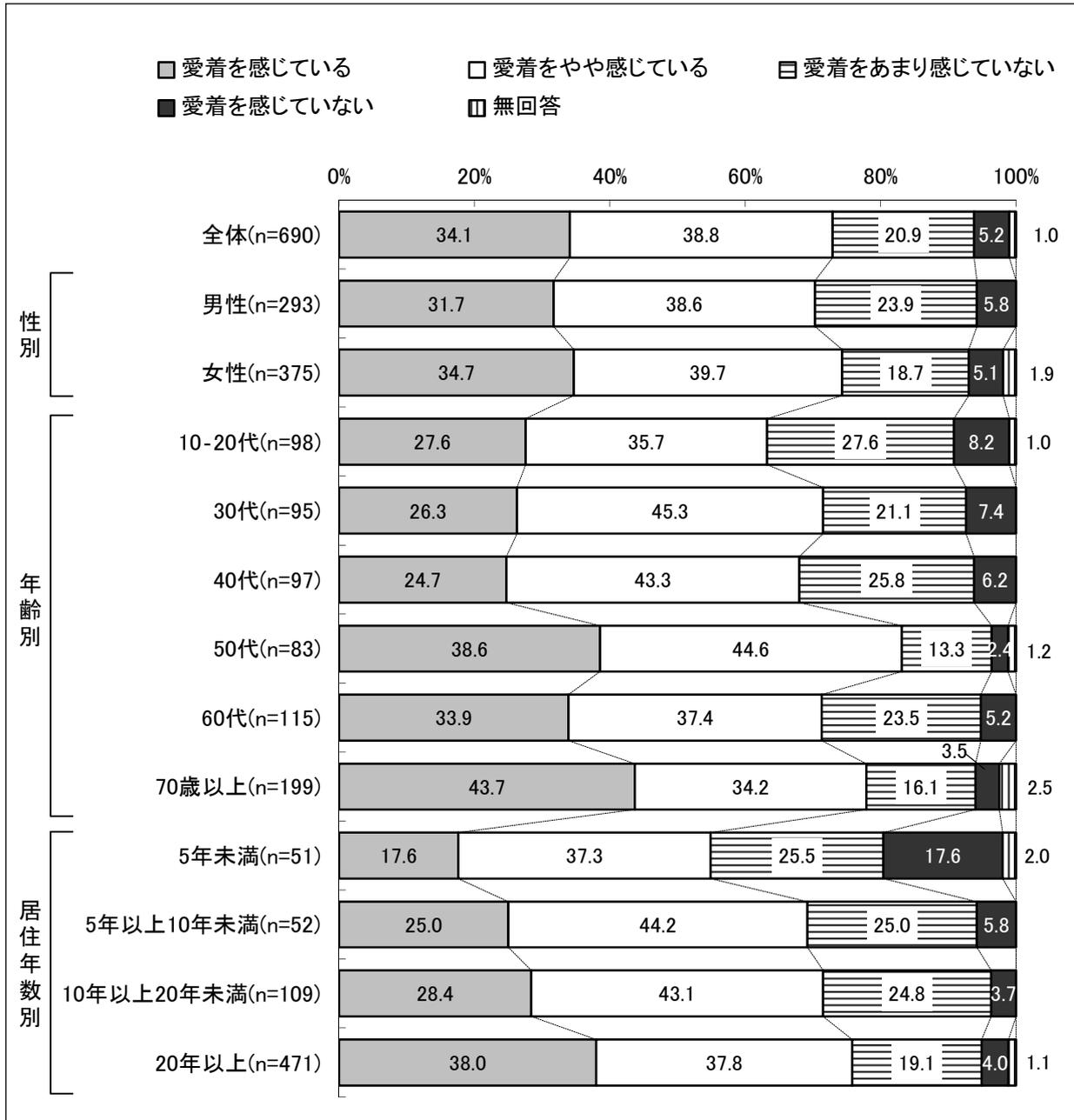
● 年齢が高いほど、また、居住年数が長いほど愛着が深まる傾向

性別にみると、女性の“愛着がある”が74.4%と、男性の70.3%を上回っています。年齢別にみると、「愛着を感じている」の割合が50代以上で多くなっています。居住年数別にみると、年数に比例して“愛着がある”の割合が多くなっています。居住地別にみると、“愛着がある”の割合が最も多いのは作木町の93.8%となっています。

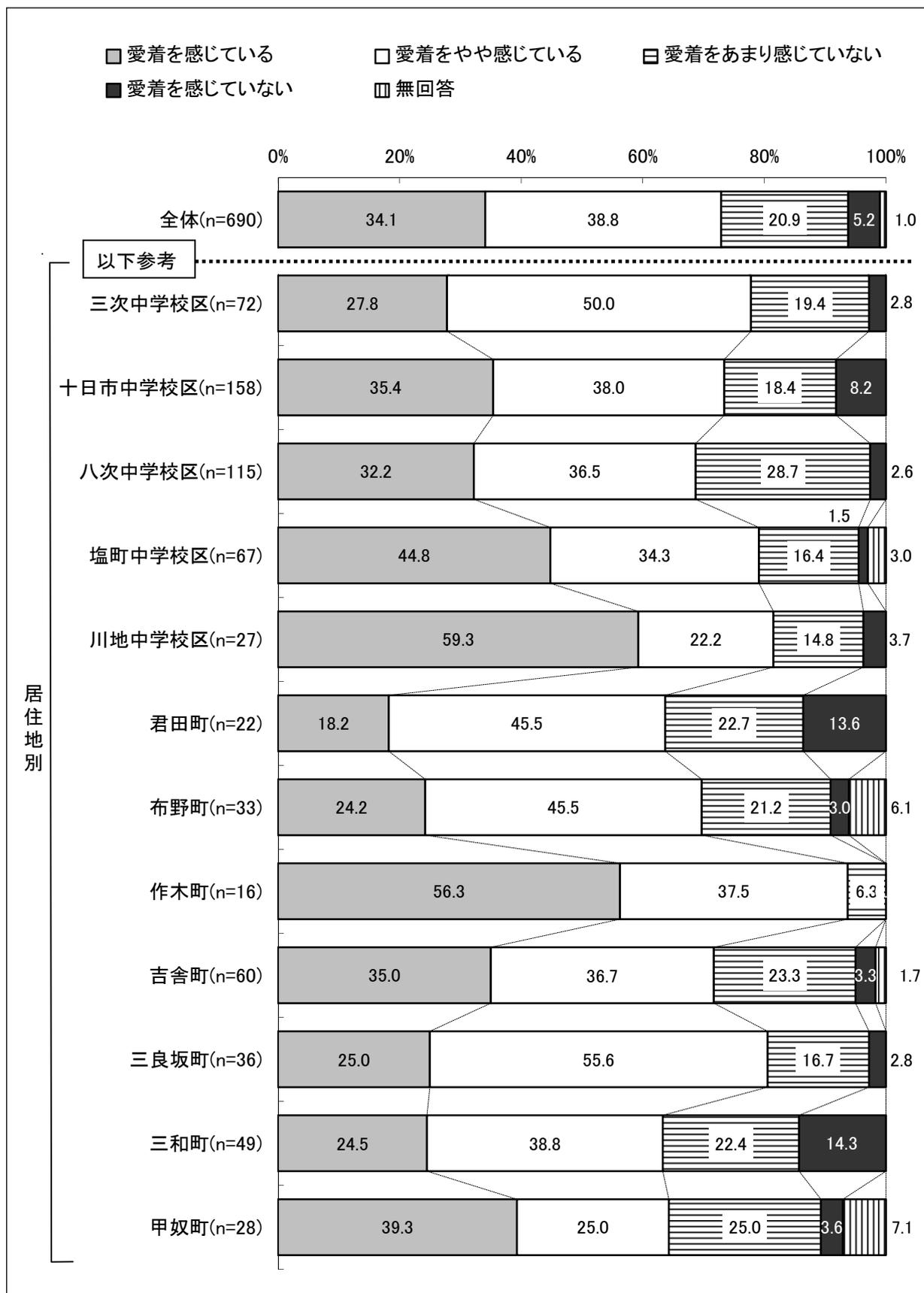
図表 23 まちへの愛着度について（全体、前回との比較）



図表 24 まちへの愛着度について（全体，性別，年齢別，居住年数別）



図表 25 まちへの愛着度について（全体，居住地別）



※属性別の地区別等のクロス集計については、標本数が少ないため、統計的有意性が低いものがあります。従って、その部分は参考数値としてご理解ください。

(2) 今後の定住意向について

問6 あなたは、これからも三次市に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

【全体の傾向】

● “定住希望がある”が前回より減少しているものの8割弱を占めており、地域によっては差がある

「住み続けたい」(41.0%)と「どちらかといえば住み続けたい」(37.8%)を合わせた“定住希望がある”は78.8%となっています。一方、「どちらかといえば住みたくない」(15.9%)、「住みたくない」(3.0%)を合わせた“定住希望がない”は18.9%となっています。

前回調査と比較すると、「住み続けたい」が7.8ポイントの減少となっています。

地域別にみると、「住み続けたい」と答えた割合が多い地域は、作木町100%、川地中学校区88.9%、甲奴町85.7%、三良坂町83.3%、塩町中学校区82.1%となっています。

【属性別の傾向】

●年齢が高いほど、また、居住年数が長いほど“定住希望がある”割合が高い傾向

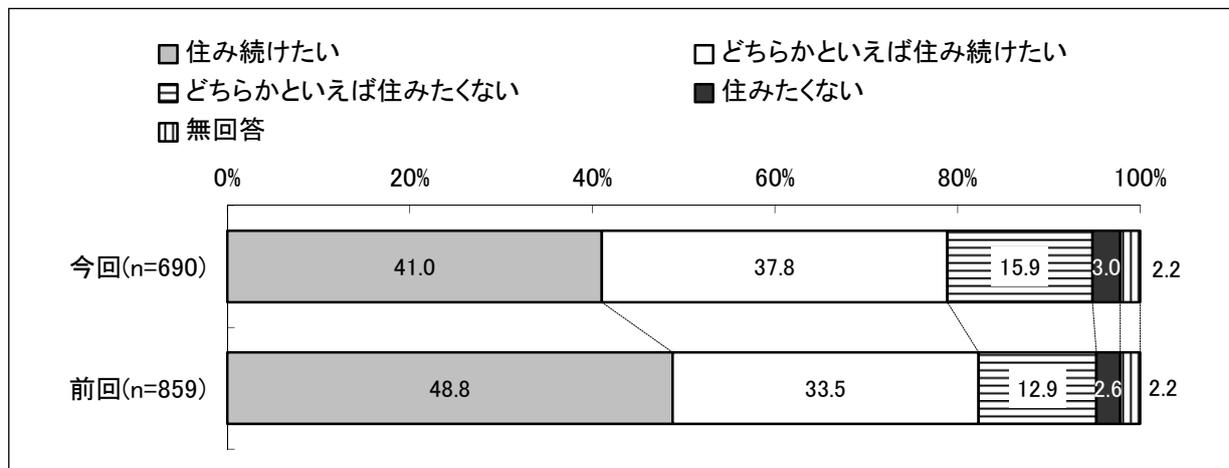
性別にみると、男性・女性とも“定住希望がある”の割合は変わりませんが、「住み続けたい」の割合は男性が3.4ポイント上回っています。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるほど「住み続けたい」の割合が多くなる傾向にあります。

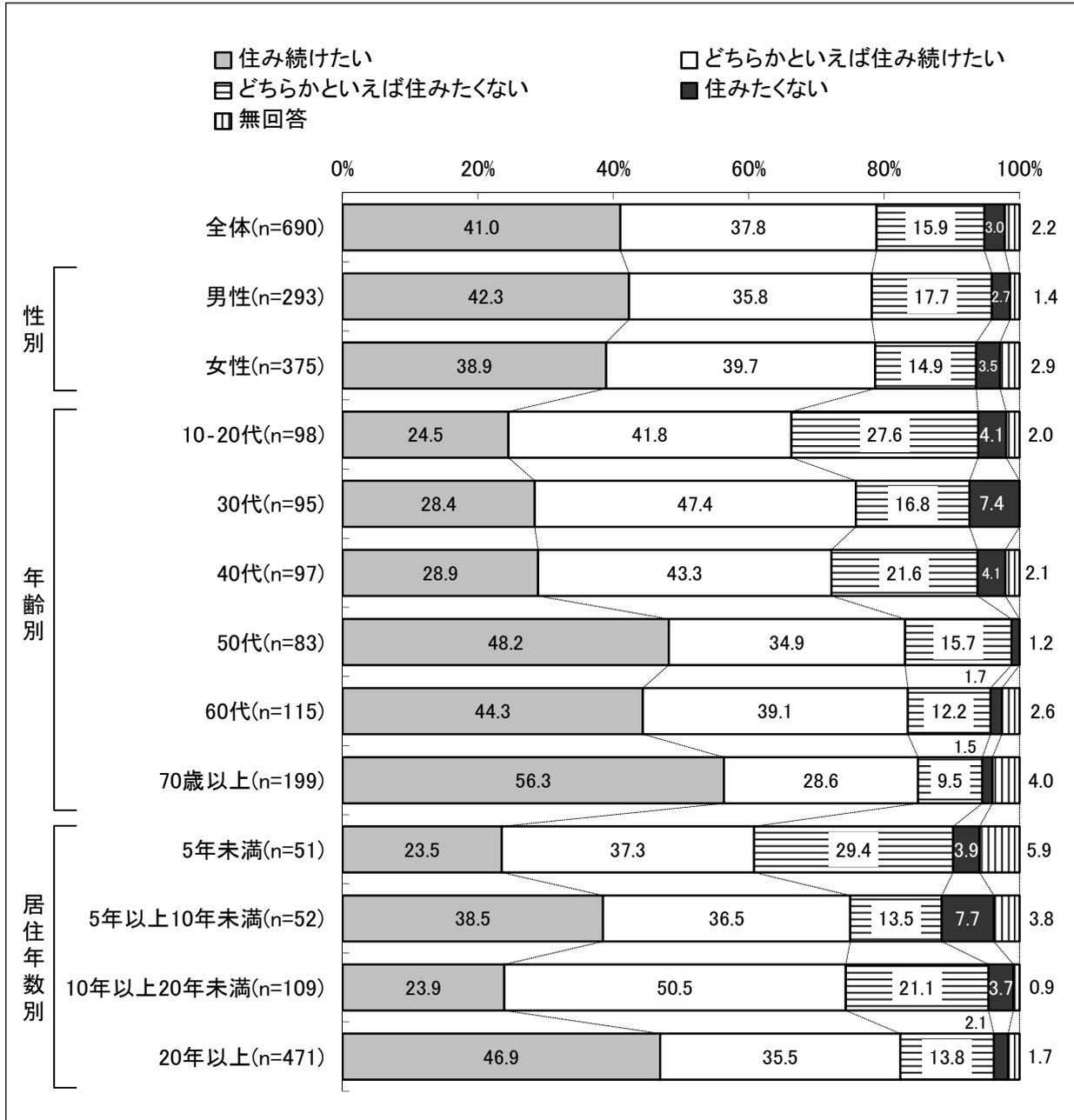
居住年数別にみると、年数が長いほど“定住希望がある”の割合が多くなっています。

居住地別にみると、「住み続けたい」の割合が最も多いのは川地中学校区の66.7%となっています。

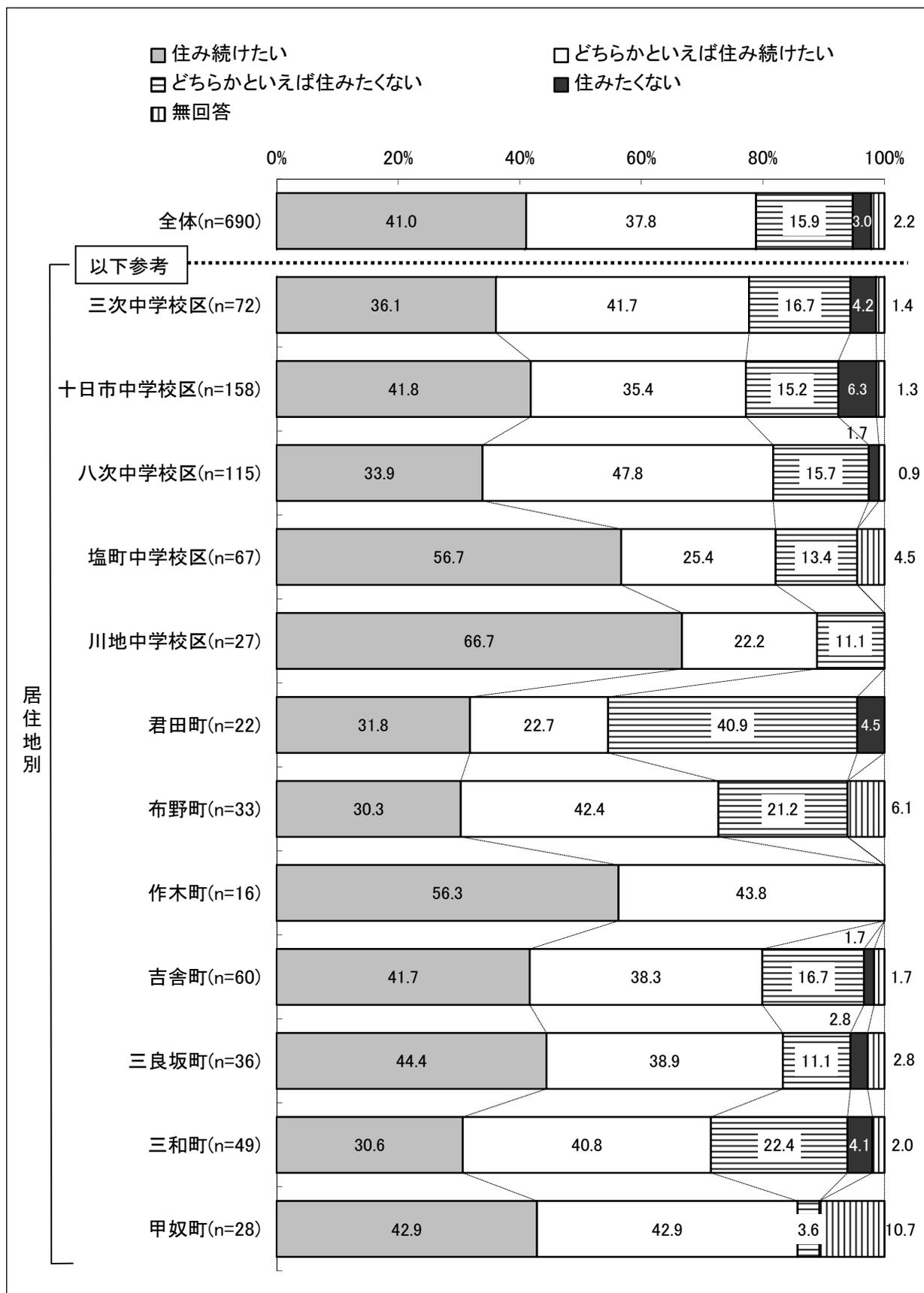
図表26 今後の定住意向について(全体、前回との比較)



図表 27 今後の定住意向について（全体，性別，年齢別，居住年数別）



図表 28 今後の定住意向について（全体，居住地別）



※属性別の地区別等のクロス集計については、標本数が少ないため、統計的有意性が低いものがあります。従って、その部分は参考数値としてご理解ください。

(3) 住み続けたい理由

問6-1 あなたが住み続けたいと思う理由は何ですか。(5つまで○印)

【全体の傾向】

●「自然が豊か」「日常に不便を感じない」という回答が多い

「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人にその理由をたずねたところ、「自然が豊かだから」が53.9%と最も多く、次いで、「日常の買い物に不便を感じないから」(45.8%)、「保健・医療サービスや施設が整っているから」(21.7%)の順となっています。

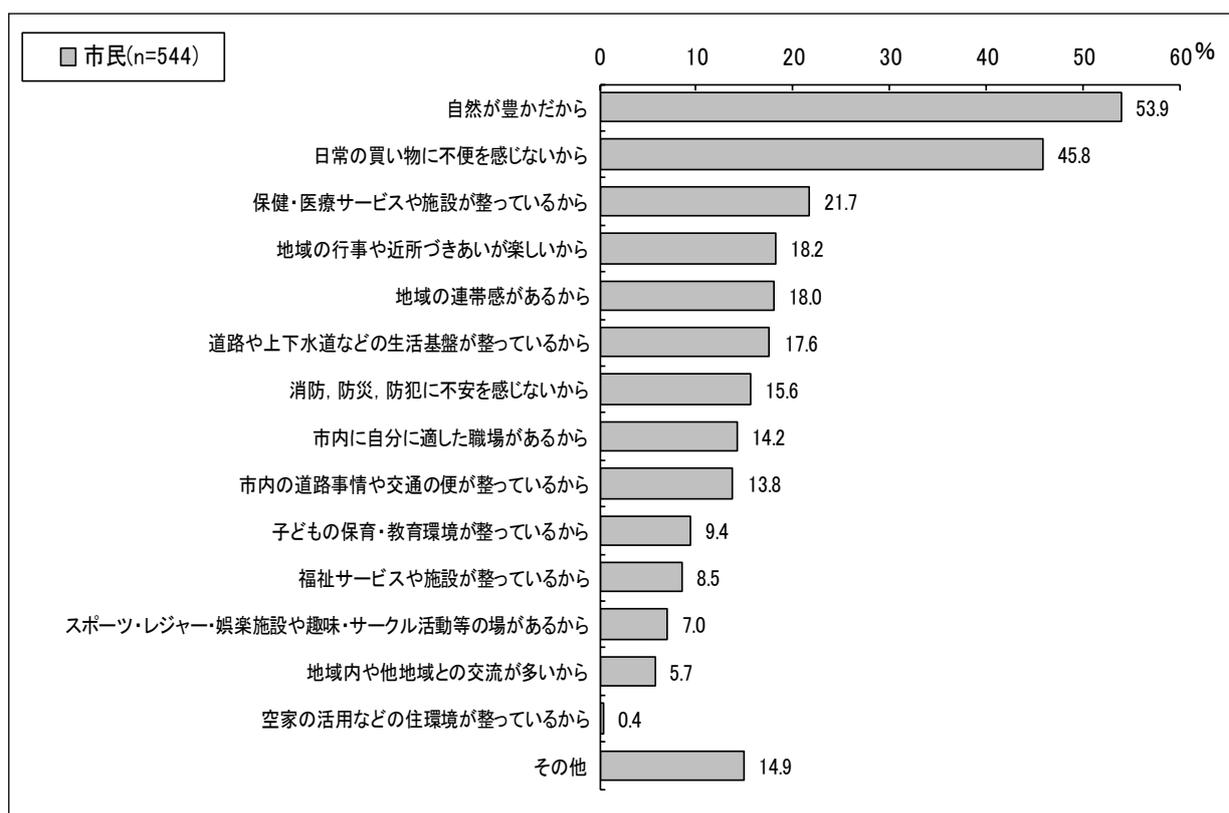
【属性別の傾向】

●若い世代で「近所づきあい」「保育・教育」「職場」の充実という回答が多い

性別にみると、男女とも第1位は「自然が豊かだから」、第2位は「日常の買い物に不便を感じないから」ですが、第3位は男性では「保健・医療サービスや施設が整っているから」、女性では「地域の連帯感があるから」となっています。

年齢別にみると、他の年齢と比べて、10-20代では「地域の行事や近所づきあいが楽しいから」、30代では「子どもの保育・教育環境が整っているから」、40代では「市内に自分に適した職場があるから」、50代では「地域の連帯感があるから」、60代以上では「保健・医療サービスや施設が整っているから」が多くなっています。

図表 29 住み続けたい理由（「どちらかといえば住み続けたい」「住み続けたい」と回答した人のみ・全体/複数回答）



図表 30 住み続けたい理由

(「どちらかといえば住み続けたい」「住み続けたい」と回答した人のみ・全体、年齢別／複数回答)

〈上位3位〉

		第1位	第2位	第3位
全体		自然が豊かだから 53.9%	日常の買い物に不便を感じないから 45.8%	保健・医療サービスや施設が整っているから 21.7%
性別	男性	自然が豊かだから 48.9%	日常の買い物に不便を感じないから 46.3%	保健・医療サービスや施設が整っているから 26.6%
	女性	自然が豊かだから 58.3%	日常の買い物に不便を感じないから 43.7%	地域の連帯感があるから 19.3%
年齢別	10 - 20代	自然が豊かだから 56.9%	日常の買い物に不便を感じないから 35.4%	地域の行事や近所づきあいが楽しいから 16.9%
	30代	自然が豊かだから 48.6%	日常の買い物に不便を感じないから 47.2%	子どもの保育・教育環境が整っているから 26.4%
	40代	日常の買い物に不便を感じないから 51.4%	自然が豊かだから 42.9%	市内に自分に適した職場があるから 25.7%
	50代	自然が豊かだから 62.3%	日常の買い物に不便を感じないから 43.5%	地域の連帯感があるから 20.3%
	60代	自然が豊かだから 54.2%	日常の買い物に不便を感じないから 45.8%	保健・医療サービスや施設が整っているから 25.0%
	70歳以上	自然が豊かだから 56.2%	日常の買い物に不便を感じないから 47.3%	保健・医療サービスや施設が整っているから 35.5%

(4) 住みたくない理由

問6-2 あなたが住みたくないと思う理由は何ですか。(5つまで○印)

【全体の傾向】

●「日常の買い物」、「道路事情や交通」が不便という回答が多い

「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「日常の買い物が不便だから」が48.9%と最も多く、次いで、「市内の道路事情や交通の便が悪いから」(39.7%)、「スポーツ・レジャー・娯楽施設や趣味・サークル活動等の場が不十分だから」(32.8%)の順となっています。

前回調査と比較すると、上位3項目に変動はありませんが、前は第2位であった「日常の買い物が不便だから」が2.3ポイント上昇して第1位となっています。

また、前は5割を超えて第1位だった「市内の道路事情や交通の便が悪いから」は、大幅にポイントが減少して(11.4ポイント減)第2位となっています。

【属性別の傾向】

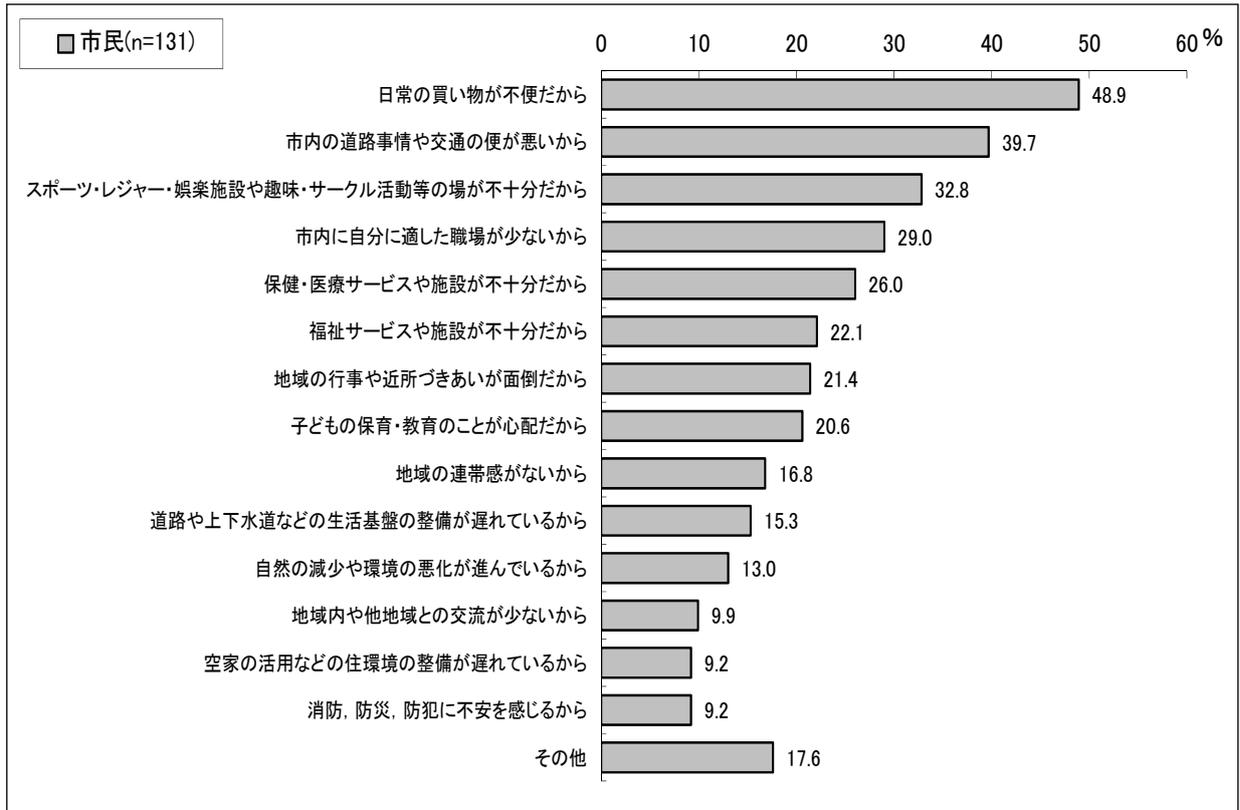
●若い世代は、市内に自分に適した職場が少ないからという回答が多い

性別にみると、男女による回答の差はみられませんでした。

年齢別にみると、他の年齢と比べて、若い世代は、市内に自分に適した職場が少ないからという回答が多くなっています。

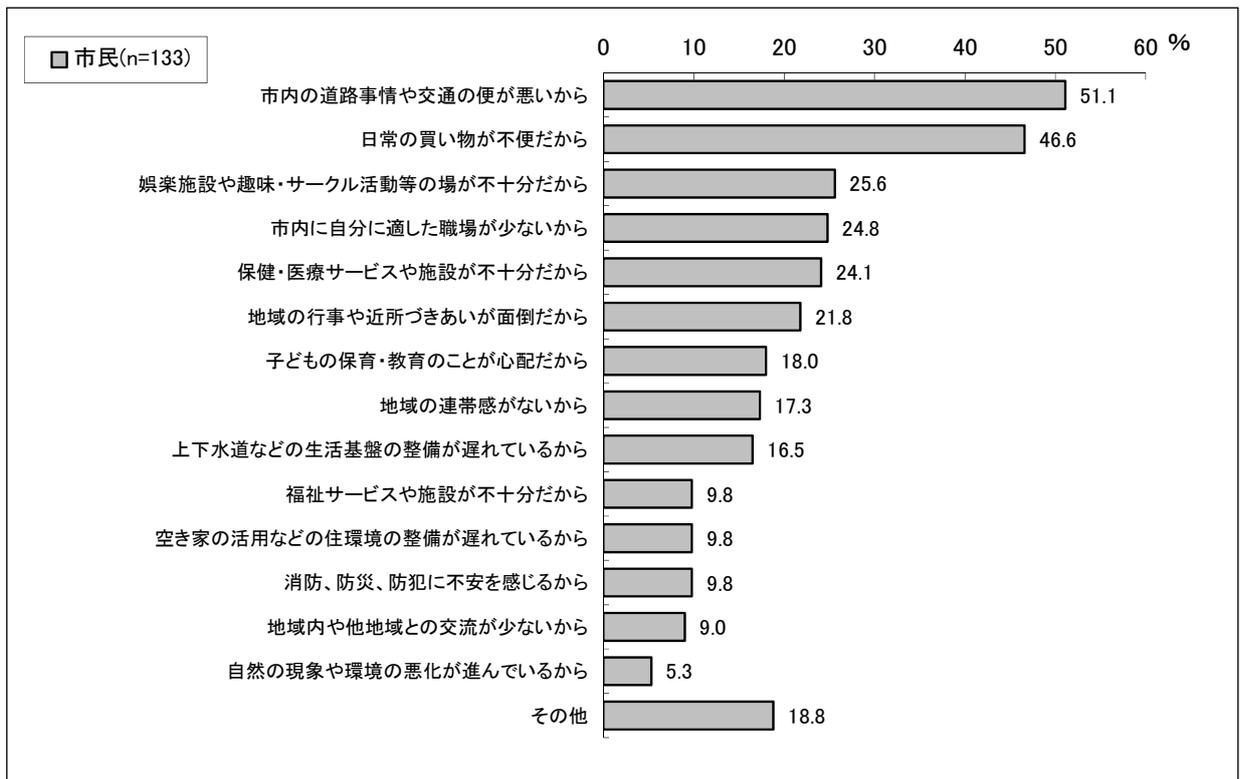
図表 31-① 住みたくない理由

(「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」と回答した人のみ・全体・今回／複数回答)



図表 31-② 住みたくない理由

(「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」と回答した人のみ・全体・前回／複数回答)



図表 32 住みたくない理由

(「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」と回答した人のみ・全体、年齢別／複数回答)

〈上位3位〉

		第1位	第2位	第3位
全体		日常の買い物が不便だから 48.9%	市内の道路事情や交通の便が悪いから 39.7%	スポーツ・レジャー・娯楽施設や趣味・サークル活動等の場が不十分だから 32.8%
性別	男性	日常の買い物が不便だから 38.3%	市内の道路事情や交通の便が悪いから／スポーツ・レジャー・娯楽施設や趣味・サークル活動等の場が不十分だから 33.3%	
	女性	日常の買い物が不便だから 59.4%	市内の道路事情や交通の便が悪いから 46.4%	スポーツ・レジャー・娯楽施設や趣味・サークル活動等の場が不十分だから 33.3%
年齢別	10 - 20代	市内に自分に適した職場が少ないから／スポーツ・レジャー・娯楽施設や趣味・サークル活動等の場が不十分だから 54.8%	日常の買い物が不便だから 51.6%	
	30代	日常の買い物が不便だから／市内に自分に適した職場が少ないから 34.8%	スポーツ・レジャー・娯楽施設や趣味・サークル活動等の場が不十分だから 26.1%	
	40代	市内の道路事情や交通の便が悪いから 44.0%	地域の行事や近所づきあいが面倒だから／スポーツ・レジャー・娯楽施設や趣味・サークル活動等の場が不十分だから 40.0%	
	50代	日常の買い物が不便だから 64.3%	スポーツ・レジャー・娯楽施設や趣味・サークル活動等の場が不十分だから 50.0%	市内の道路事情や交通の便が悪いから／道路や上下水道などの生活基盤の整備が遅れているから 42.9%
	60代	保健・医療サービスや施設が不十分だから 62.5%	日常の買い物が不便だから 50.0%	市内の道路事情や交通の便が悪いから 37.5%
	70歳以上	日常の買い物が不便だから 63.6%	市内の道路事情や交通の便が悪いから／福祉サービスや施設が不十分だから 59.1%	

5 まちの現状評価について

(1) 現在の暮らしの満足度

問7 三次市での現在の暮らしについて、あなたの「満足度」として、項目ごとに、あてはまる番号1つを選んで○印をつけてください。

【全体の傾向】

● “満足している”では「山、川などの自然が豊か」、 “満足していない”では「交通の便」が最も高い

三次市での現在の暮らしを「満足度」として26項目についてたずねたところ、「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”は、「21 美しい山、川、風景があり自然が豊かである」が70.0%と最も多く、次いで、「16 野球場などスポーツ施設が整っている」(50.7%)、「18 米、野菜、果樹など農業が盛んである」(47.5%)の順となっています。

一方、「満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた“満足していない”は、「23 バスやJR、高速道路が整っていて交通の便利がいい」が43.2%と最も多く、次いで、「20 事業所が多く働くところがある」(41.1%)、「19 お店が多く買い物がしやすい」(36.3%)の順となっています。

前回調査と比較すると、“満足している”及び“満足していない”の上位3項目に変動はありませんが、全体に“満足している”が伸びており、26項目のうち、21項目について前回より伸びています。特に「1 安心して子どもを産み育てる環境が整っている」、「4 心も体も健康で暮らすことができる」、「12 美術館やホールなど文化施設が整っている」、「25 三次駅周辺や花火大会など都市のにぎわいがある」が高くなっています。

図表 33-① 現在の暮らしの満足度（全体・今回）

n=690

□ 満足している □ やや満足している ▨ どちらともいえない ■ あまり満足していない ▩ 満足していない ■ 無回答



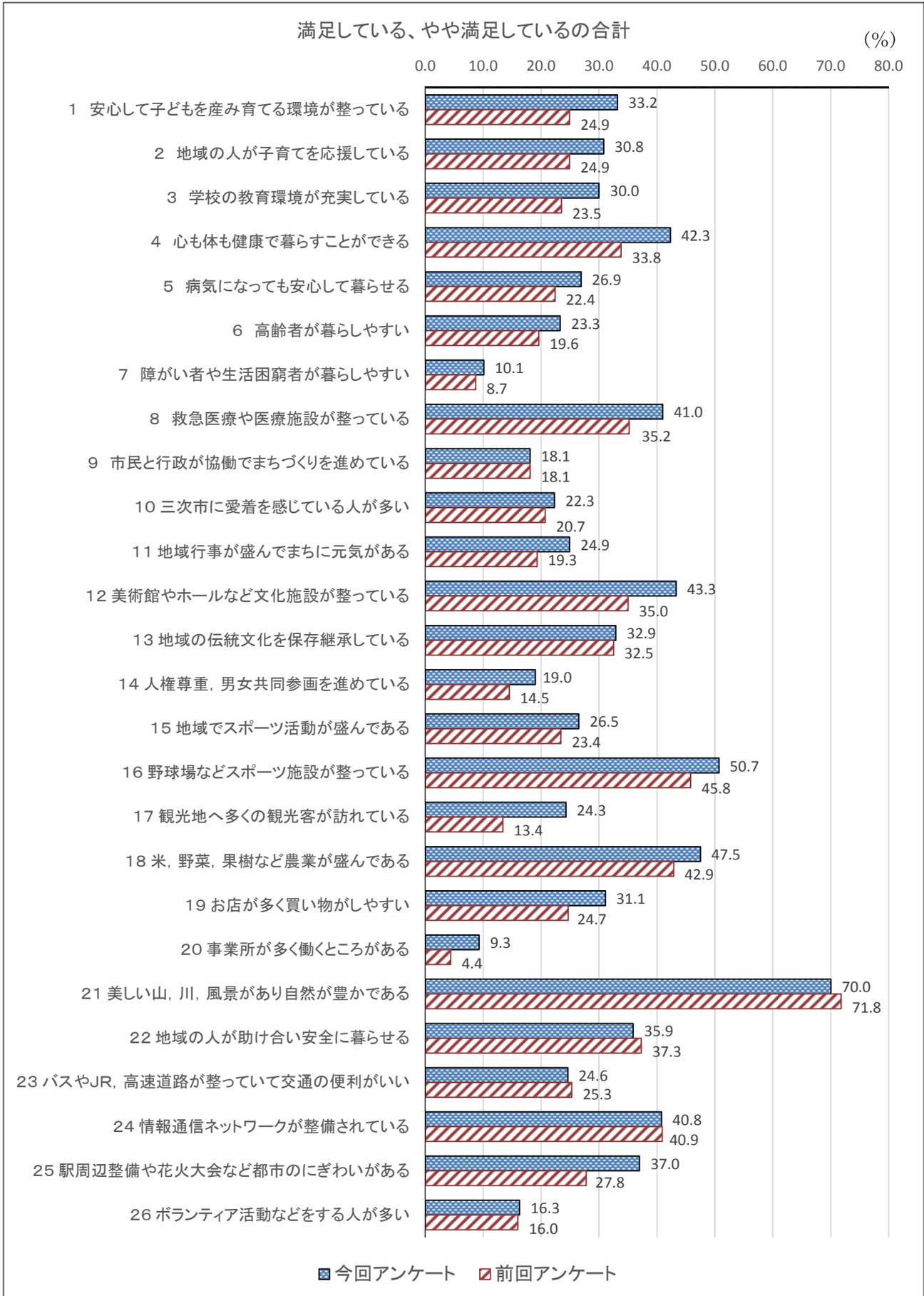
図表 33-② 現在の暮らしの満足度（全体・前回）

n=859

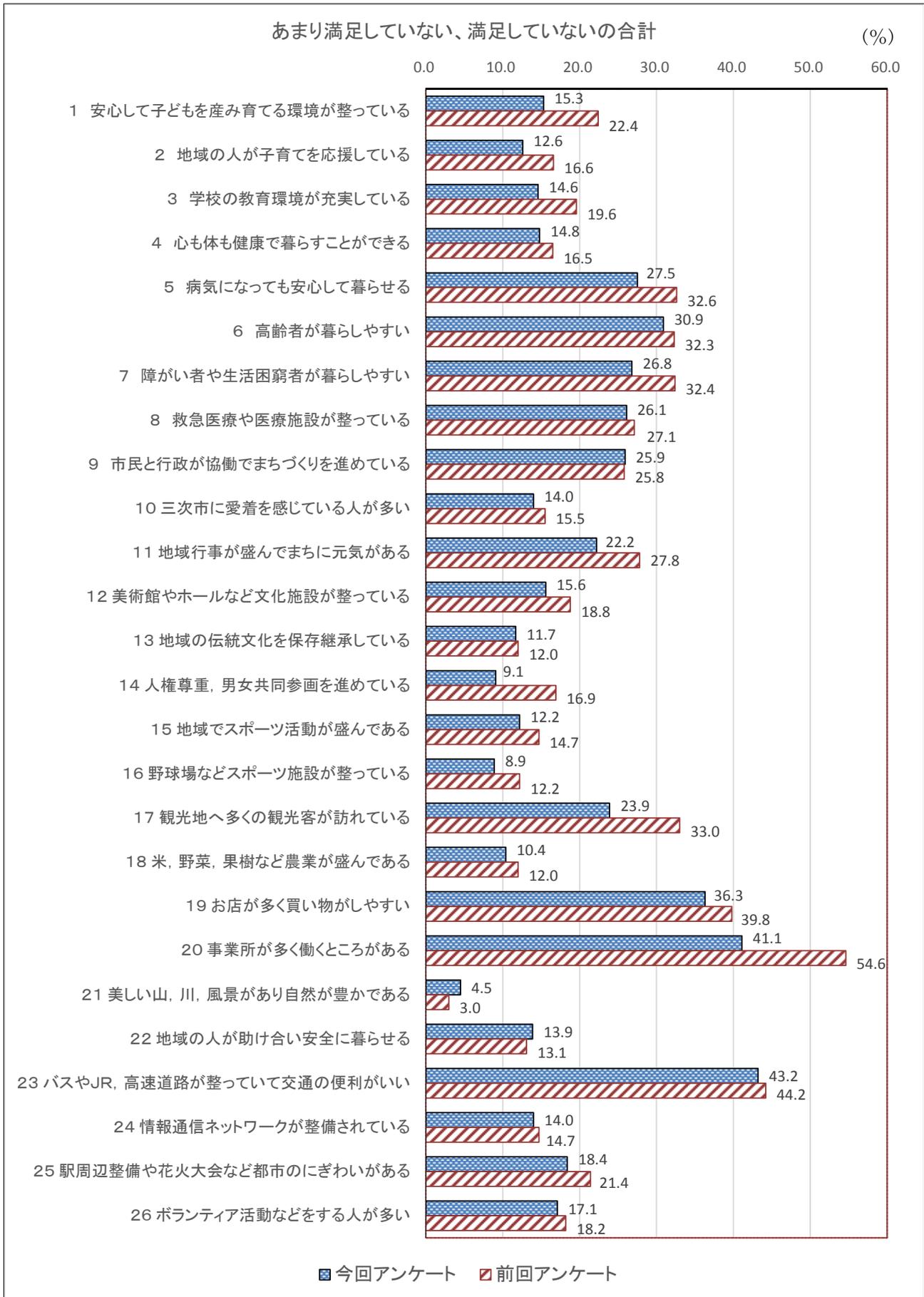
□満足している □やや満足している □どちらともいえない ■あまり満足していない □満足していない ■無回答



図表 33-③ 現在の暮らしの“満足度”（今回・前回比較）



図表 33-④ 現在の暮らしの“不満度”（今回・前回比較）



(2) 今後の暮らしの重要度

問7 三次市での今後の暮らしについて、あなたの「重要度」として、項目ごとに、あてはまる番号1つを選んで○印をつけてください。

【全体の傾向】

● “重要である”では「病気への対応」や「救急医療・医療施設」が高い

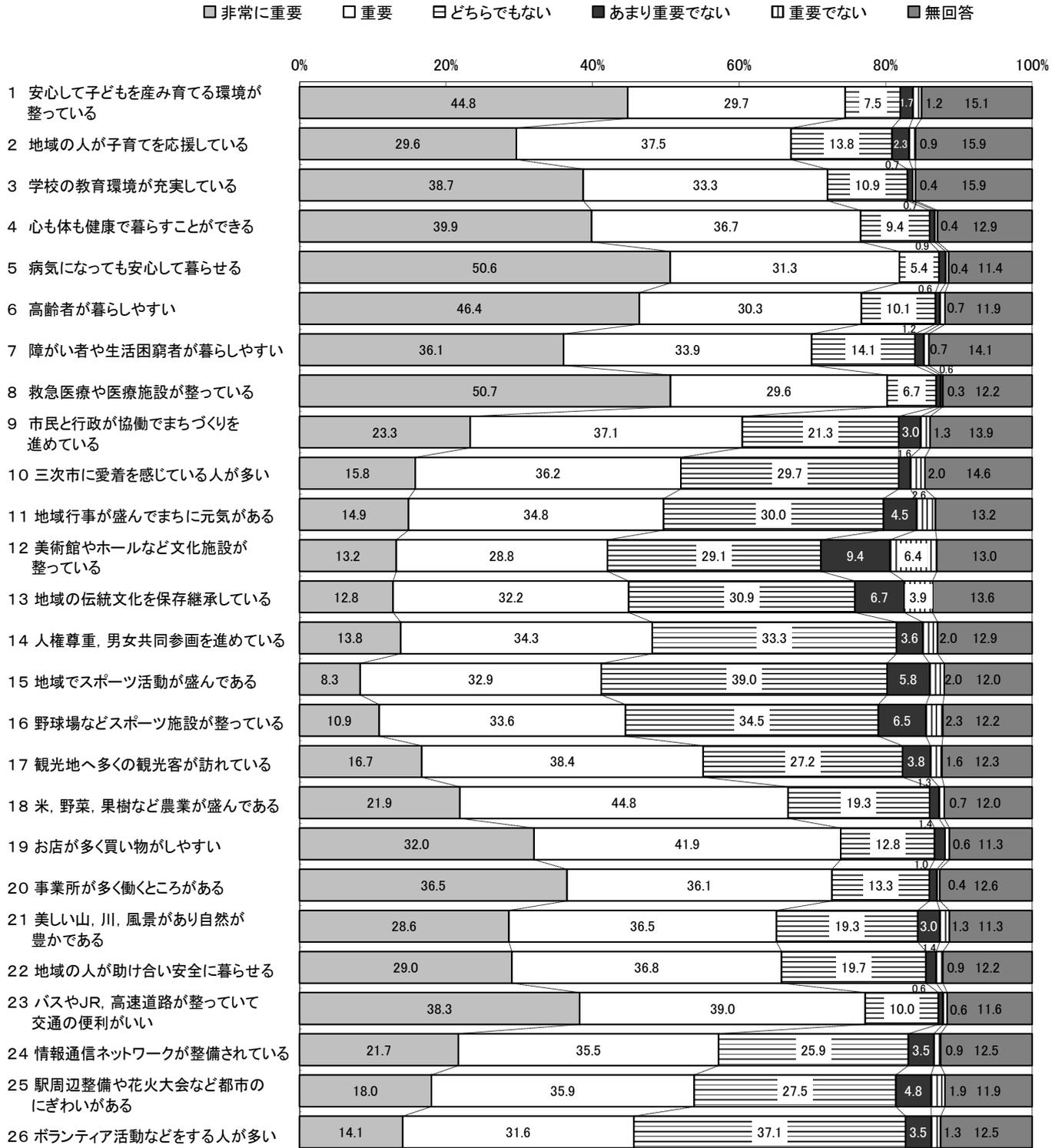
三次市での今後の暮らしを「重要度」として26項目についてたずねたところ、「非常に重要」と「重要」を合わせた“重要である”は、「5 病気になっても安心して暮らせる」が81.9%と最も多く、次いで、「8 救急医療や医療施設が整っている」(80.3%)、「23 バスやJR、高速道路が整っていて交通の便利がいい」(77.3%)の順となっています。

一方、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた“重要でない”は、「12 美術館やホールなど文化施設が整っている」が15.8%と最も多く、次いで、「13 地域の伝統文化を保存継承している」(10.6%)、「16 野球場などスポーツ施設が整っている」(8.8%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「19 お店が多く買い物がしやすい」、「4 心も体も健康で暮らすことができる」の重要度が高まっています。

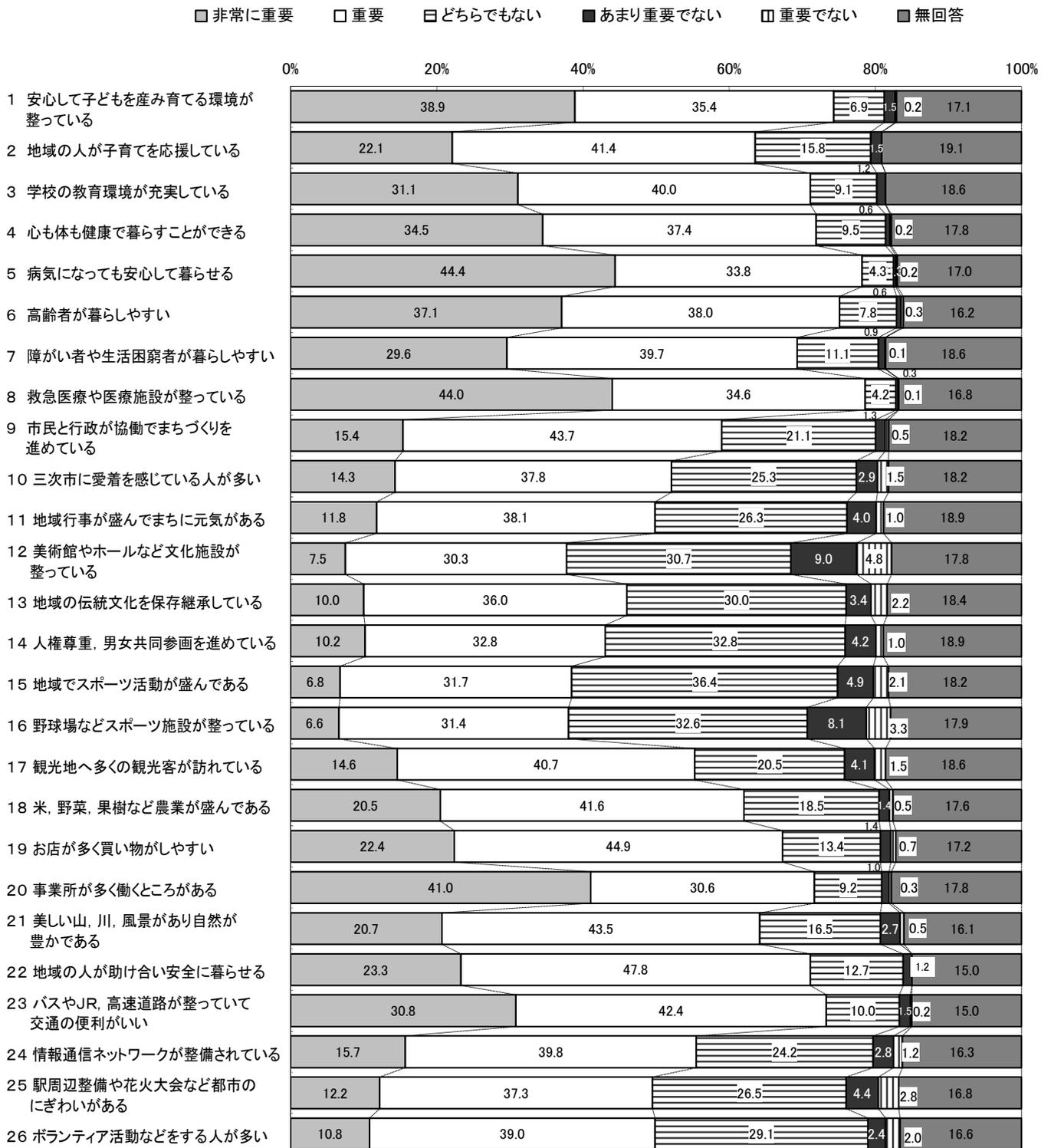
図表 34-① 今後の暮らしの重要度（全体・今回）

n=690



図表 34-② 今後の暮らしの重要度（全体・前回）

n=859



(3) 点数化による分析

※加重平均値の算出方法（重要度も同様）

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答数} \times 10 \text{点} \\ \text{「やや満足している」の回答数} \times 5 \text{点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答数} \times 0 \text{点} \\ \text{「あまり満足していない」の回答数} \times -5 \text{点} \\ \text{「満足していない」の回答数} \times -10 \text{点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」, 「やや満足} \\ \text{している」, 「どちらともいえ} \\ \text{ない」, 「あまり満足していな} \\ \text{い」, 「満足していない」の回} \\ \text{答数の合計} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を堺に、10点に近くなるほど評価は高くなり、逆に-10点に近くなるほど評価が低くなる。

① 満足度と重要度の分布

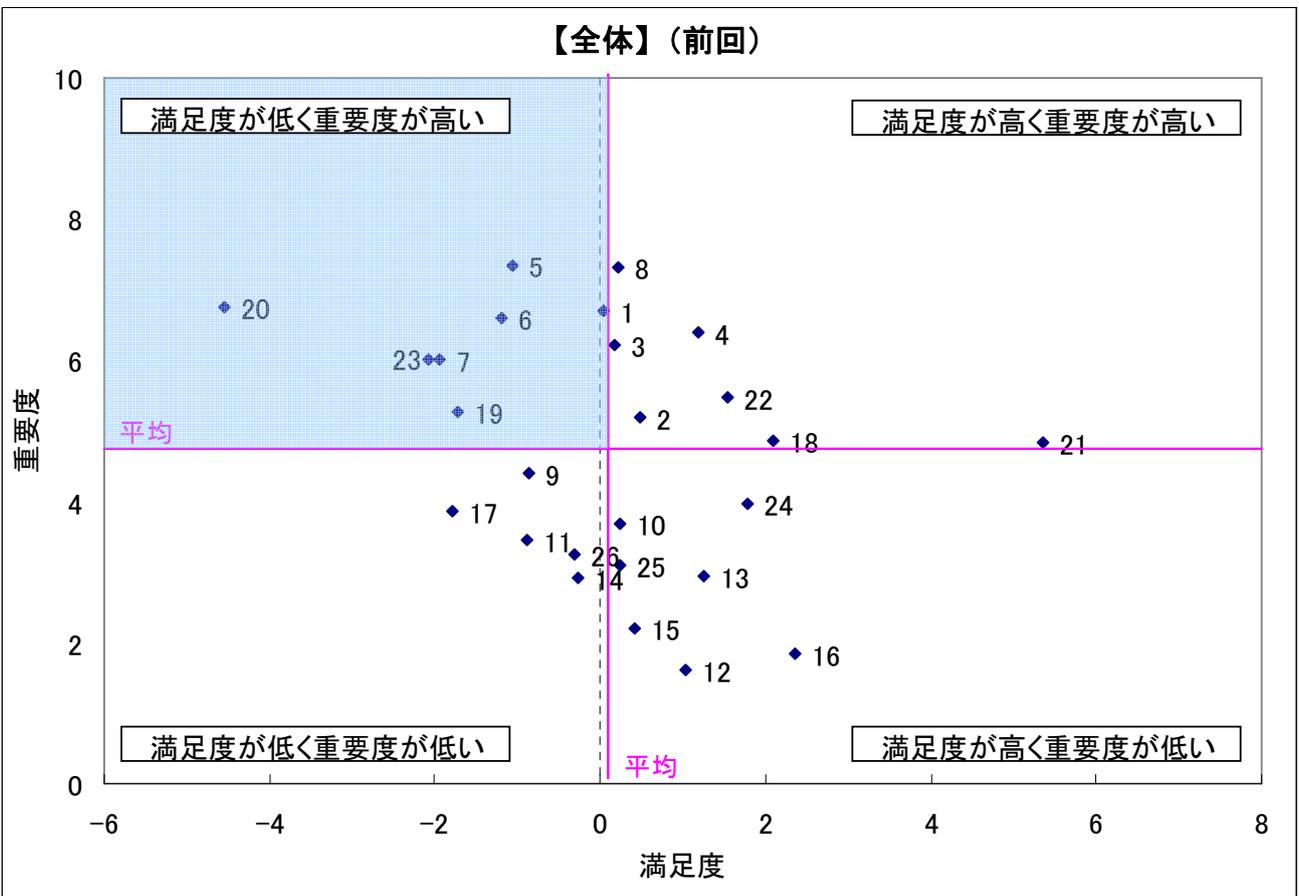
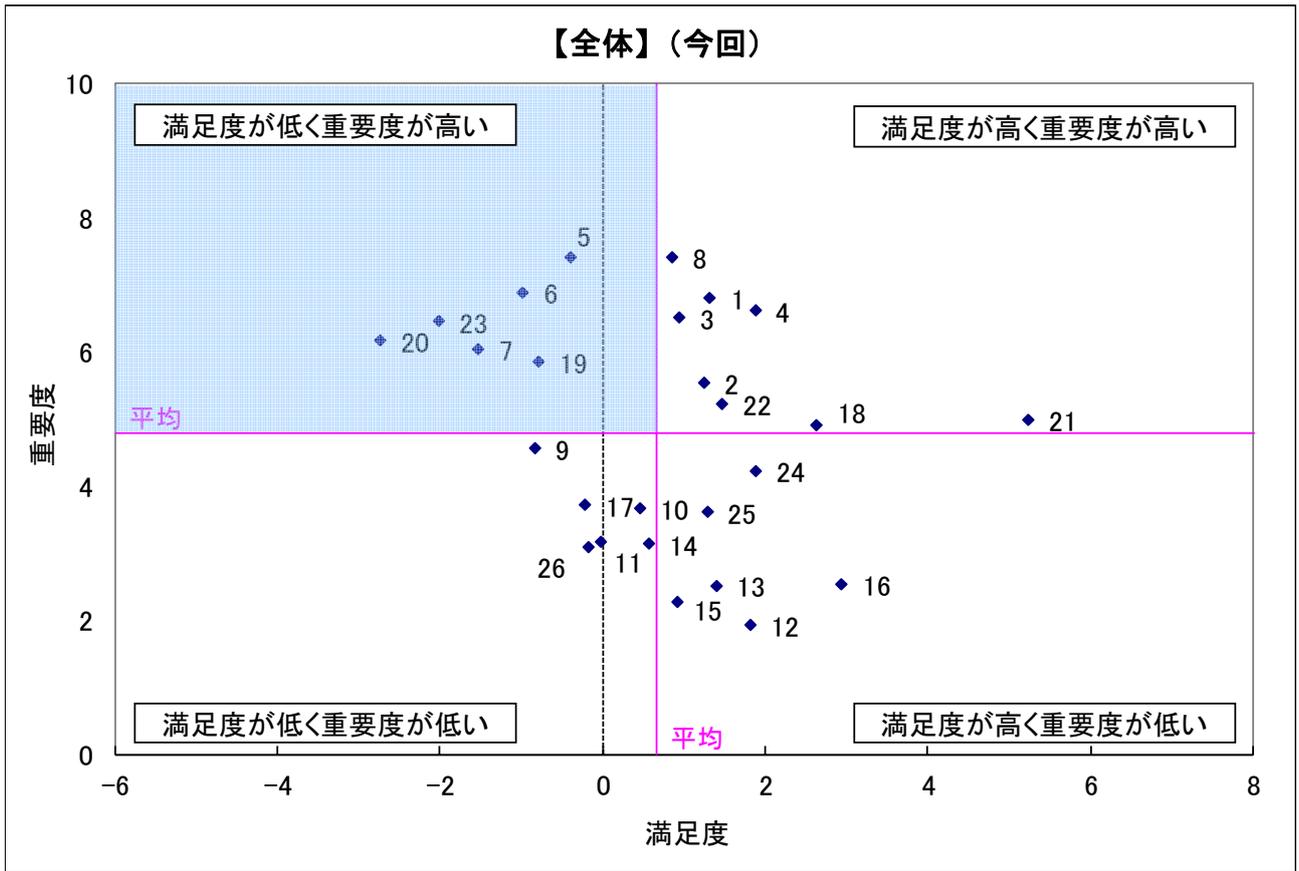
【全体の傾向】

● 『満足度が低く重要度が高い』項目は、「医療」、「福祉」、「買い物」、「就業」、「交通」

満足度と重要度をそれぞれ横軸、縦軸に設定し、分布図を作成しました。また、満足度と重要度それぞれについて26項目の点数の平均点を算出し、グラフ上にラインを引くと4つのエリアに分類されます。ここでは『満足度が低く重要度が高い』項目の左上エリアを中心にみていくこととします。

『満足度が低く重要度が高い』について、全体では、「5 病気になっても安心して暮らせる」、「6 高齢者が暮らしやすい」、「7 障がい者や生活困窮者が暮らしやすい」、「19 お店が多く買い物がしやすい」、「20 事業所が多く働くところがある」、「23 バスやJR、高速道路が整っていて交通の便利がいい」となっています。

前回調査と比較すると、『満足度が低く重要度が高い』に挙げられている項目自体は同じですが、前回挙げられていた「1 安心して子どもを産み育てる環境が整っている」が『満足度が低く重要度が高い項目』ではなくなっており、前回の7つから6つに『満足度が低く重要度が高い項目』が減少しています。



【属性別の傾向】

●満足度、重要度の数値に違いはあるものの、分布の傾向は概ね似通っている

年齢別に『満足度が低く重要度が高い』項目をみていきます。

10～20代は、「3 学校の教育環境が充実している」、「5 病気になっても安心して暮らせる」、「6 高齢者が暮らしやすい」、「7 障がい者や生活困窮者が暮らしやすい」、「8 救急医療や医療施設が整っている」、「19 お店が多く買い物がしやすい」、「20 事業所が多く働くところがある」、「23 バスやJR、高速道路が整っていて交通の便利がいい」となっています。

30代は、「3 学校の教育環境が充実している」、「5 病気になっても安心して暮らせる」、「6 高齢者が暮らしやすい」、「7 障がい者や生活困窮者が暮らしやすい」、「8 救急医療や医療施設が整っている」、「19 お店が多く買い物がしやすい」、「20 事業所が多く働くところがある」、「23 バスやJR、高速道路が整っていて交通の便利がいい」となっています。

40代は、「3 学校の教育環境が充実している」、「5 病気になっても安心して暮らせる」、「6 高齢者が暮らしやすい」、「7 障がい者や生活困窮者が暮らしやすい」、「19 お店が多く買い物がしやすい」、「20 事業所が多く働くところがある」、「23 バスやJR、高速道路が整っていて交通の便利がいい」となっています。

50代は、「5 病気になっても安心して暮らせる」、「6 高齢者が暮らしやすい」、「7 障がい者や生活困窮者が暮らしやすい」、「8 救急医療や医療施設が整っている」、「19 お店が多く買い物がしやすい」、「20 事業所が多く働くところがある」、「23 バスやJR、高速道路が整っていて交通の便利がいい」となっています。

60代は、「5 病気になっても安心して暮らせる」、「6 高齢者が暮らしやすい」、「7 障がい者や生活困窮者が暮らしやすい」、「19 お店が多く買い物がしやすい」、「20 事業所が多く働くところがある」、「23 バスやJR、高速道路が整っていて交通の便利がいい」となっています。

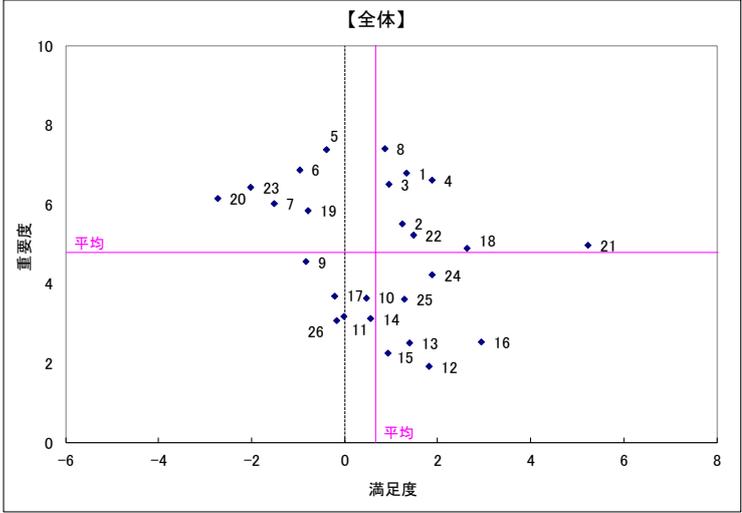
70歳以上は、「5 病気になっても安心して暮らせる」、「6 高齢者が暮らしやすい」、「7 障がい者や生活困窮者が暮らしやすい」、「9 市民と行政が協働でまちづくりを進めている」、「19 お店が多く買い物がしやすい」、「20 事業所が多く働くところがある」、「23 バスやJR、高速道路が整っていて交通の便利がいい」となっています。

また、旧三次市域と支所管内で比較すると、旧三次市域の方が満足度の平均が高くなっています。

図表 35 満足度と重要度の分布（全体，年齢別，居住地別）

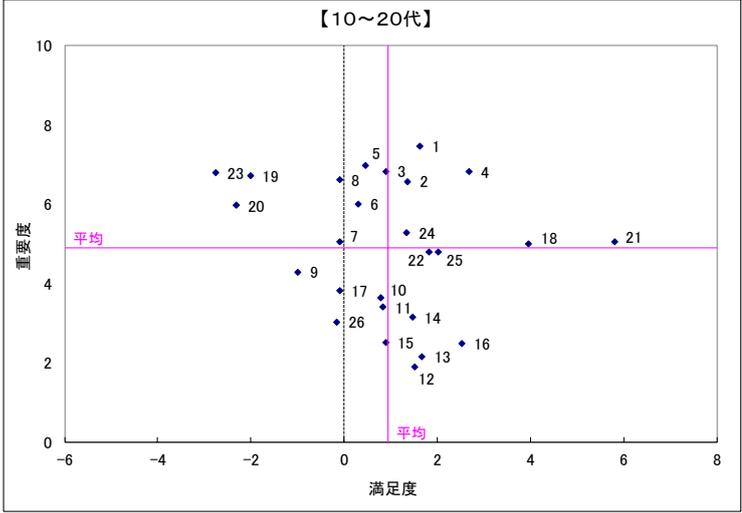
【全体】

No	項目	満足度	重要度
1	安心して子どもを産み育てる環境が整っている	1.33	6.78
2	地域の人子育てを応援している	1.25	5.51
3	学校の教育環境が充実している	0.95	6.49
4	心も体も健康で暮らすことができる	1.88	6.59
5	病気になっても安心して暮らせる	-0.39	7.38
6	高齢者が暮らしやすい	-0.97	6.87
7	障がい者や生活困窮者が暮らしやすい	-1.52	6.02
8	救急医療や医療施設が整っている	0.86	7.39
9	市民と行政が協働でまちづくりを進めている	-0.83	4.54
10	三次市に愛着を感じている人が多い	0.46	3.64
11	地域行事が盛んでまちに元気がある	-0.02	3.16
12	美術館やホールなど文化施設が整っている	1.82	1.90
13	地域の伝統文化を保存継承している	1.40	2.50
14	人権尊重、男女共同参画を進めている	0.57	3.11
15	地域でスポーツ活動が盛んである	0.93	2.25
16	野球場などスポーツ施設が整っている	2.95	2.52
17	観光地へ多くの観光客が訪れている	-0.21	3.69
18	米、野菜、果樹など農業が盛んである	2.64	4.88
19	お店が多く買い物しやすい	-0.78	5.83
20	事業所が多く働くところがある	-2.73	6.14
21	美しい山、川、風景があり自然が豊かである	5.24	4.96
22	地域の人助け合い安全に暮らせる	1.48	5.21
23	バスやJR、高速道路が整っていて交通便利	-2.01	6.43
24	情報通信ネットワークが整備されている	1.89	4.21
25	駅周辺整備や花火大会など都市の賑わいがある	1.29	3.59
26	ボランティア活動などをとする人が多い	-0.17	3.06
	平均	0.67	4.79



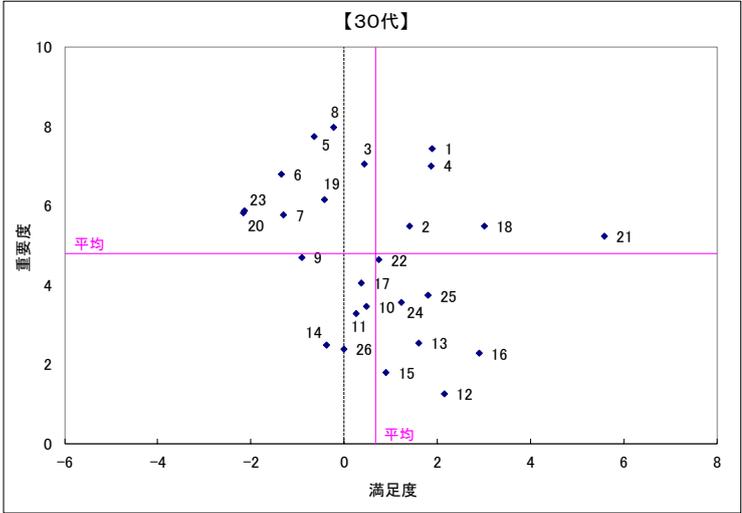
【10～20代】

No	項目	満足度	重要度
1	安心して子どもを産み育てる環境が整っている	1.63	7.45
2	地域の人子育てを応援している	1.37	6.56
3	学校の教育環境が充実している	0.89	6.82
4	心も体も健康で暮らすことができる	2.68	6.80
5	病気になっても安心して暮らせる	0.46	6.96
6	高齢者が暮らしやすい	0.31	5.98
7	障がい者や生活困窮者が暮らしやすい	-0.10	5.05
8	救急医療や医療施設が整っている	-0.10	6.60
9	市民と行政が協働でまちづくりを進めている	-0.99	4.27
10	三次市に愛着を感じている人が多い	0.79	3.62
11	地域行事が盛んでまちに元気がある	0.84	3.39
12	美術館やホールなど文化施設が整っている	1.51	1.88
13	地域の伝統文化を保存継承している	1.68	2.14
14	人権尊重、男女共同参画を進めている	1.47	3.13
15	地域でスポーツ活動が盛んである	0.89	2.50
16	野球場などスポーツ施設が整っている	2.53	2.47
17	観光地へ多くの観光客が訪れている	-0.10	3.80
18	米、野菜、果樹など農業が盛んである	3.97	5.00
19	お店が多く買い物しやすい	-2.01	6.70
20	事業所が多く働くところがある	-2.32	5.95
21	美しい山、川、風景があり自然が豊かである	5.82	5.05
22	地域の人助け合い安全に暮らせる	1.82	4.79
23	バスやJR、高速道路が整っていて交通便利	-2.76	6.77
24	情報通信ネットワークが整備されている	1.35	5.26
25	駅周辺整備や花火大会など都市の賑わいがある	2.03	4.79
26	ボランティア活動などをとする人が多い	-0.16	3.02
	平均	0.90	4.88



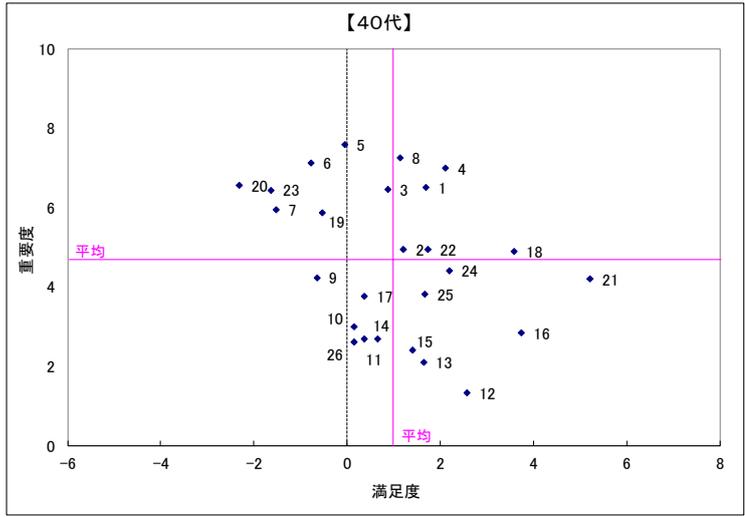
【30代】

No	項目	満足度	重要度
1	安心して子どもを産み育てる環境が整っている	1.90	7.42
2	地域の人子育てを応援している	1.41	5.48
3	学校の教育環境が充実している	0.43	7.04
4	心も体も健康で暮らすことができる	1.88	6.99
5	病気になっても安心して暮らせる	-0.65	7.74
6	高齢者が暮らしやすい	-1.34	6.77
7	障がい者や生活困窮者が暮らしやすい	-1.29	5.75
8	救急医療や医療施設が整っている	-0.22	7.96
9	市民と行政が協働でまちづくりを進めている	-0.91	4.68
10	三次市に愛着を感じている人が多い	0.48	3.44
11	地域行事が盛んでまちに元気がある	0.27	3.28
12	美術館やホールなど文化施設が整っている	2.15	1.24
13	地域の伝統文化を保存継承している	1.61	2.53
14	人権尊重、男女共同参画を進めている	-0.38	2.47
15	地域でスポーツ活動が盛んである	0.91	1.77
16	野球場などスポーツ施設が整っている	2.90	2.26
17	観光地へ多くの観光客が訪れている	0.38	4.03
18	米、野菜、果樹など農業が盛んである	3.01	5.48
19	お店が多く買い物しやすい	-0.43	6.13
20	事業所が多く働くところがある	-2.15	5.81
21	美しい山、川、風景があり自然が豊かである	5.59	5.22
22	地域の人助け合い安全に暮らせる	0.75	4.62
23	バスやJR、高速道路が整っていて交通便利	-2.13	5.85
24	情報通信ネットワークが整備されている	1.24	3.55
25	駅周辺整備や花火大会など都市の賑わいがある	1.81	3.72
26	ボランティア活動などをとする人が多い	0.00	2.37
	平均	0.66	4.75



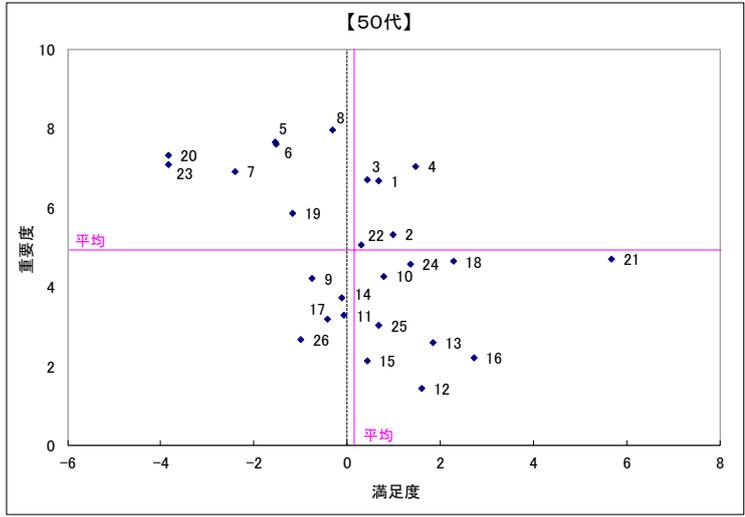
【40代】

No	項目	満足度	重要度
1	安心して子どもを産み育てる環境が整っている	1.70	6.50
2	地域の人の子育てを応援している	1.22	4.94
3	学校の教育環境が充実している	0.88	6.44
4	心も体も健康で暮らすことができる	2.12	6.98
5	病気になっても安心して暮らせる	-0.05	7.58
6	高齢者が暮らしやすい	-0.77	7.11
7	障がい者や生活困窮者が暮らしやすい	-1.52	5.93
8	救急医療や医療施設が整っている	1.14	7.25
9	市民と行政が協働でまちづくりを進めている	-0.65	4.23
10	三次市に愛着を感じている人が多い	0.16	3.00
11	地域行事が盛んでまちに元気がある	0.38	2.69
12	美術館やホールなど文化施設が整っている	2.58	1.32
13	地域の伝統文化を保存継承している	1.65	2.09
14	人権尊重、男女共同参画を進めている	0.65	2.67
15	地域でスポーツ活動が盛んである	1.41	2.39
16	野球場などスポーツ施設が整っている	3.75	2.83
17	観光地へ多くの観光客が訪れている	0.38	3.75
18	米、野菜、果樹など農業が盛んである	3.59	4.89
19	お店が多く買い物しやすい	-0.54	5.87
20	事業所が多く働くところがある	-2.31	6.54
21	美しい山、川、風景があり自然が豊かである	5.22	4.18
22	地域の人助け合い安全に暮らせる	1.74	4.94
23	バスやJR、高速道路が整っていて交通便利	-1.63	6.43
24	情報通信ネットワークが整備されている	2.20	4.40
25	駅周辺整備や花火大会など都市の賑わいがある	1.68	3.80
26	ボランティア活動などをとする人が多い	0.16	2.61
	平均	0.97	4.67



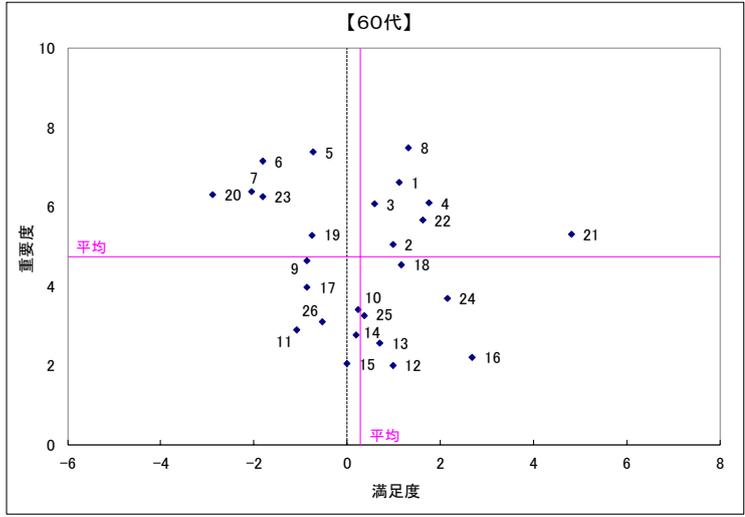
【50代】

No	項目	満足度	重要度
1	安心して子どもを産み育てる環境が整っている	0.68	6.67
2	地域の人の子育てを応援している	0.99	5.32
3	学校の教育環境が充実している	0.43	6.69
4	心も体も健康で暮らすことができる	1.48	7.04
5	病気になっても安心して暮らせる	-1.54	7.65
6	高齢者が暮らしやすい	-1.52	7.59
7	障がい者や生活困窮者が暮らしやすい	-2.41	6.91
8	救急医療や医療施設が整っている	-0.31	7.96
9	市民と行政が協働でまちづくりを進めている	-0.74	4.20
10	三次市に愛着を感じている人が多い	0.80	4.26
11	地域行事が盛んでまちに元気がある	-0.06	3.27
12	美術館やホールなど文化施設が整っている	1.60	1.42
13	地域の伝統文化を保存継承している	1.85	2.59
14	人権尊重、男女共同参画を進めている	-0.12	3.72
15	地域でスポーツ活動が盛んである	0.43	2.13
16	野球場などスポーツ施設が整っている	2.72	2.20
17	観光地へ多くの観光客が訪れている	-0.43	3.17
18	米、野菜、果樹など農業が盛んである	2.28	4.63
19	お店が多く買い物しやすい	-1.17	5.85
20	事業所が多く働くところがある	-3.83	7.32
21	美しい山、川、風景があり自然が豊かである	5.68	4.70
22	地域の人助け合い安全に暮らせる	0.31	5.06
23	バスやJR、高速道路が整っていて交通便利	-3.83	7.07
24	情報通信ネットワークが整備されている	1.36	4.57
25	駅周辺整備や花火大会など都市の賑わいがある	0.69	3.02
26	ボランティア活動などをとする人が多い	-0.99	2.65
	平均	0.17	4.91



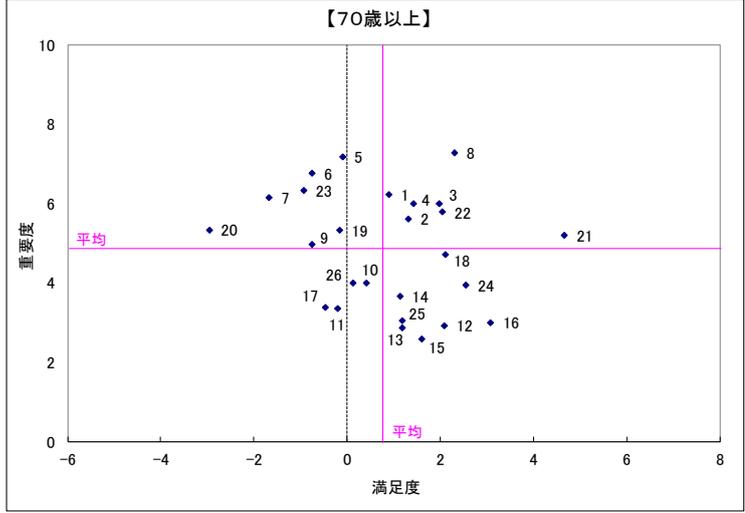
【60代】

No	項目	満足度	重要度
1	安心して子どもを産み育てる環境が整っている	1.12	6.59
2	地域の人の子育てを応援している	0.98	5.05
3	学校の教育環境が充実している	0.59	6.06
4	心も体も健康で暮らすことができる	1.76	6.08
5	病気になっても安心して暮らせる	-0.73	7.36
6	高齢者が暮らしやすい	-1.81	7.13
7	障がい者や生活困窮者が暮らしやすい	-2.05	6.36
8	救急医療や医療施設が整っている	1.32	7.48
9	市民と行政が協働でまちづくりを進めている	-0.85	4.62
10	三次市に愛着を感じている人が多い	0.24	3.41
11	地域行事が盛んでまちに元気がある	-1.08	2.88
12	美術館やホールなど文化施設が整っている	0.98	2.00
13	地域の伝統文化を保存継承している	0.71	2.55
14	人権尊重、男女共同参画を進めている	0.19	2.76
15	地域でスポーツ活動が盛んである	0.00	2.03
16	野球場などスポーツ施設が整っている	2.69	2.19
17	観光地へ多くの観光客が訪れている	-0.85	3.95
18	米、野菜、果樹など農業が盛んである	1.17	4.53
19	お店が多く買い物しやすい	-0.75	5.28
20	事業所が多く働くところがある	-2.88	6.29
21	美しい山、川、風景があり自然が豊かである	4.81	5.29
22	地域の人助け合い安全に暮らせる	1.62	5.65
23	バスやJR、高速道路が整っていて交通便利	-1.81	6.25
24	情報通信ネットワークが整備されている	2.15	3.68
25	駅周辺整備や花火大会など都市の賑わいがある	0.37	3.25
26	ボランティア活動などをとする人が多い	-0.52	3.10
	平均	0.28	4.69



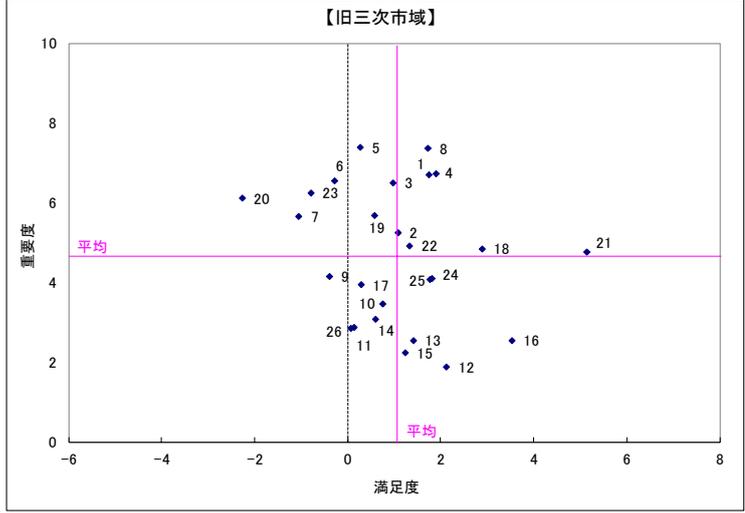
【70歳以上】

No	項目	満足度	重要度
1	安心して子どもを産み育てる環境が整っている	0.90	6.21
2	地域の人の子育てを応援している	1.32	5.60
3	学校の教育環境が充実している	1.99	6.00
4	心も体も健康で暮らすことができる	1.43	5.99
5	病気になっても安心して暮らせる	-0.10	7.16
6	高齢者が暮らしやすい	-0.75	6.75
7	障がい者や生活困窮者が暮らしやすい	-1.67	6.15
8	救急医療や医療施設が整っている	2.31	7.26
9	市民と行政が協働でまちづくりを進めている	-0.75	4.96
10	三次市に愛着を感じている人が多い	0.41	4.00
11	地域行事が盛んでまちに元気があ	-0.21	3.35
12	美術館やホールなど文化施設が整っている	2.09	2.92
13	地域の伝統文化を保存継承している	1.19	2.87
14	人権尊重、男女共同参画を進めている	1.14	3.65
15	地域でスポーツ活動が盛んである	1.61	2.57
16	野球場などスポーツ施設が整っている	3.09	3.00
17	観光地へ多くの観光客が訪れている	-0.46	3.37
18	米、野菜、果樹など農業が盛んである	2.12	4.70
19	お店が多く買い物しやすい	-0.16	5.32
20	事業所が多く働くところがある	-2.96	5.33
21	美しい山、川、風景があり自然が豊かである	4.67	5.18
22	地域の人助け合い安全に暮らせる	2.05	5.77
23	バスやJR、高速道路が整っていて交通便利	-0.93	6.31
24	情報通信ネットワークが整備されている	2.55	3.93
25	駅周辺整備や花火大会など都市の賑わいがある	1.19	3.03
26	ボランティア活動などをとする人が多い	0.14	4.00
	平均	0.85	4.82



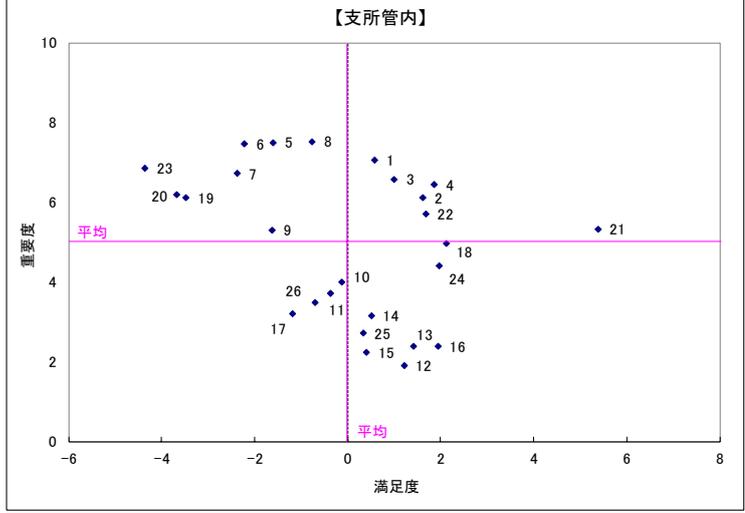
【旧三次市域】

No	項目	満足度	重要度
1	安心して子どもを産み育てる環境が整っている	1.74	6.70
2	地域の人の子育てを応援している	1.08	5.24
3	学校の教育環境が充実している	0.98	6.50
4	心も体も健康で暮らすことができる	1.90	6.72
5	病気になっても安心して暮らせる	0.27	7.38
6	高齢者が暮らしやすい	-0.27	6.55
7	障がい者や生活困窮者が暮らしやすい	-1.04	5.66
8	救急医療や医療施設が整っている	1.73	7.36
9	市民と行政が協働でまちづくりを進めている	-0.39	4.14
10	三次市に愛着を感じている人が多い	0.76	3.46
11	地域行事が盛んでまちに元気があ	0.14	2.87
12	美術館やホールなど文化施設が整っている	2.13	1.88
13	地域の伝統文化を保存継承している	1.41	2.55
14	人権尊重、男女共同参画を進めている	0.61	3.07
15	地域でスポーツ活動が盛んである	1.24	2.23
16	野球場などスポーツ施設が整っている	3.53	2.55
17	観光地へ多くの観光客が訪れている	0.29	3.93
18	米、野菜、果樹など農業が盛んである	2.89	4.84
19	お店が多く買い物しやすい	0.59	5.67
20	事業所が多く働くところがある	-2.27	6.11
21	美しい山、川、風景があり自然が豊かである	5.15	4.75
22	地域の人助け合い安全に暮らせる	1.34	4.92
23	バスやJR、高速道路が整っていて交通便利	-0.79	6.25
24	情報通信ネットワークが整備されている	1.82	4.09
25	駅周辺整備や花火大会など都市の賑わいがある	1.78	4.08
26	ボランティア活動などをとする人が多い	0.08	2.84
	平均	1.03	4.71



【支所管内】

No	項目	満足度	重要度
1	安心して子どもを産み育てる環境が整っている	0.58	7.06
2	地域の人の子育てを応援している	1.62	6.11
3	学校の教育環境が充実している	1.01	6.57
4	心も体も健康で暮らすことができる	1.86	6.43
5	病気になっても安心して暮らせる	-1.60	7.50
6	高齢者が暮らしやすい	-2.21	7.45
7	障がい者や生活困窮者が暮らしやすい	-2.38	6.71
8	救急医療や医療施設が整っている	-0.76	7.52
9	市民と行政が協働でまちづくりを進めている	-1.63	5.30
10	三次市に愛着を感じている人が多い	-0.12	3.98
11	地域行事が盛んでまちに元気があ	-0.36	3.70
12	美術館やホールなど文化施設が整っている	1.21	1.91
13	地域の伝統文化を保存継承している	1.41	2.38
14	人権尊重、男女共同参画を進めている	0.51	3.15
15	地域でスポーツ活動が盛んである	0.41	2.22
16	野球場などスポーツ施設が整っている	1.94	2.38
17	観光地へ多くの観光客が訪れている	-1.18	3.20
18	米、野菜、果樹など農業が盛んである	2.12	4.95
19	お店が多く買い物しやすい	-3.47	6.11
20	事業所が多く働くところがある	-3.67	6.18
21	美しい山、川、風景があり自然が豊かである	5.38	5.33
22	地域の人助け合い安全に暮らせる	1.68	5.70
23	バスやJR、高速道路が整っていて交通便利	-4.35	6.85
24	情報通信ネットワークが整備されている	1.96	4.39
25	駅周辺整備や花火大会など都市の賑わいがある	0.33	2.71
26	ボランティア活動などをとする人が多い	-0.70	3.47
	平均	-0.02	4.97



② 居住意向別の分析

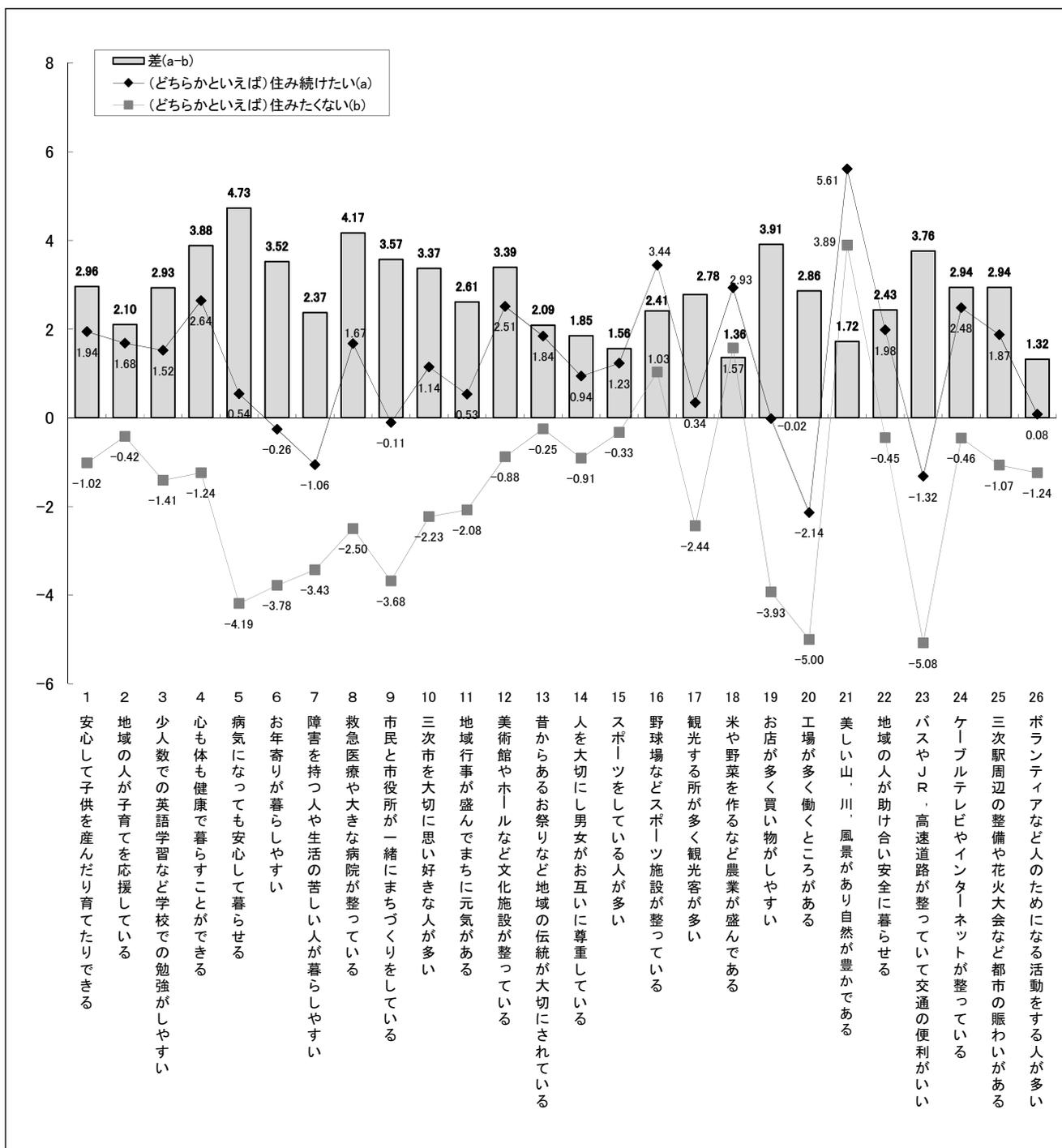
【属性別の傾向】

● 住みたくない層は「買い物」、「働く場」、「交通の便」をより重視

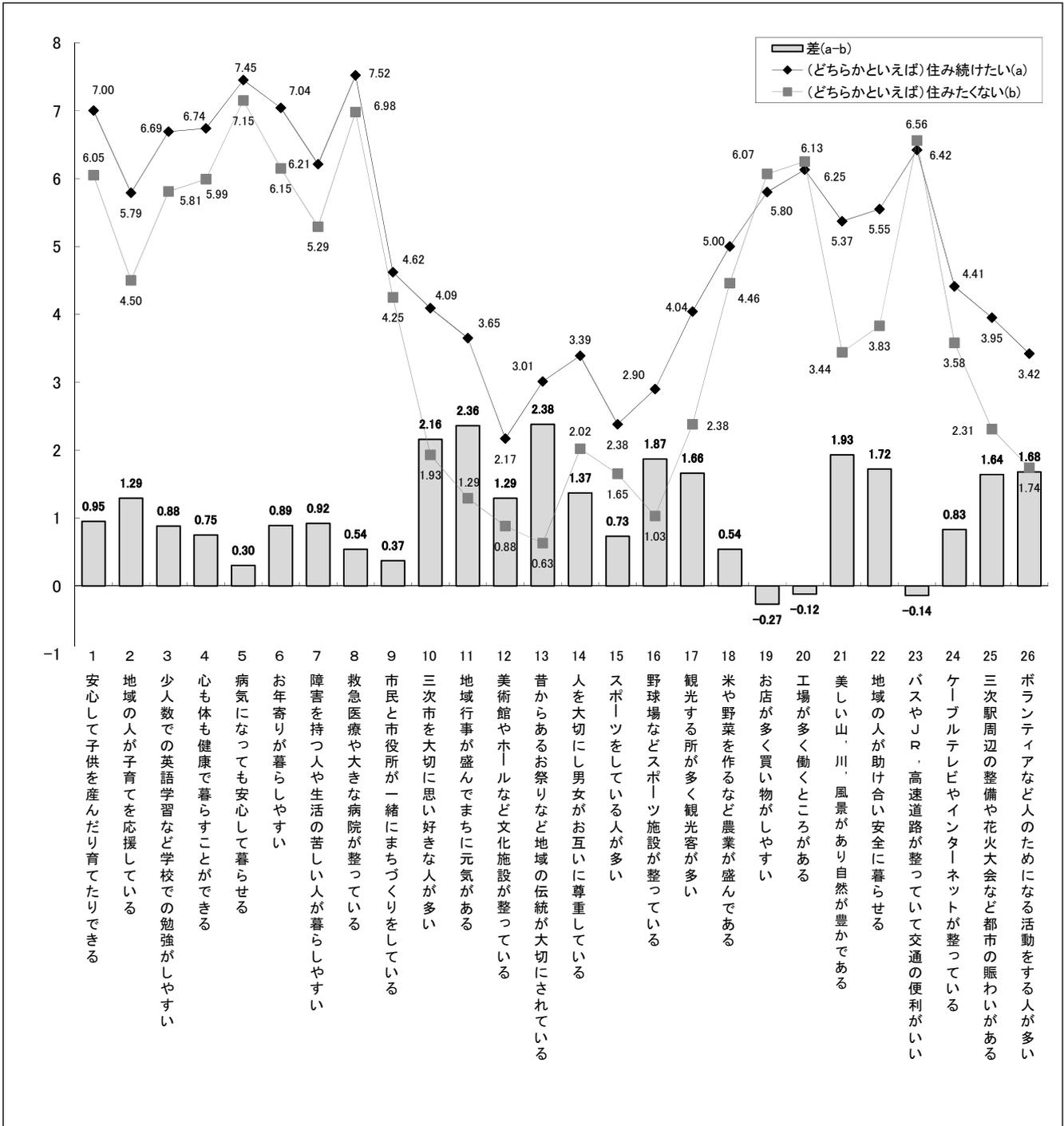
満足度でみると、全ての項目で住み続けたい層の点数が高くなっています。また、その点数差については、「5 病気になっても安心して暮らせる」が4.73点と最も差があり、次いで、「8 救急医療や医療施設が整っている」(4.17点差)、「19 お店が多く買い物がしやすい」(3.19点差)の順となっています。

重要度でみると、「19 お店が多く買い物がしやすい」、「20 事業所が多く働くところがある」、「23 バスやJR、高速道路が整っていて交通の便利がいい」で住みたくない層の点数が高くなっています。

図表 36 現在の暮らしの満足度／点数化（居住意向別）



図表 37 今後の暮らしの重要度／点数化（居留意向別）



(4) 今後のまちづくりの方向性

問8 三次市の将来像について、今後どのようなまちづくりをめざしていきべきだと思いますか。(5つ以内に○印)

【全体の傾向】

●「だれもが住みやすいまち」、「犯罪がなく、災害に強い安全なまち」、「健康で安心して暮らせるまち」への関心が高い

今後のまちづくりのめざすべき方向性についてたずねたところ、「高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち」が61.9%と最も多く、次いで、「犯罪がなく、災害に強い安全なまち」(52.6%)、「健康で安心して暮らし続けられるまち」(47.7%)の順となっています。

前回調査と比較すると、上位の項目に概ね変動はありませんが、前は第4位であった「犯罪がなく、災害に強い安全なまち」が今回は第2位となっています。

【属性別の傾向】

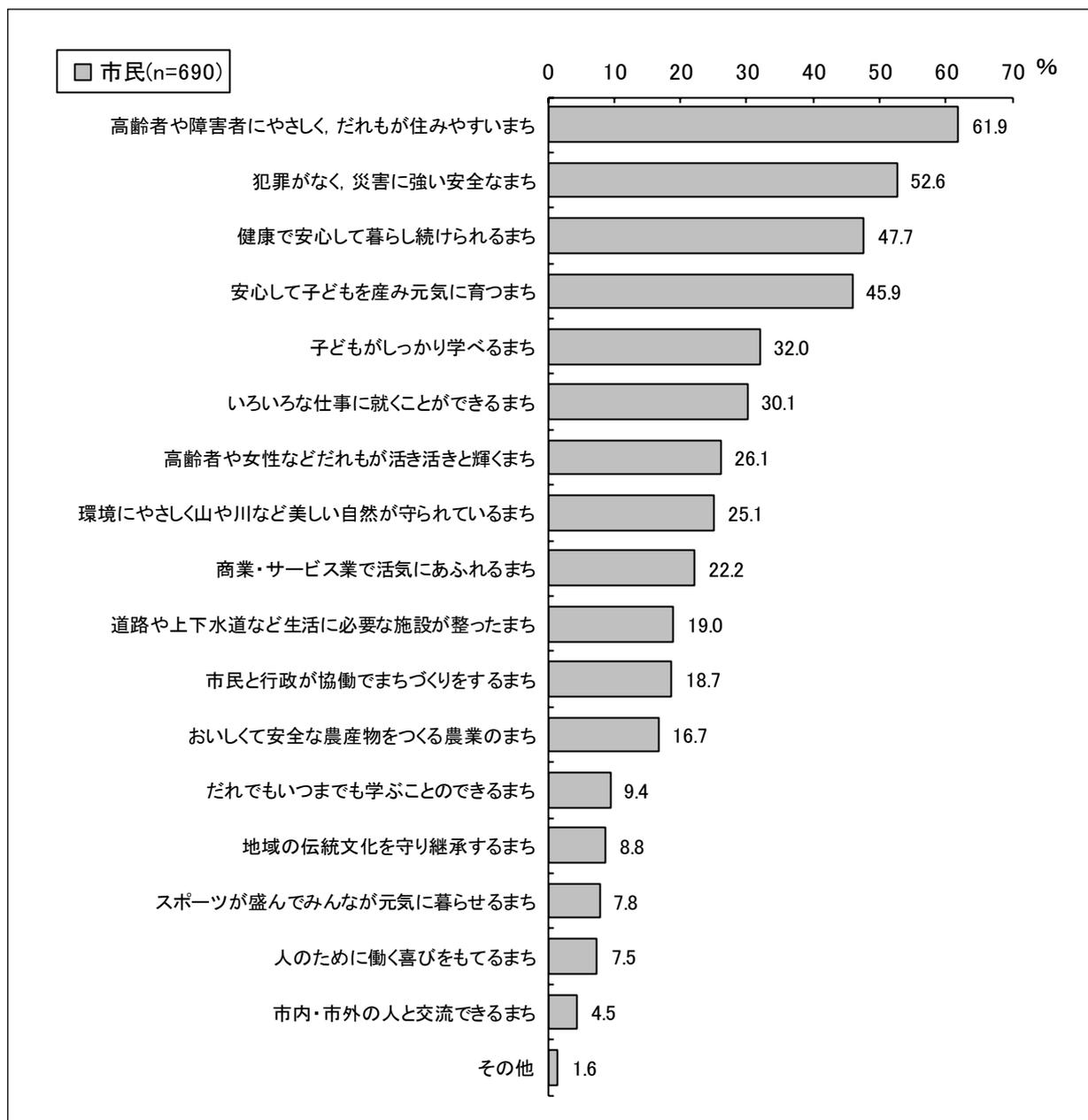
●10～30代では「安心して子どもを産み元気に育つまち」が第1位

性別にみると、全体の傾向と同じ回答が上位を占め、男女による回答の差はみられませんでした。

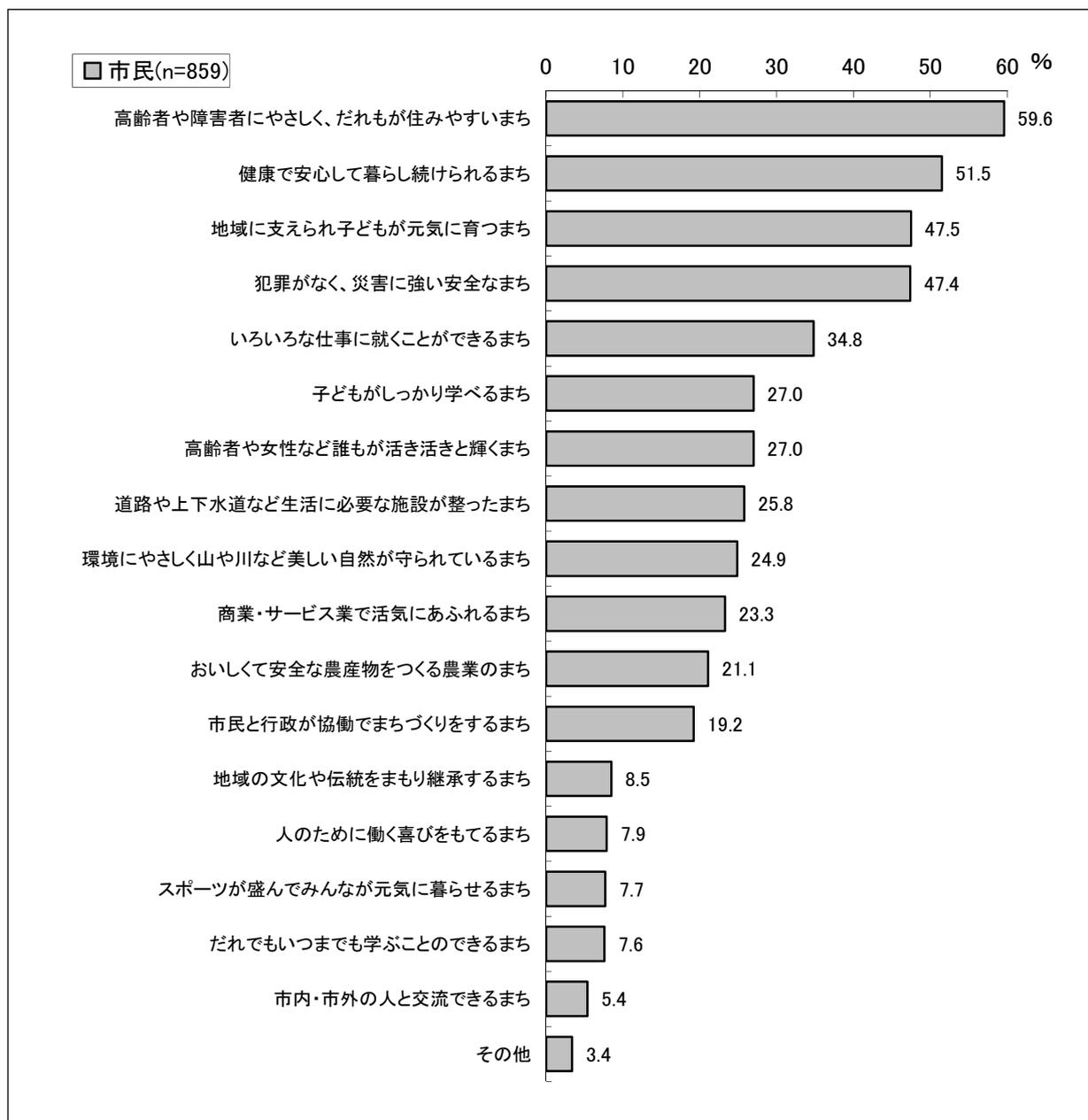
年齢別にみると、10～30代では「安心して子どもを産み元気に育つまち」が第1位となっていますが、50代以上では「高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち」が第1位となっており、世代ごとの優先度の違いがみられました。

居住年数別にみると、10年未満では「安心して子どもを産み元気に育つまち」が第1位となっていますが、10年以上では「高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち」が第1位となっています。

図表 38-① 今後のまちづくりの方向性（全体・今回／複数回答）



図表 38-② 今後のまちづくりの方向性（全体・前回／複数回答）



図表 39 今後のまちづくりの方向性（全体、性別、年齢別、居住年数別／複数回答）

〈上位3位〉

		第1位	第2位	第3位
全体		高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 61.9%	犯罪がなく、災害に強い安全なまち 52.6%	健康で安心して暮らし続けられるまち 47.7%
性別	男性	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 59.0%	犯罪がなく、災害に強い安全なまち 48.8%	健康で安心して暮らし続けられるまち 45.4%
	女性	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 64.0%	犯罪がなく、災害に強い安全なまち 55.5%	健康で安心して暮らし続けられるまち 48.8%
年齢別	10 - 20代	安心して子どもを産み元気に育つまち 63.3%	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 50.0%	犯罪がなく、災害に強い安全なまち 45.9%
	30代	安心して子どもを産み元気に育つまち 67.4%	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち／犯罪がなく、災害に強い安全なまち 56.8%	
	40代	犯罪がなく、災害に強い安全なまち 56.7%	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 50.5%	健康で安心して暮らし続けられるまち 48.5%
	50代	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 63.9%	健康で安心して暮らし続けられるまち 56.6%	安心して子どもを産み元気に育つまち 55.4%
	60代	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 71.3%	健康で安心して暮らし続けられるまち 54.8%	安心して子どもを産み元気に育つまち 51.3%
	70歳以上	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 69.3%	犯罪がなく、災害に強い安全なまち 55.8%	健康で安心して暮らし続けられるまち 55.3%
居住年数別	5年未満	安心して子どもを産み元気に育つまち 68.6%	犯罪がなく、災害に強い安全なまち 51.0%	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 24.0%
	5年以上10年未満	安心して子どもを産み元気に育つまち 51.9%	犯罪がなく、災害に強い安全なまち 50.0%	子どもがしっかり学べるまち 46.2%
	10年以上20年未満	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 58.7%	犯罪がなく、災害に強い安全なまち 54.1%	安心して子どもを産み元気に育つまち 51.4%
	20年以上	高齢者や障害者にやさしく、だれもが住みやすいまち 66.2%	犯罪がなく、災害に強い安全なまち 52.7%	健康で安心して暮らし続けられるまち 49.7%

6 協働のまちづくりについて

(1) 共助の重要性・関わり方について

問9 今後、まちづくりを行っていく上で、お互いに助け合う「共助」の重要性や関わり方について、どのようにお考えですか。(いずれも1つに○印)

① 共助の重要性

【全体の傾向】

● “共助は重要” と考える市民は8割強

お互いに助け合う「共助」の重要性について、「共助はとても重要」は52.8%、「共助はやや重要」は31.0%となっており、これらを合わせた“共助は重要”と考える割合は83.8%ですが、地域によって差があります。

一方、「共助はあまり重要でない」と「共助は重要でない」を合わせた“共助は重要でない”と考える割合は5.7%となっており、前回調査と比較すると1.8ポイント高くなっています。

【属性別の傾向】

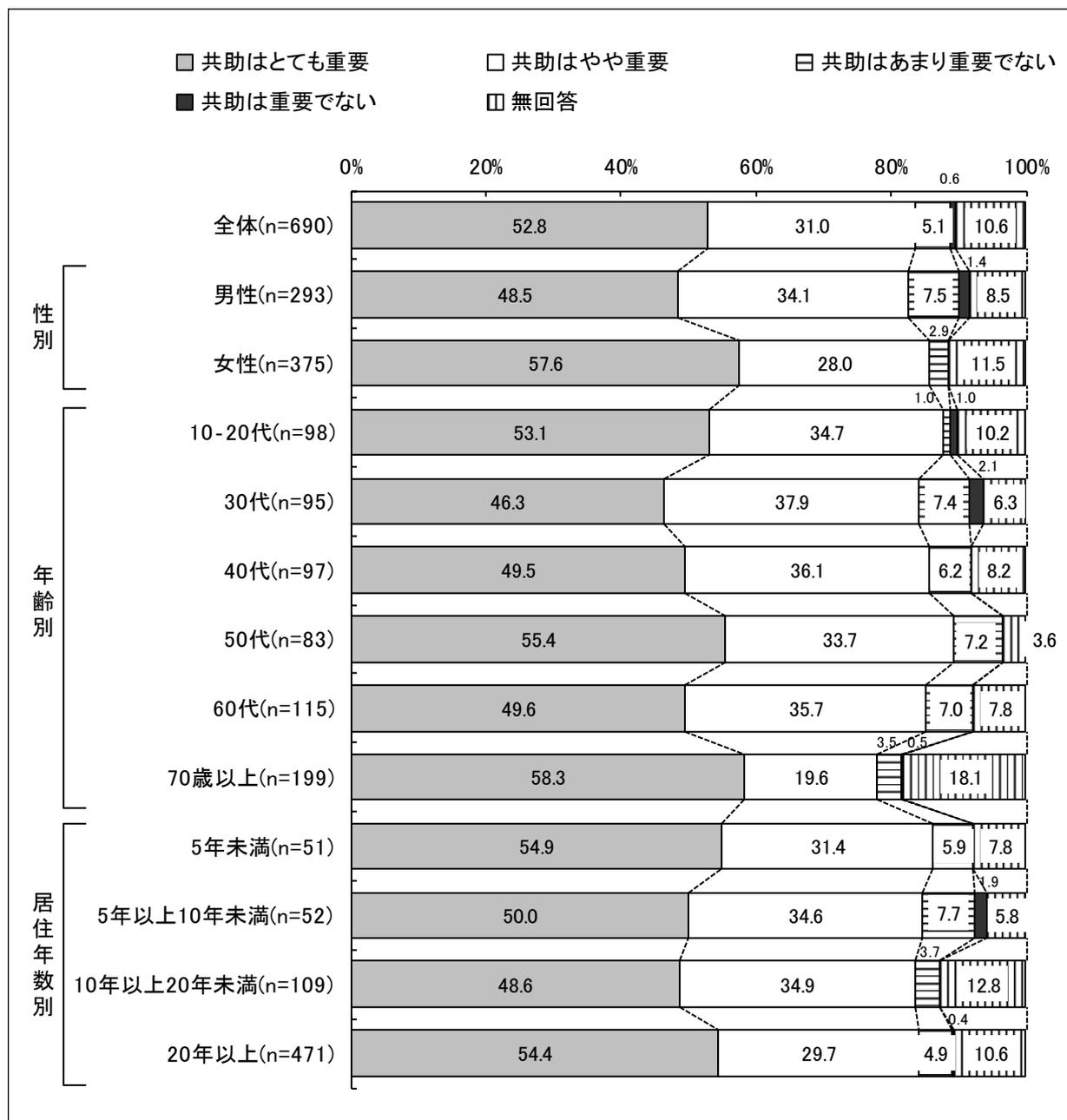
● 男性より女性の方が「共助は重要」と認識している

性別にみると、「共助はとても重要」では男性が48.5%で女性が57.6%と、女性の方が共助は重要と認識している方の割合が多くなっています。

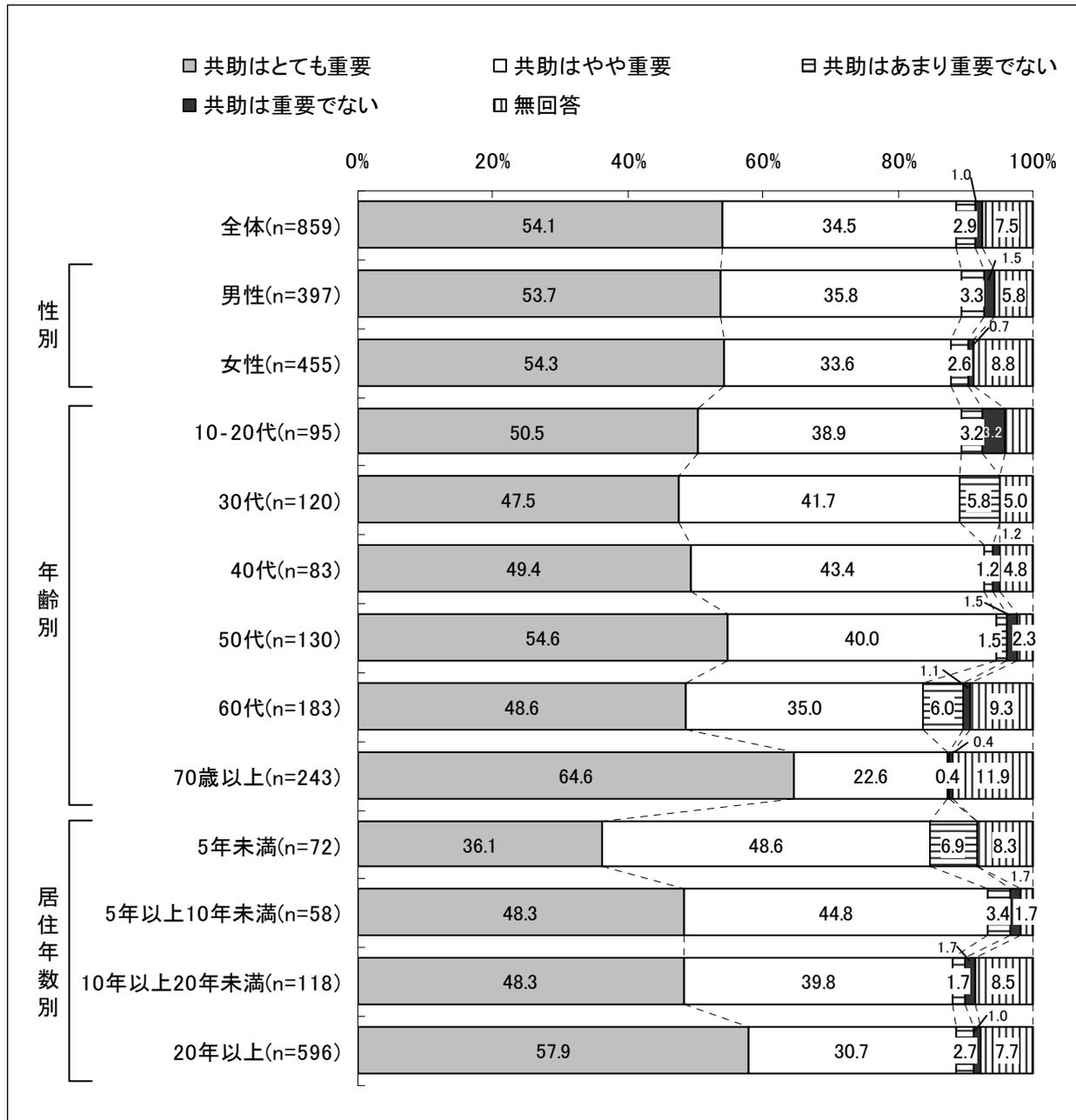
年齢別にみると、“共助は重要”について、50代で89.1%と最も多くなっています。

居住年数別にみると、年数による大きな違いはみられませんでした。

図表 40-① 共助の重要性について・今回（全体，性別，年齢別，居住年数別）



図表 40-② 共助の重要性について・前回（全体，性別，年齢別，居住年数別）



② 共助の関わり方

【全体の傾向】

● “担いたい” と考える市民は7割弱

お互いに助け合う「共助」の関わり方について、「積極的に担いたい」は21.9%、「どちらかという
と担いたい」は43.6%となっており、これらを合わせた“担いたい”と考える割合は65.5%で、前回
調査と比較すると6.0ポイント低くなっています。

一方、「担いたくない」と「どちらかというと担いたくない」を合わせた“担いたくない”は21.9%
となっており、前回調査と比較すると3.1ポイント高くなっています。

【属性別の傾向】

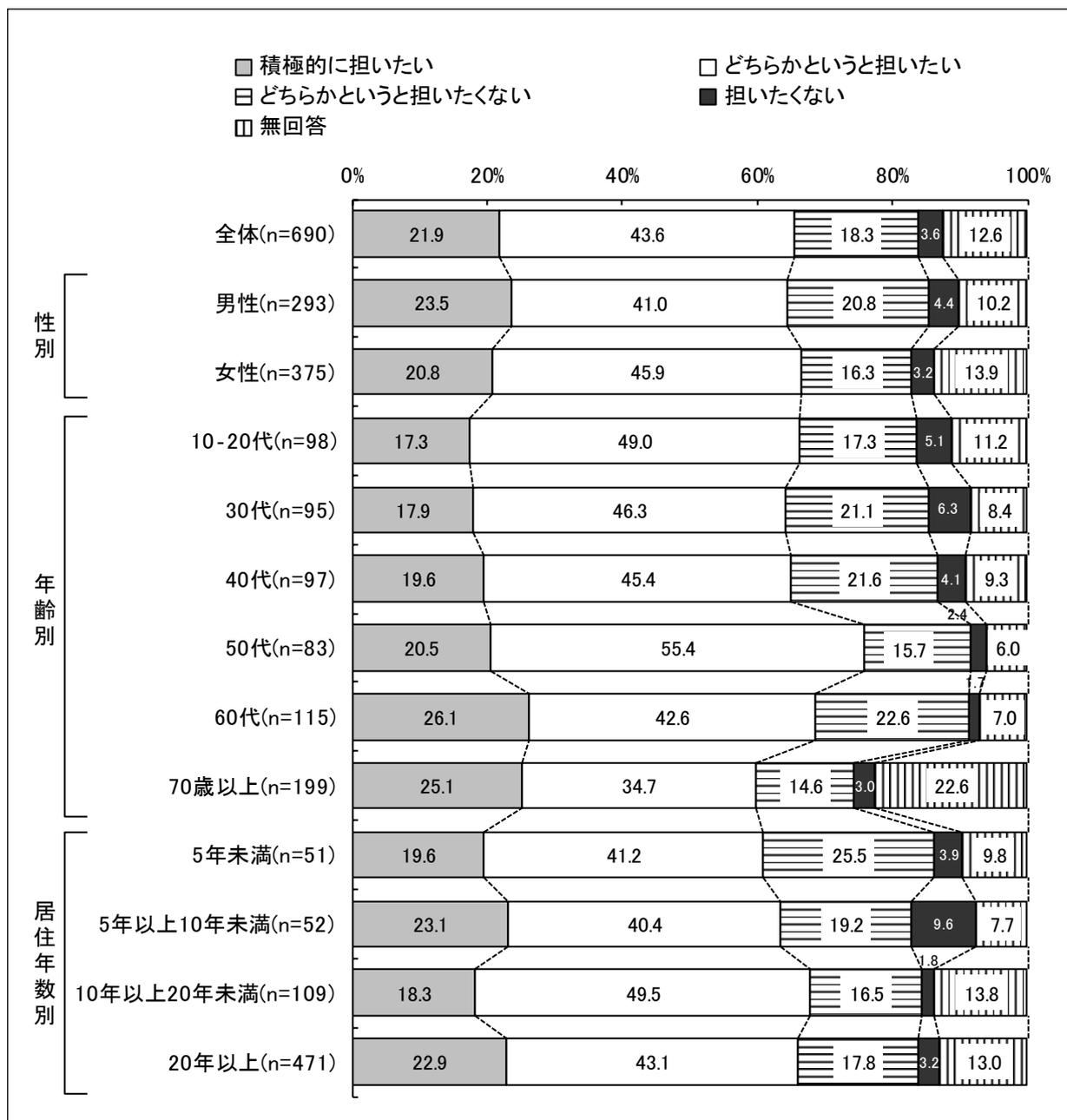
● 居住年数が長いほど積極的な関わりを望んでいる

性別にみると、男性では“担いたい”が64.5%、女性では66.7%となっており、性別による差はみ
られませんでした。

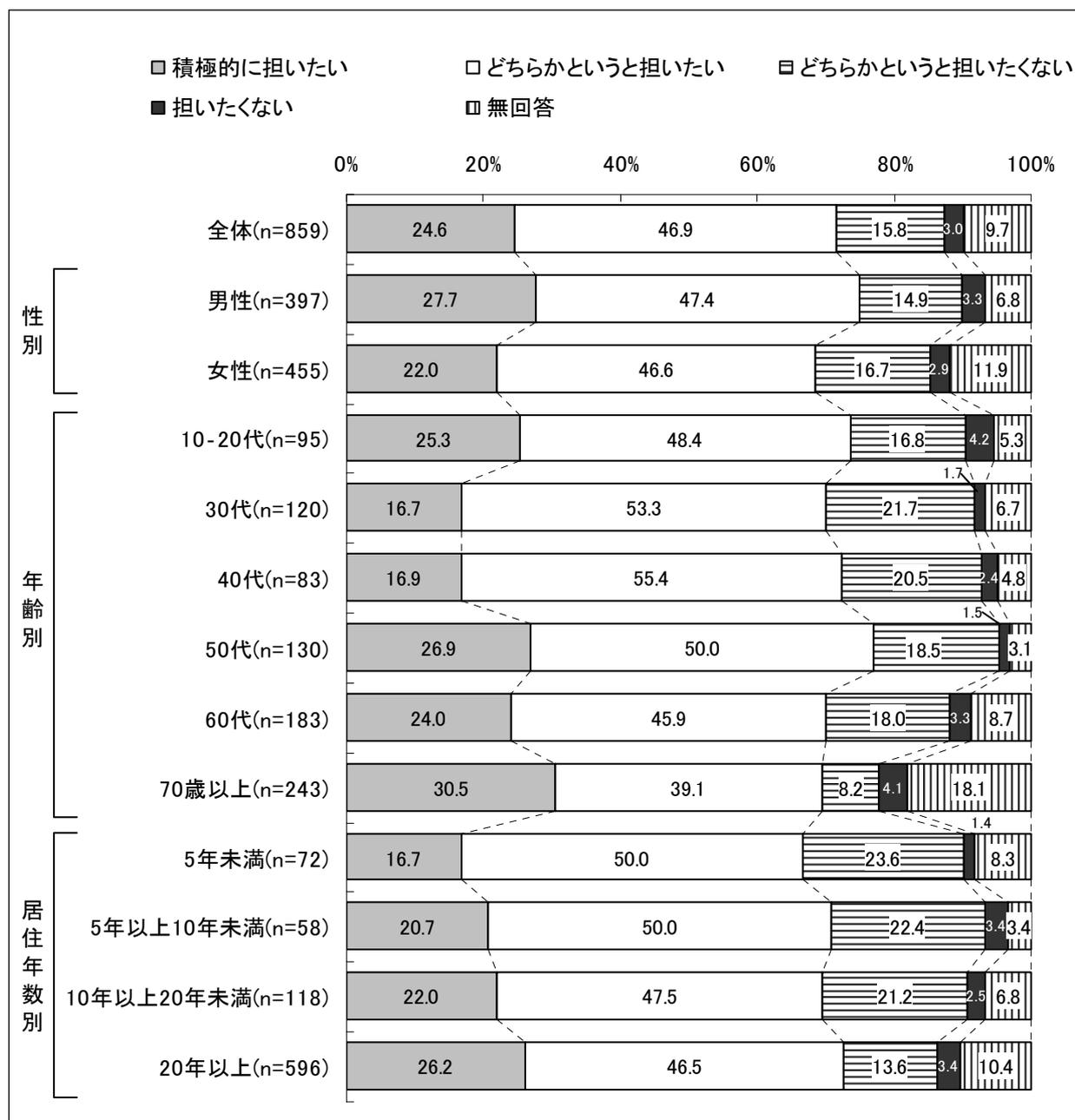
年齢別にみると、“担いたい”について、50代で75.9%と最も多くなっています。子育ても一段落
し安定した家庭環境もうかがえることから、共助の中心的な担い手として期待されます。

居住年数別にみると、年数による大きな違いはみられませんでした。

図表 41-① 共助の関わり方・今回（全体，性別，年齢別，居住年数別）



図表 41-② 共助の関わり方・前回（全体，性別，年齢別，居住年数別）



(2) まちづくりを推進する上で重要なこと

問 10 今後、まちづくりを推進する上で、どのようなことが重要だと思いますか。(該当するすべてに○印)

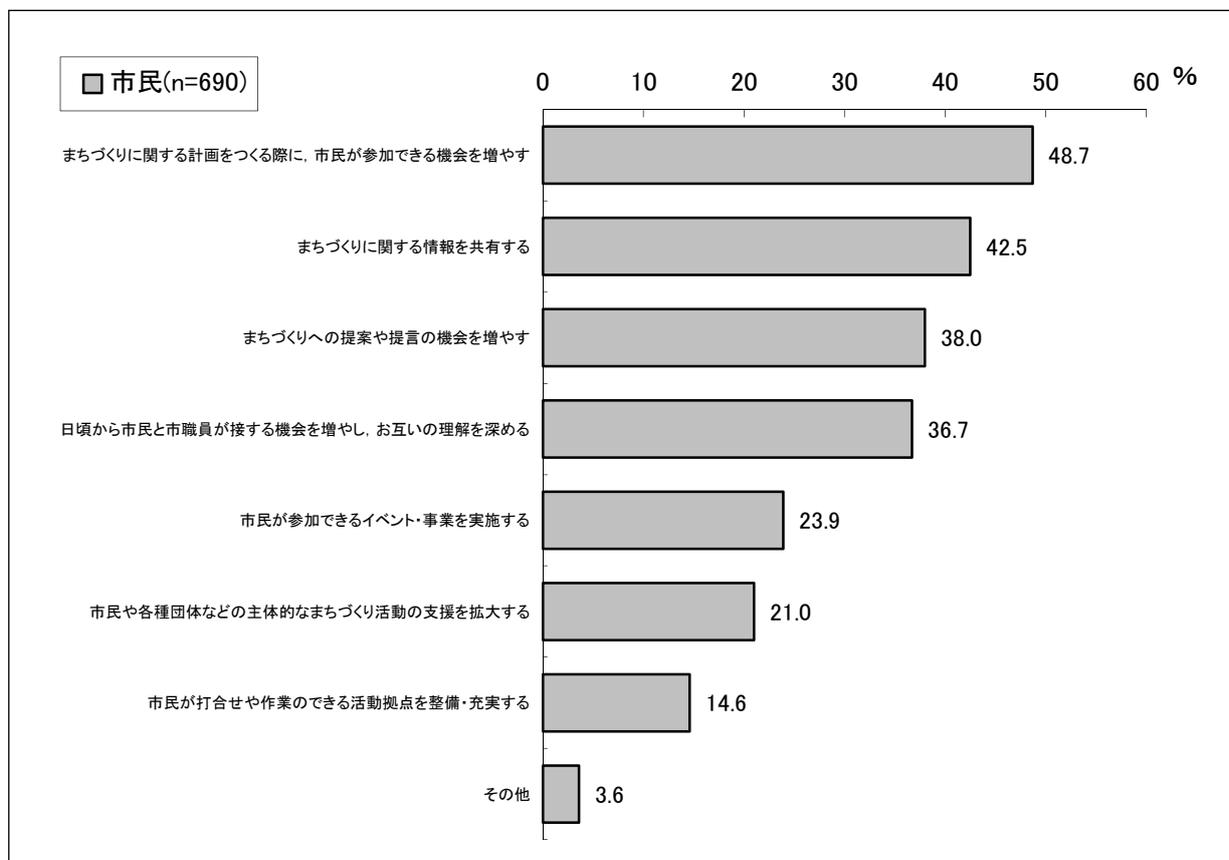
【全体の傾向】

● 「市民参加」「情報の共有」「市民の意見の反映」を重要視

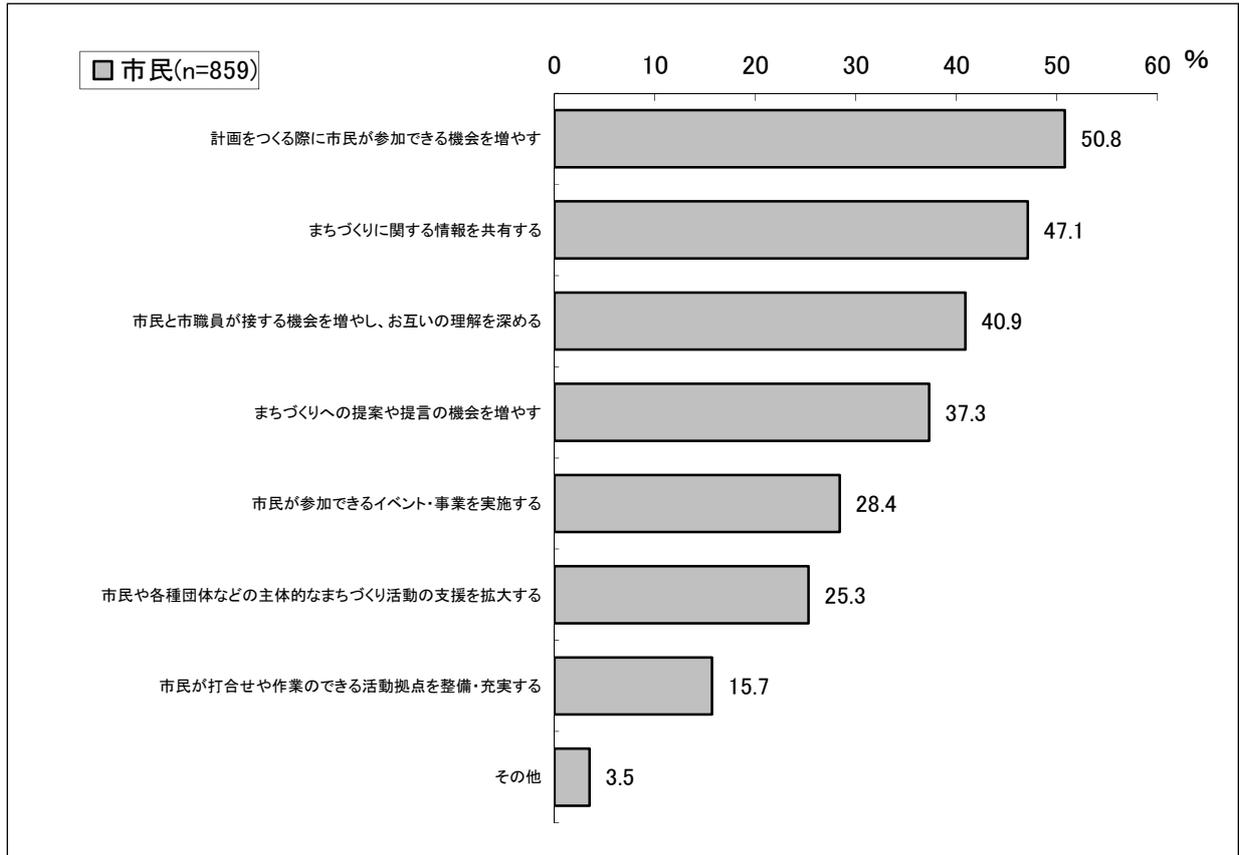
協働のまちづくりを推進する上で重要なこととして、「まちづくりに関する計画をつくる際に、市民が参加できる機会を増やす」が48.7%と最も多く、次いで、「まちづくりに関する情報を共有する」(42.5%)、「まちづくりへの提案や提言の機会を増やす」(38.0%)となっています。

前回調査と比較すると、第1位の「まちづくりに関する計画をつくる際に、市民が参加できる機会を増やす」と第2位の「まちづくりに関する情報を共有する」に変動はありませんが、前は第4位であった「まちづくりへの提案や提言の機会を増やす」が今回は第3位となっています。

図表 42-① まちづくりを推進するうえで重要なこと（全体・今回／複数回答）



図表 42-② まちづくりを推進するうえで重要なこと（全体・前回／複数回答）



(3) まちづくり活動への参加状況と今後の参加意向

問 11 あなたは、現在、どのようなまちづくりに参加されていますか。または、今後、どのようなまちづくりに参加したいですか。(該当するすべてに○印)

【全体の傾向】

●現在参加している活動は「自治会」、今後参加したい活動は「健康づくり」が多い

現在参加しているまちづくり活動は、「自治会の活動」が30.1%と最も多く、次いで、「イベント・ふれあい活動」(21.4%)、「まちの美化・緑化活動」(16.4%)の順となっています。

また、今後参加したい活動は、「健康づくり活動」が17.2%と最も多く、次いで、「スポーツ・レクリエーション活動」(15.4%)、「まちの美化・緑化活動」(14.5%)の順となっています。

前回調査と比較すると、現在参加しているまちづくり活動、今後参加したい活動ともに概ね上位に変動はありませんが、今後参加したい活動については、前は第4位であった「スポーツ・レクリエーション活動」が今回は第2位となっています。

【属性別の傾向】

●10～30代では「イベント・ふれあい活動」の参加が多く、「子育て支援」の希望が多い

《参加状況》

性別にみると、第1位と第2位は変わりませんが、第3位は、男性では「消防・防災・防犯活動」、女性では「まちの美化・緑化活動」となっています。

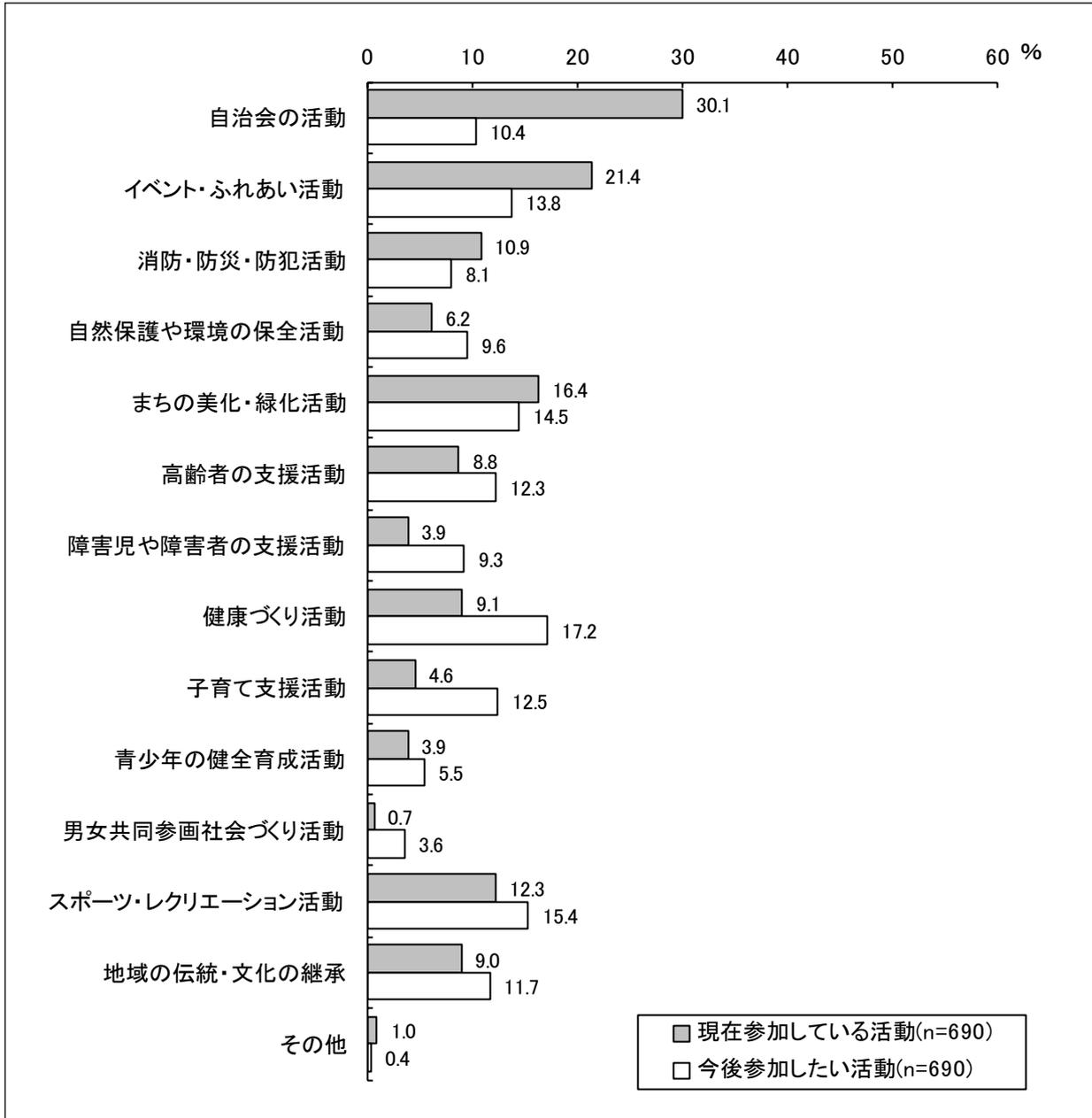
年齢別にみると、10～30代では「イベント・ふれあい活動」が最も多く、40代以上では「自治会の活動」が最も多くなっています。

《参加意向》

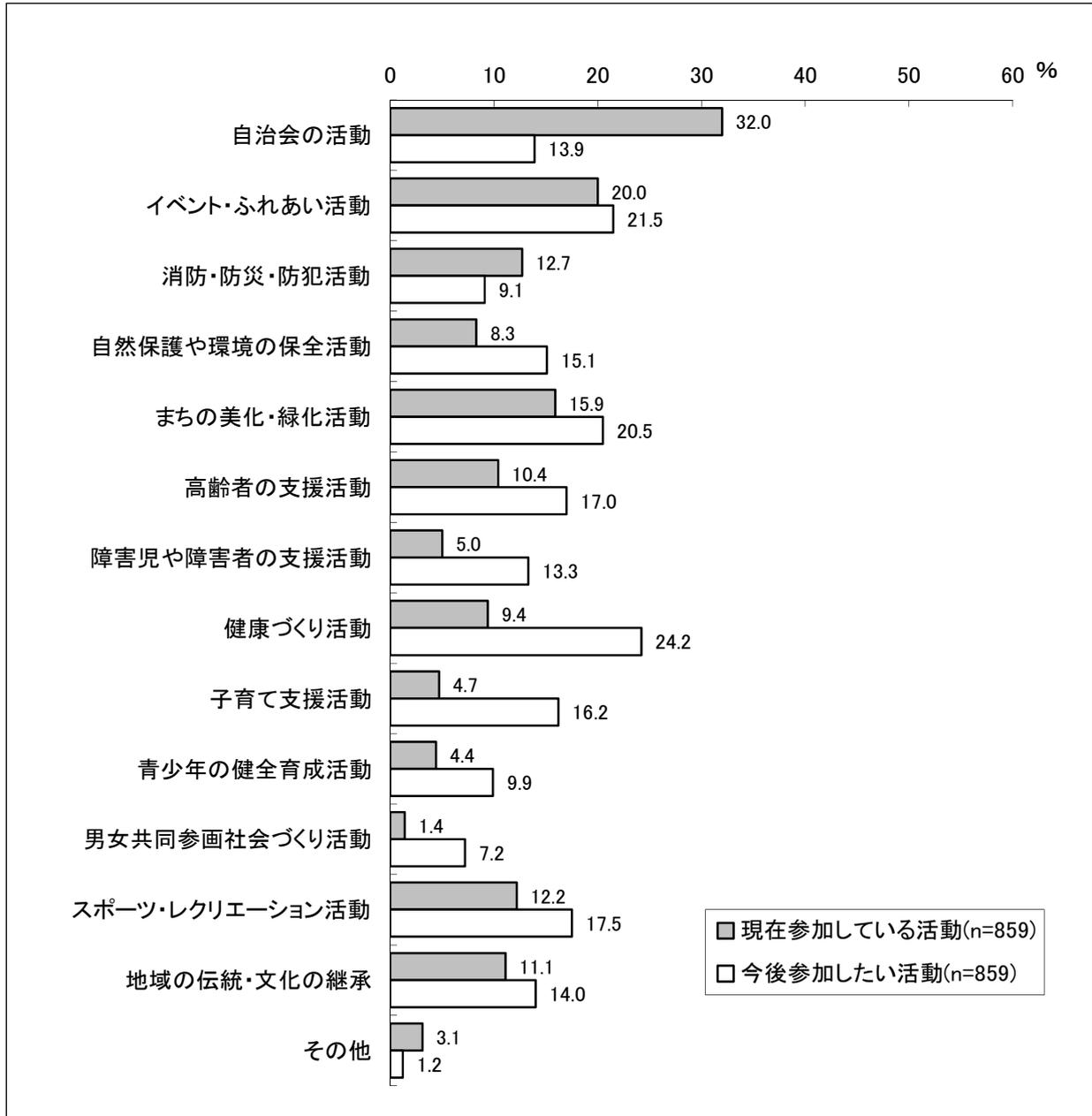
性別にみると、男性では「スポーツ・レクリエーション活動」が最も高く、女性では「健康づくり活動」が最も高くなっています。

年齢別にみると、10～30代では「子育て支援活動」が最も多く、40代・50代・70歳以上では「健康づくり活動」が最も多くなっています。また、60代では「まちの美化・緑化活動」が最も多くなっています。

図表 43-① まちづくり活動への参加状況と今後の参加意向（全体・今回／複数回答）



図表 43-② まちづくり活動への参加状況と今後の参加意向（全体・前回／複数回答）



図表 44 まちづくり活動への参加状況・参加意向（全体、性別、年齢別、居住年数別／複数回答）

〈上位3位〉

			第1位	第2位	第3位
全体	参加状況	自治会の活動	30.1%	イベント・ふれあい活動	まちの美化・緑化活動
	参加意向	健康づくり活動	17.2%	スポーツ・レクリエーション活動	まちの美化・緑化活動
性別	男性	参加状況	自治会の活動	イベント・ふれあい活動	消防・防災・防犯活動／まちの美化・緑化活動
		参加意向	スポーツ・レクリエーション活動	健康づくり活動	イベント・ふれあい活動／高齢者の支援活動
	女性	参加状況	自治会の活動	イベント・ふれあい活動	まちの美化・緑化活動
		参加意向	健康づくり活動	イベント・ふれあい活動	子育て支援活動／スポーツ・レクリエーション活動
年齢別	10 - 20代	参加状況	イベント・ふれあい活動	スポーツ・レクリエーション活動	自治会の活動
		参加意向	子育て支援活動	イベント・ふれあい活動	スポーツ・レクリエーション活動
	30代	参加状況	イベント・ふれあい活動	自治会の活動／スポーツ・レクリエーション活動	
		参加意向	子育て支援活動	スポーツ・レクリエーション活動	イベント・ふれあい活動
	40代	参加状況	自治会の活動	イベント・ふれあい活動	まちの美化・緑化活動／スポーツ・レクリエーション活動
		参加意向	健康づくり活動	スポーツ・レクリエーション活動	イベント・ふれあい活動
	50代	参加状況	自治会の活動	イベント・ふれあい活動	消防・防災・防犯活動
		参加意向	健康づくり活動／スポーツ・レクリエーション活動		まちの美化・緑化活動
	60代	参加状況	自治会の活動	イベント・ふれあい活動	まちの美化・緑化活動
		参加意向	まちの美化・緑化活動	自治会の活動	イベント・ふれあい活動／健康づくり活動
	70歳以上	参加状況	自治会の活動	イベント・ふれあい活動	まちの美化・緑化活動
		参加意向	健康づくり活動	高齢者の支援活動	まちの美化・緑化活動

(4) 地域が主体となって取り組む活動

問 12 下に示す活動を，地域（町内会や地区など）で取り組むことについて，どのように思われますか。それぞれあてはまる番号1つに○印をつけてください。その他に考えられる活動があれば「12. その他」に活動内容をご記入いただき，あてはまる番号に○印をつけてください。（それぞれ1つに○印）

※加重平均値の算出方法

3段階の評価にそれぞれ点数を与え，評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \left[\begin{array}{l} \text{「地域が主体となって取り組むべき」の回答数} \times 10 \text{点} \\ \text{「地域で取り組める可能性がある」の回答数} \times 5 \text{点} \\ \text{「地域で取り組むことが困難」の回答数} \times 0 \text{点} \end{array} \right] \div \left[\begin{array}{l} \text{「地域が主体となって} \\ \text{取り組むべき」, 「地域} \\ \text{で取り組める可能性が} \\ \text{ある」, 「地域で取り組} \\ \text{むことが困難」の回} \\ \text{答数の合計} \end{array} \right]$$

この算出方法により，評価点は0点～10点の間に分布し，中間点の5点を境に，10点に近くなるほど地域で取り組むべきとの認識が高くなり，逆に0点に近くなるほど低くなる。

【全体の傾向】

●地域が主体となって取り組むべき活動は「災害時の声かけ等」が最も多い

各種のまちづくり活動を地域で取り組める可能性についてたずねたところ，「地域が主体となって取り組むべき」の項目では，「6 災害時の声かけなどの支援活動等」を選択した方が41.2%と最も多く，次いで，「3 地域でのまつりや親睦行事等」（38.3%），「5 地域での美化活動，資源回収，清掃活動等」（33.3%）の順となっており，前回調査では第2位であった「6 災害時の声かけなどの支援活動等」が第1位となっています。

また，「地域で取り組める可能性がある」の項目では，「2 健康づくり活動」を選択した方が42.6%と最も多く，次いで，「5 地域での美化活動，資源回収，清掃活動等」（36.2%），「7 地域での見回り活動等」（33.6%）の順となっており，前回調査と比較して概ね上位に変動はありませんが，前は第4位であった「7 地域での見回り活動等」が今回は第3位となっています。

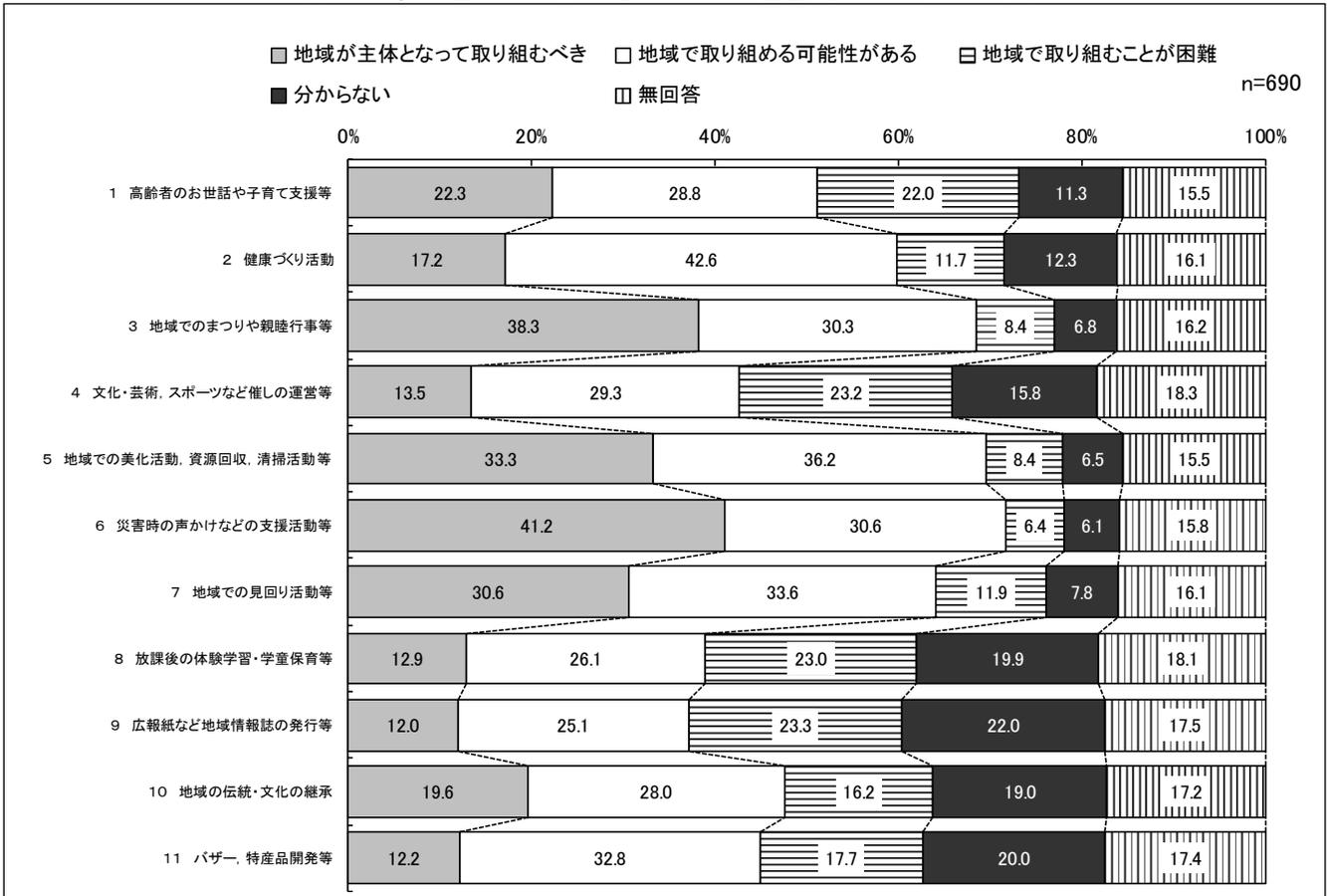
【属性別の傾向】

●若い世代で地域行事へ取り組むべきという意見が多い

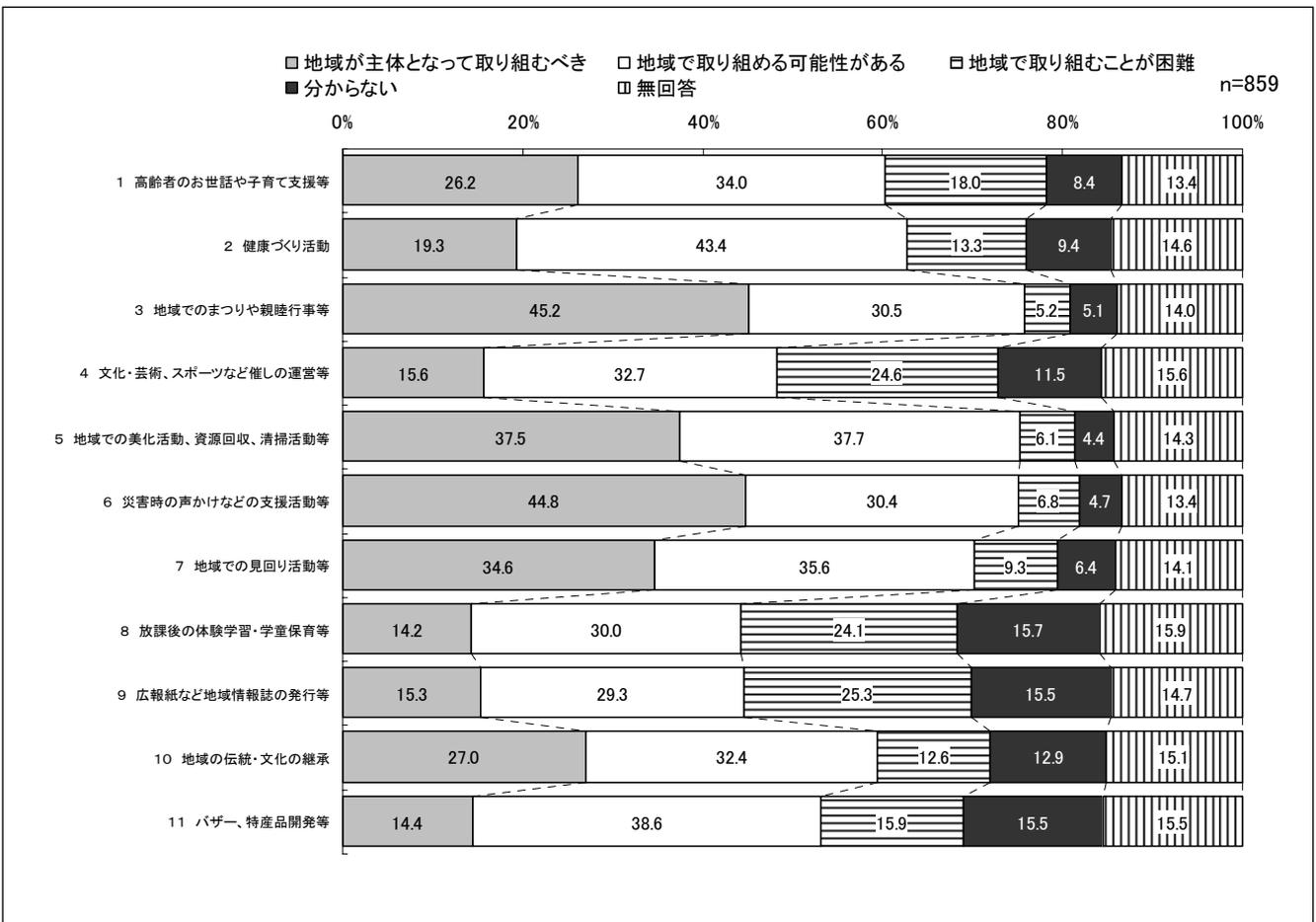
点数化集計については，点数が高いほど地域で取り組める余地が大きいことを示しています。

年齢別にみると，10～30代では「3 地域でのまつりや親睦行事等」，40代以上では「6 災害時の声かけなどの支援活動等」の点数が最も高くなっています。

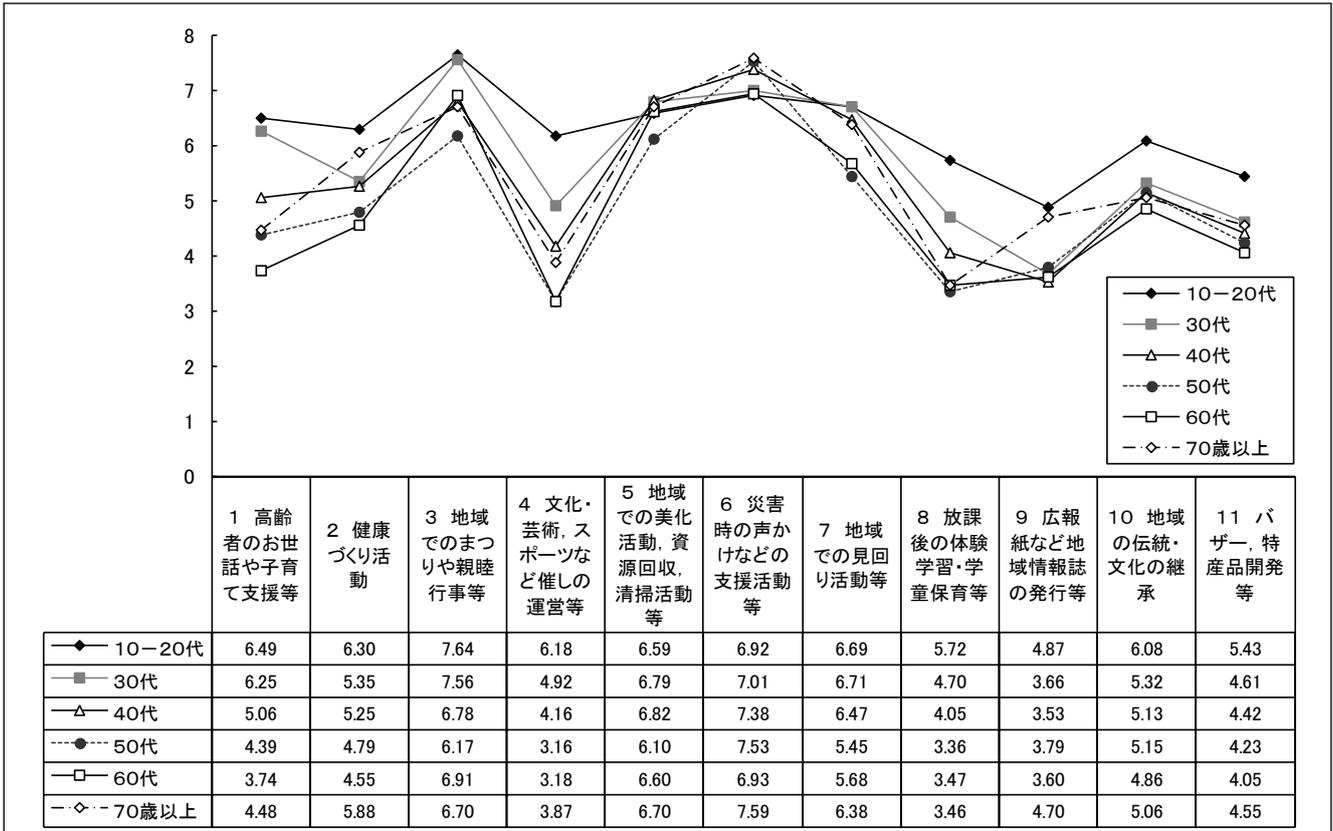
図表 45-① 地域が主体となって取り組む活動（全体・今回）



図表 45-② 地域が主体となって取り組む活動（全体・前回）



図表 46 地域が主体となって取り組む活動（年齢別／点数化）



(5) 地域の活動を活発にするために必要なこと

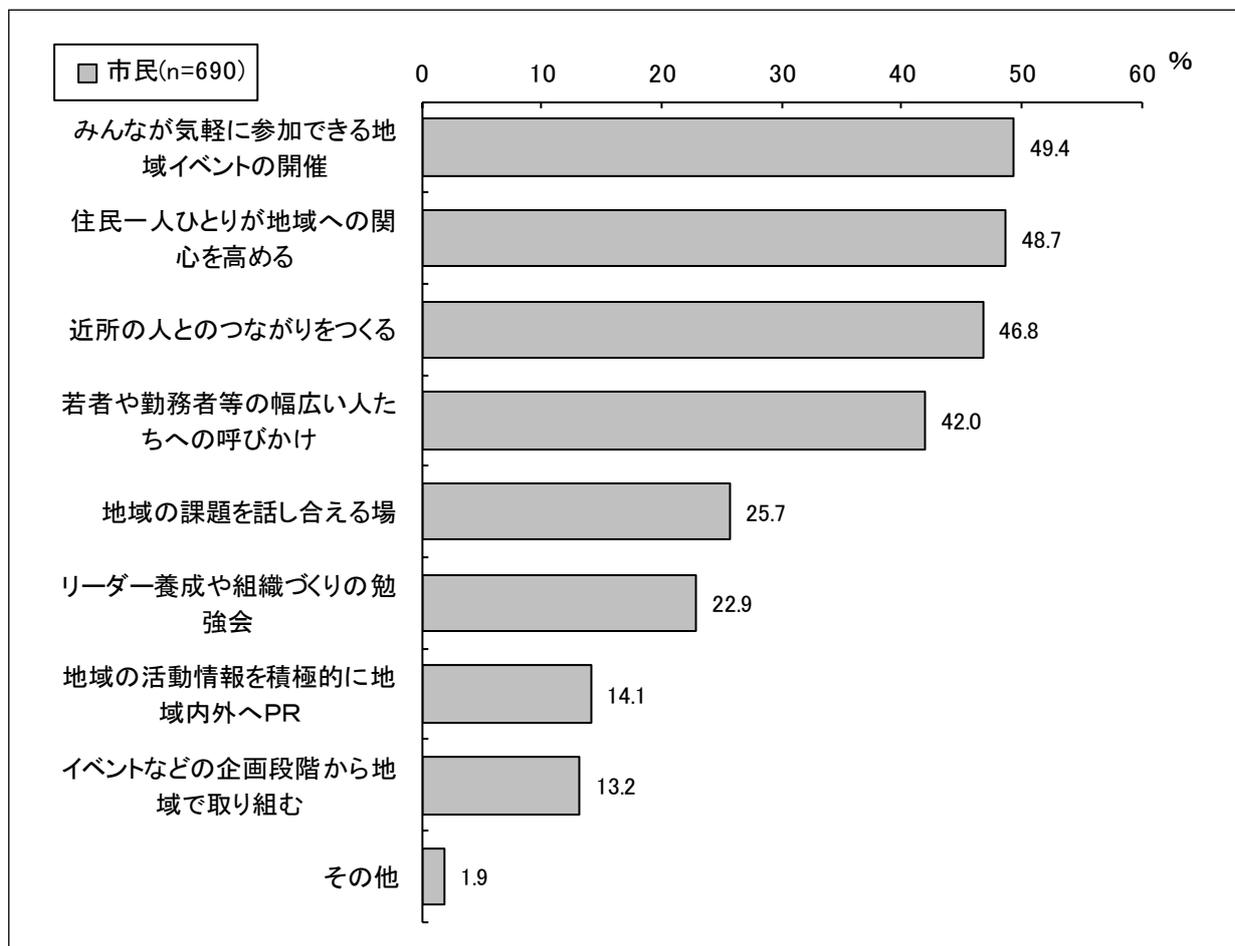
問 13 あなたは、地域（町内会や地区など）の活動をより活発にするためには、主に何が必要だと思いますか。（該当するすべてに○印）

【全体の傾向】

●地域の活動を活発にするために必要なことは、「地域イベント」が最も多い

「みんなが気軽に参加できる地域イベントの開催」が 49.4%と最も多く、次いで、「住民一人ひとりが地域への関心を高める」(48.7%)、「近所の人とのつながりをつくる」(46.8%) の順となっています。

図表 47 地域の活動を活発にするために必要なこと（全体／複数回答）



(6) まちづくりを進めていく上での要望・意見

◎ 三次市のこれからの見据えたまちづくりを進めていく上で、行政に望むことやご意見などがございましたら、お聞かせください。

市に望むことや意見などについて自由記入方式でたずねたところ、329件の意見が寄せられました。「行政に関すること」が77件と最も多く、次いで、「暮らしとまちづくり」(49件)、「交通の便」(25件)の順となっています。

図表 48 まちづくりを進めていくうえでの要望・意見

意 見	件 数
〈行政〉に関すること 無駄な公共工事はしないでほしい。市職員の意識や資質の向上。市民の意見を反映した行政運営。等	77
〈暮らしとまちづくり〉に関すること 若者が定住できるまちづくり。誰もが安心して住めるまちづくり。等	49
〈交通の便〉に関すること 免許返上後の移動や買い物が困難。公共交通の利便性を高めて欲しい。等	25
〈働く場〉に関すること 働く場や就職先の確保。企業誘致。等	24
〈子育て〉に関すること 保育等、子育て環境の改善。小児科等の充実。等	21
〈道路〉に関すること 歩道の整備。外灯の設置。雑草の清掃。道路の拡幅。等	20
〈商業・にぎわい〉に関すること 駅前活性化。中心部と周辺部の均衡ある発展とにぎわい。等	18
〈福祉〉に関すること 高齢者や障害者が住みやすい環境づくり。高齢者施設の充実。等	16
〈教育〉に関すること 高校卒業後の教育機関の設置。大学の誘致。質の高い教育の提供。等	13
〈地域コミュニティ〉に関すること 過疎部への若者の定住促進。若者や市職員の地域行事への参加。等	12
〈医療〉に関すること 中央病院を含む医療機関の充実。夜間休日の救急医療の充実。等	11
〈観光〉に関すること 観光資源の活用。交通アクセスの向上。インターネットを活用した広報。等	4
〈イベント〉に関すること 歴史に関するイベントの開催。若者の祭りへの参加促進。等	3
〈その他〉 有害鳥獣の駆除。河川の災害対策。農業の振興。自然環境の保全。等	36
計	329

全体のまとめについて

(1) 中高生アンケートのまとめ

三次市へのイメージとして、「祭りや地域の伝統が大切にされている」と「自然が豊か」への評価が高く、「観光する所が多い」、「交通の便利がいい」、「店が多く買い物がしやすい」への評価が低くなっています。このイメージが、中高生の三次市に対する全体のイメージ傾向であり、このあとにみる設問も、基本的にこの傾向があるよううかがえます。

愛着度については、前回調査より増加しており、その割合も8割程度であることから、中高生にとって、三次市は「住みよいまち」であることがうかがえます。一方で、定住希望は前回調査と比べて減少していることから、中高生が将来にわたって住み続ける魅力と決め手が必要であることがうかがえます。

また、中学生より高校生、男子より女子で定住意向が低くなっています。進学や就職をひかえる学生にとって、就業先等の確保、また若者が買い物や交通に不便を感じないまちづくりが必要であることがうかがえます。

三次市で自慢できることについて、「自然が豊か」、「ピオーネなど特産品」、「みよしきんさいスタジアムなどの施設」、「三次きんさい祭りなど活気あふれるイベント」に加えて、「人が優しい」「地域の交流、助け合い」などへの回答も多いことから、中高生は三次市の良さを肌で感じ、地域や人に見守られながら健やかに育っていることが見受けられます。

今後のまちづくりや市に望むことについて、「高齢者など、だれもが住みやすいまち」、「商業・サービス業で活気にあふれるまち」、「スポーツが盛んで元気に暮らせるまち」、「交通の便の解消」への回答が多いことから、市の高齢化への対応に加えて、人とまちが元気で活気あふれ、ますます交流が促進されることを願っていることが表れています。

以上の内容から、中高生のアンケートから、三次市は、子どもたちが生まれ育つためには比較的やさしいまちであるとうかがえるが、高校卒業後の進学や就職については市外へ行かざるを得ない状況にあり、三次市を離れても帰ってきたいと思えるような環境・しくみづくりが重要であることがうかがえます。

(2) 市民アンケートのまとめ

幸せ度については前回調査よりやや高くなっており、高齢者や女性のほかに、居住年数が10年未満の居住年数の少ない方でも幸せ度が相対的に高くなっていることから、住みやすいまちとして評価されている一面がうかがえます。

愛着度については、居住年数が長く高齢であるほど愛着度が高くなっています。これは定住意向にも同様の傾向がみられますが、家（住まい）があり、近所や地域のつながりや付き合いがある中で、住み慣れたまちを離れることは考えがたい上に、高齢福祉や医療の充実が図られていることから高齢者にとって住みやすい環境であることが関係していると思われます。

市民の定住意向は、現在の暮らしの満足度と今後の暮らしの重要度を点数化して得られた「満足度が低く重要度が高い」項目（「医療」、「買い物」、「就業」、「交通」）とリンクしており、「満足度が低く重要度が高い」に着目してまちづくりを進めていくことが、定住を促進し、幸せ度、愛着度、満足度を向

上させることにつながると考えられます。

協働のまちづくりに関して“共助は重要”と考える市民が8割を超える割合となっており、また協働のまちづくりを推進する上で重要なことについて、まちづくりへの計画に市民が参加することや情報の共有、市民の提言の機会を増やすことなどの回答が多くありました。行政が地域に積極的に関わる中で、担い手育成や地域づくりなどを行うこととあわせて、より一層行政と市民との協働を図ることが求められます。

以上の市民アンケートの内容から、「医療」、「買い物」、「就業」、「交通」に課題を残すものの、ぬくもりと活気にあふれた住みよいまちづくりを進めるためには、市民と行政が共に築き上げていこうとする協働の取組が重要であることがうかがえます。

(3) むすびにあたって

中高生では、三次市に対する率直な回答や意見が、また、市民からは、若い世代から高齢者までの幅広い回答や意見が多く寄せられました。

回答や意見の分析や傾向は、それぞれの設問でみたとおりですが、「しあわせを実感しながら、住み続けたいまち～中山間地の未来を拓く拠点都市・三次～」の実現に向けて、第2次三次市総合計画をはじめ、本調査結果を今後の市政やまちづくりの参考にしていきます。